令和４年度

北海道立近代美術館

HOKKAIDO MUSEUM OF MODERN ART

年報

目次

1　令和４年度の活動概要.....3

2　美術作品の収集

1　作品収集状況.....4

2　新収蔵作品目録.....5

3－1　展覧会①　近美コレクション

◆〈近美コレクション〉一覧.....6

この１点を見てほしい。出品目録.....7

1　時間をめぐって　ほか.....8

2　『北の美のこころ』を携えて　ほか.....14

3　シャガール・イン・プリント　ほか.....18

この１点を見てほしい。出品目録.....23

3－2　展覧会②　特別展

◆　特別展一覧.....24

1　日本画家　羽生輝展　悠久の岬を望む.....25

2　ドレスデン国立古典絵画館所蔵　フェルメールと 17 世紀オランダ絵画展.....31

3　ライデン国立古代博物館所蔵　古代エジプト展.....37

4　北海道新聞社創立 80 周年　聖徳太子 1400 年御遠忌記念　国宝・法隆寺展.....43

5　砂澤ビッキ展.....47

3－3　展覧会③　貸館

◆　貸館一覧.....56

4　教育普及関係

1　移動美術館.....57

2　ワークショップ.....59

3　解説活動.....60

4　博物館実習【館園実習】 62
5　ぐるっと三館鑑賞ツアー 63
6　オンラインアート教室 64
7　ボランティアの活動 66
8　協力事業 67
9　その他 69

5　資料・情報関係
1　刊行物 70
2　特別観覧 71
3　情報資料 72

6　美術作品の貸出と保存・修復
1　美術作品の貸出 73
2　美術作品の保存・修復 74

7　調査研究 76

8　名簿、沿革、観覧者数等
1　名簿 82
2　沿革 84
3　観覧者数一覧 87
4　教育普及活動一覧 88

1　令和４年度の活動概要

1　新型コロナウイルス感染拡大の影響と設備メンテナンスによる休室

前年度に引き続き、令和 4 年度も新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、来館される方にはマスクの着用、手指消毒や検温、連絡先の登録のほか、展示室では、距離をとっての観覧や会話を控えていただくことをお願いした。

「フェルメール展」「エジプト展」など大型展では、展示室内の入場者数を制限していたため、長時間にわたり待機いただく場面があり、ご不便をおかけした。

10 月以降は、行動制限が緩和され、教育普及事業により多くの人に参加いただけることとなった。10 月に開催した法隆寺展のトークイベントでは、半数に制限していた講堂の定員を従来の 200 名に復帰し、多数の聴講者を迎えて開催することができた。

新型コロナウイルスの影響による展覧会やイベントの開催期間の変更、休館、事業の中止はなかったが、設備メンテナンスのため 11 月 1 日から 2 月 10 日まで、展示室 B を休室した。これにより 11 月 22 日から 1 月 22 日まで、展示室 A で、特別展「砂澤ビッキ」展を開催した。

2　展覧会活動について

令和 4 年度は、古代文明展からポップカルチャーまで多岐にわたる特別展を開催し、好評を博した。コロナの余波が残るなかではあったが、「ドレスデン国立古典絵画館所蔵　フェルメールと 17 世紀オランダ絵画展」(4/22～6/26)で約 10 万人、「ライデン国立古代博物館所蔵　古代エジプト展」(7/10～8/21)で約 11 万人、「聖徳太子 1400 年御遠忌記念　国宝・法隆寺展」(9/3～10/30)で約 9 万人、「サンリオ展　ニッポンのカワイイ文化 60 年史」(2023.2/11～4/2)で約 8 万人が来場した。また北海道を代表する日本画家羽生輝の画業を紹介した「日本画家　羽生輝展　悠久の岬を望む」(4/16～6/26)で約 9,000 人、北海道出身の造形作家「砂澤ビッキ展」(11/22～1/22)で約 1 万人の集客があった(図 1)。

3 期にわたる近美コレクション展では、北海道の美術、ガラス工芸、エコール・ド・パリという当館コレクションの強みを活かしながら、幅広く作品を紹介する企画を行った。

これらの特別展、常設展の開催により、令和 4 年度の総観覧者は、当館開館以来 4 番目となる 419,527 人を数えた。

図 1　「砂澤ビッキ展」会場風景

3　作品収集の成果

北海道美術品取得基金の活用により、国内外で高い評価を受けている札幌出身の陶芸家の小川待子氏の作品を 2 点購入した(図 2)。戦後、北海道の美術界をけん引した砂田友治の晩年の代表作や、北海道の工芸界において指導的役割を果たした折原久左エ門の作品など 25 点を受贈し、「北海道の美術」を充実させることができた。令和 4 年度末の作品総数は 5,908 点となった。

図 2　左：小川待子《Untitled》1996 年
　　右：小川待子《Time Unearthed 2018 N-1》2018 年

4　リニューアル構想について

昨年度に引き続き、今後の近代美術館のあり方を検討する有識者会議「これからの北海道立近代美術館検討会議」(主催：生涯学習推進局長) に参加した。また、広く道民の意見を募集するために、学校関係者・学生・作家・画廊オーナー・美術団体関係者等のステークホルダーへのインタビューを行ったほか、北海道教育庁文化財・博物館課が、「近代美術館のミライを考えよう」と題して、来館者を対象としたオープンワークショップを開催するとともに、WEB アンケートを実施した(図 3)。これらをふまえて、「北海道立近代美術館リニューアル基本構想中間報告（素案)」がまとめられた。当館は同報告のなかの特に「目指す姿」(ビジョン、ミッション、コンセプト) の作成を担った。

図 3　「近代美術館のミライを考えよう」チラシ

（当館学芸部長　五十嵐聡美）

2　美術作品の収集

1　作品収集状況

分野	令和3年度末作品所蔵数		令和4年度作品収集数					令和4年度末作品所蔵総数		資料		
			購入	受贈	管理換	登録変更	計			令和3年度末資料所蔵数	令和4年度末資料収集数	令和4年度末資料所蔵総数
油彩	829	(14.1%)	0点	2	0点	0点	2点	831点	(14.0%)	90点	0点	90点
日本画	282	(4.8%)	0	0	0	0	0	282	(4.8%)	23	0	23
水彩・素描	369	(6.3%)	0	2	0	0	2	371	(6.3%)	226	0	226
版画	2,286	(38.9%)	0	2	0	0	2	2288	(38.7%)	85	0	85
彫刻	113	(1.9%)	0	0	0	0	0	113	(2.0%)	14	0	14
工芸	1,720	(29.2%)	2	9	0	0	11	1731	(29.3%)	96	0	96
デザイン	231	(3.9%)	0	0	0	0	0	231	(3.9%)	18	0	18
写真	51	(0.9%)	0	10	0	0	10	61	(1.0%)	2	0	2
合計	5,881	(100.0%)	2	25	0	0	27	5,908	(100.0%)	554	0	554

※単位は点とする

2　新収蔵作品目録

凡例
1. この目録には、令和3年4月1日から令和4年3月31日までに、北海道立近代美術館に収蔵された作品を収録した。
2. 各作品は次の分類に基づいて掲載した。
   - エコール・ド・パリ
   - 北海道の美術
   - ガラス工芸
   - 日本近代の美術
   - 現代美術
   - その他
3. 北海道の美術は、北海道出身または北海道に居住した作家、および北海道を制作の拠点とした作家をもってこれにあてた。
4. 作者名は各分類ごとに、50音順に配列した。同一作家の作品が2点以上ある場合は、各分野ごとに制作年順に配列した。
5. 各作品のデータ記載事項と順序は次のとおりである。
   作者名、生没年、作品名、制作年、技法・材質・形状、寸法、収集の区分、当館での分野分類、作品番号
6. 制作年は作品に明記されているもの、制作事情のはっきりしているもののほか、展覧会発表の年をとって制作年とみなしたものがある。
7. 寸法はセンチメートルを単位とし、平面作品では画面の縦×横、立体作品では奥行×幅×高さ、あるいは径×高さを示した。

北海道の美術　Art in Hokkaido

	作家名	生没年	作品名	制作年	技法・材質	寸法（cm）	区分	分野	番号
1	小川　待子	1946- (昭和21-)	Untitled	1996(平成8)	陶土	47.2×57.2× 32.0	購入	陶芸	2022001
2	小川　待子	1946- (昭和21-)	Time Unearthed 2018 N-1	2018(平成30)	陶土、磁土、ガラス	23.8×27.3× 65.5	購入	陶芸	2022002
3	砂田　友治	1916-1999 (大正5-平成11)	その時（時は止まり、釘は折れた）	1992(平成4)	油彩・キャンバス	194.3 ×259.1	受贈	油彩	2022003
4	竹岡　羊子	1931- (昭和6-)	花火となって逝った夏	2001(平成13)	油彩、コラージュ・キャンバス	227.3 ×181.8	受贈	油彩	2022004
5	野口　俊一	1910-1999 (明治43-平成11)	百日草	1948(昭和23)	水彩・紙	57.6 ×36.8	受贈	水彩・素描	2022005
6	野口　俊一	1910-1999 (明治43-平成11)	緑の群像	1985(昭和60)	水彩・紙	39.5 ×54.6	受贈	水彩・素描	2022006
7	大本　靖	1926-2014 (大正15-平成26)	峠	2005(平成17)	木版（多色）、空摺り・紙	54.8 ×40.8	受贈	版画	2022007
8	大本　靖	1926-2014 (大正15-平成26)	imrock	2006(平成18)	木版（多色）・紙	53.3 ×72.6	受贈	版画	2022008
9	折原　久左エ門	1931-2018 (昭和6-平成30)	広間の花器	1965(昭和40)	鉄、鍛金、黒メラミン焼付、木	45.0 ×84.0 × 85.0	受贈	工芸	2022009
10	折原　久左エ門	1931-2018 (昭和6-平成30)	花器	1970(昭和45)頃	溶接・コルテン鋼	27.0 ×27.0 × 65.0	受贈	工芸	2022010
11	折原　久左エ門	1931-2018 (昭和6-平成30)	路	1971(昭和46)頃	鋳造・アルミニウム	29.5×62.0× 27.8	受贈	工芸	2022011
12	折原　久左エ門	1931-2018 (昭和6-平成30)	曖	1977(昭和52)	鋳造・ブロンズ／溶接・ステンレス	32.0 ×60.0 × 80.0	受贈	工芸	2022012
13	折原　久左エ門	1931-2018 (昭和6-平成30)	連作～祀～	1981(昭和56)	ステンレス、黄銅	25.0 ×50.0 × 49.0	受贈	工芸	2022013
14	折原　久左エ門	1931-2018 (昭和6-平成30)	連作～祀跡～	1985(昭和60)	鋳造・白銅	18.0 ×18.0 × 45.0	受贈	工芸	2022014
15	折原　久左エ門	1931-2018 (昭和6-平成30)	標	1988(昭和63)	鋳造・ブロンズ	65.0 ×60.0 × 55.0	受贈	工芸	2022015
16	折原　久左エ門	1931-2018 (昭和6-平成30)	連作～97道標～	1997(平成9)	鋳造・ブロンズ	33.0 ×33.0 × 33.0	受贈	工芸	2022016
17	折原　久左エ門	1931-2018 (昭和6-平成30)	連作～道標～	2012(平成24)	鋳造・ブロンズ	24.0 ×23.5 × 41.5	受贈	工芸	2022017
18	露口　啓二	1950- (昭和25-)	on_sar シケレベ	2007(平成19)	タイプCプリント	80.0 ×100.0	受贈	写真	2022018
19	露口　啓二	1950- (昭和25-)	on_sar ルヲマナイ	2007(平成19)	タイプCプリント	80.0 ×100.0	受贈	写真	2022019
20	露口　啓二	1950- (昭和25-)	on_sar シケレベ	2008(平成20)	タイプCプリント	80.0 ×100.0	受贈	写真	2022020
21	露口　啓二	1950- (昭和25-)	on_sar タユンナイ	2008(平成20)	タイプCプリント	80.0 ×100.0	受贈	写真	2022021
22	露口　啓二	1950- (昭和25-)	on_sar ヌベトヨマプ	2009(平成21)	タイプCプリント	80.0 ×100.0	受贈	写真	2022022
23	露口　啓二	1950- (昭和25-)	on_sar ポンペタルナイ	2009(平成21)	タイプCプリント	80.0 ×100.0	受贈	写真	2022023
24	露口　啓二	1950- (昭和25-)	on_sar ヲソウシ	2009(平成21)	タイプCプリント	80.0 ×100.0	受贈	写真	2022024
25	露口　啓二	1950- (昭和25-)	on_sar ハッタルパヲマナイ	2010(平成22)	タイプCプリント	80.0 ×100.0	受贈	写真	2022025
26	露口　啓二	1950- (昭和25-)	on_sar ペンケヲプ子ナイ	2010(平成22)	タイプCプリント	80.0 ×100.0	受贈	写真	2022026
27	露口　啓二	1950- (昭和25-)	on_sar ユーパシュセヲナイ	2012(平成24)	タイプCプリント	80.0 ×100.0	受贈	写真	2022027

3-1　展覧会① 近美コレクション

◆〈近美コレクション〉一覧

No.	展覧会名	開催期間	開催日数	同時開催
	この１点を見てほしい。 ―吉川霊華《太上老君》	4 月 16 日(土) ～6 月 26 日(日) 〔当初予定：令和 4 年 2 月 5 日(土)～3 月 21 日(月)〕	62 日	◆特別展　日本画家　羽生輝展　悠久の岬を望む(本書 3-2　展覧会②特別展 に記載)
1	時間をめぐって	7 月 10 日(日) ～8 月 21 日(日)	38 日	◆アートギャラリー北海道　没後 100 年 中原悌二郎展 ◆新収蔵品展
2	『北の美のこころ』を携えて	9 月 3 日(土) ～11 月 7 日(月)	57 日	◆現代ガラスの美
3	シャガール・イン・プリント	令和 5 年 2 月 11 日(土) ～4 月 9 日(日)	50 日 (年度内 42 日)	◆戦時下の北海道美術 ―画家たちは戦地で何を見たのか― ◆この１点を見てほしい。 ―伊藤隆介《こんなことは無かった》

この1点を見てほしい。　出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	展示期間
1	吉川 霊華	太上老君	1917(大正６)	紙本彩色	166.6×75.8	令和4年4月16日(土)～6月26日(日)

※作品は当館蔵

1　時間をめぐって

（同時開催：アートギャラリー北海道　没後 100 年　中原悌二郎展／新収蔵品展）

会　　期：7 月 10 日(日)～8 月 21 日(日)
会　　場：北海道立近代美術館　展示室Ａ
主　　催：北海道立近代美術館
後　　援：札幌市、札幌市教育委員会
協　　力：「没後 100 年　中原悌二郎展」／中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館、札幌芸術の森美術館

時間をめぐって
Pondering Time

本展では、多彩なメディアと手法、技法によって表現される作品を「時間」というテーマのもとに展示し、作品の多様で質の高い表現を見せると同時に、作品に込められた主張や問い、メッセージなどを示し、観覧者の自発的かつ発展的な作品へのアプローチの醸成を目指した。展示作品は当館の収集方針の一つである「現代の美術」から 7 人の作家の作品を選んだが、前年に逝去したクリスチャン・ボルタンスキー、中江紀洋の 2 人に関しては、追悼の意味も込めた。

展示手法に関しては、空間の中で作品を見る、という体験を重視し、作品数は絞り、展示室 A の吹き抜け空間を大きく用い、照明を工夫して、各々の作品を効果的に展示するとともに、作品同士の響き合いも感じられるよう促した。

＝同時開催＝

アートギャラリー北海道
没後 100 年　中原悌二郎展
NAKAHARA Teijiro Exhibition

北海道釧路に生まれた中原悌二郎(1888-1921)は、移り住んだ旭川や札幌で美術への傾倒を深め絵画を学び、21 歳の時に荻原守衛と出会い、ロダンがもたらした力感あふれる表現に感激し彫刻へ転向。重厚で力強い塑像表現を追求し、院展を中心に作品を発表すると、非凡な才能に注目が集まった。その後、病のため旭川の養家で療養生活を余儀なくされながらも、制作への情熱は冷めず再上京。院展で受賞するなど評価が高まりつつあったさなか、32 歳の若さで没した。

没後、友人で彫刻家の平櫛田中が保管していた作品を基に、有志によって組織された中原悌二郎遺作保存会が全作品を収集。1994(平成 6)年、旧旭川偕行社を活用した中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館が開館し、その業績を展示・顕彰してきた。

道内各地の特色ある美術館を紹介する「アートギャラリー北海道」事業として開催した本展では、旭川市彫刻美術館、札幌芸術の森美術館の協力を得て、日本近代を代表する彫刻家・中原悌二郎の足跡を回顧した。

新収蔵品展
New Acquisitions

令和 3(2021)年度新たに収蔵した総点 221 点の作品のうち、野見山暁治や福井爽人の大作をはじめ、杉山留美子、井上まさじなど北海道ゆかりの作家の作品や、詩人で児童文学者の友田多喜雄氏が長年かけて収集した「友田コレクション」からジョアン・ミロなど国内外の作家による版画など 26 点を紹介した。

●作品展示
　日本通運株式会社

●会場設営
　株式会社アークスタジオ

●広報印刷物
　ポスター：B2 判縦
　チ ラ シ：A4 判縦
　デザイン：三善俊彦(三善デザイン事務所)
　印　　刷：東洋株式会社

●出品目録
　A3 判二つ折り 4 頁(当館簡易印刷)

●関連事業等
［ミュージアム・トーク］
　本書 4-3 解説活動に記載

〔その他〕
　カルチャーナイト　見どころ解説「時間をめぐって」　7 月 22 日　18 時 30 分～(約 15 分)

●主な掲載、放送等

［新聞］

読売新聞(道内)

「中原悌二郎　没後 100 年展」　7 月 20 日(水)朝刊

「『時間』テーマ　多彩な表現」　8 月 2 日(火)朝刊

毎日新聞(道内)

「札幌で『没後 100 年　中原悌二郎展』　彫刻家の足跡振り返る」　7 月 28 日(木)朝刊

［放送、配信］

北海道リモート・ミュージアム

「近美コレクション　没後 100 年　中原悌二郎展」　7 月 28 日(木)配信開始

HOKKAIDO MUSEUM OF MODERN ART

北海道リモート・ミュージアム
「中原悌二郎展展」紹介動画を YouTube で配信中！
https://youtu.be/DmrXkfDjcPM　またはこちらから→

近美コレクション

The Museum Collection

2022（令和４）年７月 10 日 [日] ― 8 月 21 日 [日]

新収蔵品展【展示室 A 1 階】

令和 3 年度に新しく収蔵された作品を紹介します。

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質
1	井上 まさじ	untitled	2007（平成 19）	アクリル絵具、糸・板
2	井上 まさじ	untitled	2007（平成 19）	アクリル絵具、糸・板
3	福井 爽人	海皎	1995（平成 7）	紙本彩色
4	山本 正年	花生「窓」	1986（昭和 61）	陶
5	山本 正年	印花紋花生	（不詳）	陶
6	杉山 留美子	作品 82-13	1982（昭和 57）	アクリル絵具・キャンバス
7	杉山 留美子	HERE-NOW あるいは難思光 -B-	2011（平成 23）	アクリル絵具・綿キャンバス 4 点組
8	野見山 暁治	遠い渚	1995（平成 7）	油彩･キャンバス
9	野見山 暁治	ぼくの切れっぱし	2000（平成 12）	油彩･キャンバス
10	大井戸 百合子	秋の市場	1981（昭和 56）	エッチング・紙
11	一原 有徳	（不詳）	2000（平成 12）	モノタイプ、金属凹版・紙
12	清水 敦	鳩と枯花	1980（昭和 55）	メゾチント・紙
13	菅井 汲	FESTIVAL1	1980（昭和 55）	シルクスクリーン・紙（アルシュ紙）
14	菅井 汲	FESTIVAL2	1980（昭和 55）	シルクスクリーン・紙（アルシュ紙）
15	菅井 汲	FESTIVAL3	1980（昭和 55）	シルクスクリーン・紙（アルシュ紙）
16	菅井 汲	FESTIVAL4	1980（昭和 55）	シルクスクリーン・紙（アルシュ紙）
17	元永 定正	のびるしろ	1981（昭和 56）	シルクスクリーン・紙
18	ジョアン・ミロ	『20 世紀』	1972	リトグラフ・紙
19	ザオ・ウーキー	小さな庭	1956	リトグラフ・紙
20	マリノ・マリーニ	（不詳）	（不詳）	エッチング・紙
21	ピエール・ボナール	『聖女モニク』	1930	リトグラフ・紙（和紙）
22	コンスタンチン・テレスコヴィッチ	『3 つの短編』	1965	リトグラフ・紙
23	ジョアン・ミロ	*Bouquet de rêves pour Neila*	1967	リトグラフ・紙
24	レオノール・フィニ	『エルヴェティウス夫人の猫』	1985	エッチング・紙
25	ポール・ギアマン	『アルコール』	1966	リトグラフ・紙
26	アントニ・クラーヴェ	『吟遊詩人』	1970	リトグラフ・紙

時間をめぐって【展示室Ａ１階】

本展覧会では、「時間」をキーワードに、作品がもつテーマやイメージを読み解きます。
痕跡として写し出される土地の歴史（露口啓二、岡部昌生）、時を刻みながら明滅する数字が表すたゆみない命の再生（宮島達男）、光と闇によって廃墟に浮かび上がる特定の場所や時代を超えた時間（池田良二）、不在の暗示が想起させる記憶（クリスチャン・ボルタンスキー）。写真、版画、フロッタージュ、デジタルカウンター、ガラス、木彫など、多彩なメディアと手法、技法によって表現される作品の「時間」をめぐってください。作家の内面や思惟、歴史や社会への批判、普遍的な問いへのまなざしなどが、私たちを思索や創造へと導いてくれることでしょう。

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質
1	露口 啓二	地名　平取／Biratori／pira-utur（崖の・間 =the cliffs, between）	2000（平成 12）	タイプ C プリント
2	露口 啓二	地名　乳呑／Chinomi／chi-nomi-sir（我ら・祈る・山＝we, deify on the hill）	左 :2002（平成 14）右 :2001（平成 13）	タイプ C プリント
3	露口 啓二	地名　小安／Oyasu／o-ya-us-i（川尻に・網が・ある・もの＝river mouth, there are nets, river）	左 :2001（平成 13）右 :2002（平成 14）	タイプ C プリント
4	露口 啓二	地名　若生／Wakkaoi／wakka-o-i（飲み水の・あるところ＝drinking water, place）	2001（平成 13）	タイプ C プリント
5	露口 啓二	地名　声問／Koetoi／koy-tuye（波が・崩す＝waves, erode away）	左 :2001（平成 13）右 :2002（平成 14）	タイプ C プリント
6	露口 啓二	地名　来岸／Raikishi／sam-ray-ke-us-i（和人を・殺した・ところ＝the Japanese, killed, place）	左 :2001（平成 13）右 :2000（平成 12）	タイプ C プリント
7	露口 啓二	地名　祝津／Syukudu／sikutut-us-i（えぞねぎ＝wild onion）	2001（平成 13）	タイプ C プリント
8	露口 啓二	地名　追名牛／Oinaushi／o-inau-us-i（そこに・木幣が・立っている＝prayer utensils stand, 〈there〉）	2002（平成 14）	タイプ C プリント
9	露口 啓二	地名　原口／Haraguchi／para-kot（広い・谷地＝the cliffs, between＝wide ravine）	2001（平成 13）	タイプ C プリント
10	露口 啓二	地名　発足／Hattari／kamuy-hattar（神の・淵＝God's depths）	2001（平成 13）	タイプ C プリント
11	露口 啓二	地名　六条／Rokujyo／ronkde-tomari（和船の・泊地＝Japanese ships, port）	2001（平成 13）	タイプ C プリント
12	露口 啓二	地名　知利別／Chiribetsu／chir-pet（鳥の・川＝bird river）	2001（平成 13）	タイプ C プリント
13	露口 啓二	地名　安骨／Ankotsu／chasi-kot（砦・跡＝fort, site）	左 :2002（平成 14）右 :2003（平成 15）	タイプ C プリント
14	露口 啓二	地名　信香／Nobuka／nup-ka-oma-nay（野の・上・にある・川＝of the field, upper area,there is, river）	2001（平成 13）	タイプ C プリント
15	露口 啓二	地名　興津／Okotsu／o-ukot（川尻・互いに・くっつく＝river mouths, stuck together）	左 :2001（平成 13）右 :2003（平成 15）	タイプ C プリント

16	宮島 達男	Monism/Dualism No. 6	1999（平成 11）	L.E.D.（発光ダイオード）、IC、電線、スチールパネル
17	瀧川 嘉子	境 KYOH No.53	1993（平成 5）	ガラス、鉄、ステンレススチール：板ガラス、接着
18	岡部 昌生	THE DARK FACE OF THE LIGHT	2001（平成 13）	フロッタージュ、鉛筆・紙、テープ、草花
19	池田 良二	Reborn door ／再生される扉	1988（昭和 63）	銅版・紙
20	池田 良二	Floating wall ／浮上する壁	1988（昭和 63）	銅版・紙
21	池田 良二	The stage on the parting point ／分岐点の舞台	1988（昭和 63）	銅版・紙
22	池田 良二	Light crossing border ／越境する光	1991（平成 3）	フォトエッチング、エッチング、アクアチント、ドライポイント、メゾチント・紙
23	池田 良二	Untitled A	1998（平成 10）	フォトエッチング、エッチング、アクアチント、ドライポイント、メゾチント・紙
24	池田 良二	Untitled B	1998（平成 10）	フォトエッチング、エッチング、アクアチント、ドライポイント、メゾチント・紙
25	池田 良二	Stratum of locus ／所在の地層	2002（平成 14）	フォトエッチング、エッチング、アクアチント、ドライポイント・紙
26	池田 良二	Flame of circularity ／円環する焔	2004（平成 16）	フォトエッチング、エッチング、アクアチント、ドライポイント・紙
27	池田 良二	Circle of breath ／呼吸する円環	2005（平成 17）	フォトエッチング、エッチング、アクアチント、ドライポイント・紙
28	池田 良二	Flame of a channel ／海峡の焔	2007（平成 19）	フォトエッチング、エッチング、アクアチント、ドライポイント・紙
29	池田 良二	Scenery of the north boundary ／北境の風景について	2013（平成 25）	フォトエッチング、エッチング、アクアチント、ドライポイント・紙
30	クリスチャン・ボルタンスキー	モニュメント：ディジョンの子どもたち	1987	写真、メタルフレーム、ガラス、電球、電線
31	中江 紀洋	流れついた過去	1994（平成 6）	木、金属、石膏
32	中江 紀洋	宿世からの追伸	1979（昭和 54）	木（サクラ、カツラ）
33	中江 紀洋	過去への夢	1994（平成 6）	木、金属、石膏
34	中江 紀洋	地殻交信機	1976（昭和 51）	木（サクラ、カツラ）

アートギャラリー北海道

没後 100 年 中原悌二郎展【展示室 A 2 階】

北海道釧路に生まれた中原悌二郎（1888-1921）は、移り住んだ旭川や札幌で美術への傾倒を深め、絵画を学びます。21 歳の時に荻原守衛と出会い、ロダンがもたらした力感あふれる表現に感激し彫刻へ転向。重厚で力強い塑像表現を追求し、院展を中心に作品を発表すると、非凡な才能に注目が集まります。

その後、病のため旭川での養家で療養生活を余儀なくされながらも、制作への情熱は冷めず再上京。院展で受賞するなど評価が高まりつつあったさなか、32 歳の若さで没しました。

道内各地の特色ある美術館を紹介する「アートギャラリー北海道」事業として開催する本展では、旭川市彫刻美術館、札幌芸術の森美術館の協力を得て、没後 100 年の節目に日本近代を代表する彫刻家・中原悌二郎の足跡を回顧します。

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	所蔵先
1	中原 悌二郎	忠別小学校	1914（大正 3）	油彩・キャンバス	中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館
2	中原 悌二郎	櫛引英一像	1914（大正 3）	油彩・キャンバス	中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館
3	中原 悌二郎	飯田復鹿像	1914（大正 3）	油彩・キャンバス	中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館
4	林 竹治郎	朝の祈り	1906（明治 39）	油彩・キャンバス	当館蔵
5	林 竹治郎	野の花・庭の花	（不詳）	油彩・キャンバス	当館蔵
6	林 竹治郎	桜島遠望	1939（昭和 14）	油彩・キャンバス	当館蔵
7	林 竹治郎	積丹風景	1925（大正 14）	油彩・キャンバス	当館蔵
8	林 竹治郎	霧島山脈	1940（昭和 15）頃	油彩・キャンバス	当館蔵
9	澤枝 重雄	明治天皇函簿函館英国領事館前通御ノ図	1939（昭和 14）	油彩・キャンバス	札幌芸術の森美術館
10	オーギュスト・ロダン	眠れる女（裸婦）	1887	ブロンズ	札幌芸術の森美術館
11	荻原 守衛	文覚	1908（明治 41）	ブロンズ	札幌芸術の森美術館
12	荻原 守衛	坑夫	1907（明治 40）	ブロンズ	当館蔵
13	中原 悌二郎	女の顔	1910（明治 43）	石膏	中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館
14	中原 悌二郎	老人	1910（明治 43）	ブロンズ	中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館
15	中原 悌二郎	エチュード	1914（大正 3）	ブロンズ	中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館
16	中原 悌二郎	保田龍門像	1915（大正 4）	ブロンズ	中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館
17	中原 悌二郎	石井鶴三像	1916（大正 5）	ブロンズ	中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館
18	中原 悌二郎	墓守老人像	1916（大正 5）	ブロンズ	中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館
19	中原 悌二郎	乞食老人像	1918（大正 7）	ブロンズ	中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館
20	中原 悌二郎	憩える女	1919（大正 8）	ブロンズ	札幌芸術の森美術館
21	中原 悌二郎	若きカフカス人	1919（大正 8）	ブロンズ	当館蔵
22	高村 光太郎	裸婦坐像	1917（大正 6）頃	ブロンズ	札幌芸術の森美術館
23	戸張 孤雁	トルソ（女の胴）	1922（大正 11）	ブロンズ	札幌芸術の森美術館
24	戸張 孤雁	虚無	1922（大正 11）	ブロンズ	中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館
25	保田 龍門	裸婦立像	1927（昭和 2）	ブロンズ	札幌芸術の森美術館
26	石井 鶴三	中原氏像	1916（大正 5）	ブロンズ	中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館
27	堀 進二	中原悌二郎像	1916（大正 5）	ブロンズ	中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館

北海道立近代美術館
HOKKAIDO MUSEUM OF MODERN ART
〒060-0001 札幌市中央区北1条西17丁目　011-644-6882

2　『北の美のこころ』を携えて

（同時開催：現代ガラスの美）

会　　期：9 月 3 日(土)～11 月 7 日(月)
会　　場：北海道立近代美術館　展示室Ａ
主　　催：北海道立近代美術館
後　　援：札幌市、札幌市教育委員会

『北の美のこころ』を携えて
Thoughts on Art in Hokkaido

本展では、当館の元学芸副館長である奥岡茂雄氏の著書『北の美のこころ』(2015 年発行)を元に、同書で取り上げられた、北海道にゆかりのある 26 名の作家の作品を展示した。38 点全ての作品に、作家・作品に関する奥岡氏の文章を引用パネルとして並べることで、作品を観ながら本のなかの世界を「歩く」ことが出来る展示を行った。また、鑑賞の道しるべとして、「北海道の自然美」、「北方性」、「北方ロマン主義」といった奥岡氏によるキーワードをパネルで紹介した。

＝同時開催＝
現代ガラスの美
Contemporary Glass Art

本展では 1950 年代後半にヨーロッパで起こった新しい造形を目指す動きや、1960 年代のアメリカにおけるスタジオ・グラス運動を契機として、国際的に広がり興隆した現代ガラスの多彩な表現を紹介した。日本のガラスについては、特に 70 年代後半頃の作品に欧米からの強い影響があったことを示し、日本の現代ガラスを国際的な潮流のなかに位置づけた。また当館が令和 3 年度に新たに収蔵した家住利男の大作《表面－000995》(1995 年)を公開した。

なお本展は、「国際ガラス年 2022」の関連企画として開催された。

●作品展示
日本通運株式会社

●会場設営
株式会社六書堂

●広報印刷物
ポスター：B2 判縦
チ ラ シ：A4 判縦
デザイン：三善俊彦(三善デザイン事務所)
印　　刷：株式会社美巧製版

●出品目録
A3 判二つ折り 4 頁(当館簡易印刷)

●関連事業等
［ミュージアム・トーク］
本書 4-3 解説活動に記載

●主な掲載、放送等
［新聞］
読売新聞
「道ゆかり画家 26 人紹介」　9 月 17 日(土)朝刊
「美術鑑賞　手話交え理解」　10 月 26 日(水)朝刊
「現代ガラス　多彩な美」　10 月 1 日(土)朝刊

［放送、配信］
北海道リモート・ミュージアム
「近美コレクション　『北の美のこころ』を携えて」　5 月 25 日(月)配信開始
NHK
「ひるナマ！北海道」10 月 21 日(金)

『北の美のこころ』を携えて　出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法（cm）
1	本間 莞彩	雪の幌都(陸橋)	1948(昭和23)	紙本彩色、額	87.5×118.5
2	片岡 球子	羊蹄山の秋色	1986(昭和61)	紙本彩色、額	71.5×90.0
3	片岡 球子	初夏	1956(昭和31)	紙本彩色、額	174.2×217.5
4	山内 弥一郎	農夫	1923(大正12)	紙本彩色、額	84.5×111.0
5	久本 春雄	曇る北国の浜辺	1932(昭和7)	絹本彩色、額	192.5×198.0
6	蠣崎 波響	孔雀図		絹本彩色、軸	99.0×36.5
7	蠣崎 波響	松に熊図		絹本彩色、軸	96.5×33.7
8	蠣崎 波響	唐美人図		絹本彩色、軸	108.0×44.5
9	菅原 翠洲	出山之釈迦	1928(昭和3)	絹本彩色、軸	140.0×52.0
10	森田 沙伊	納屋余情	1977(昭和52)	紙本彩色、額	178.0×169.0
11	菊川 多賀	遙	1982(昭和57)	紙本彩色、額	180.7×187.0
12	後藤 純男	冬の層雲峡	2002(平成14)	紙本彩色、額	128.8×192.0
13	福井 爽人	杜	2000(平成12)	紙本彩色、額	180.0×228.0
14	菊川 多賀	回想賦(大正五年頃)	1984(昭和59)	紙本彩色、額	63.5×48.6
15	大本 靖	作品No. 45［昭和新山(B)］	1957(昭和32)	ステンシルモノタイプ紙	92.0×92.0
16	大本 靖	沼の平	1976(昭和51)	木版、紙	85.0×170.0
17	大本 靖	マッカリの山	1994(平成6)	木版、紙	84.8×53.4
18	渡会 純价	公園のアラベスク『版と8人』	1984(昭和59)	ソフトエッチング シュガーアクアチント、銅版、紙	29.8×19.8
19	渡会 純价	『音の旅人』第4巻 ヴィヴァルディ「四季」から 春	1989(平成元)	エッチング、紙	26.0×23.8
20	渡会 純价	『音の旅人』第4巻 ヴィヴァルディ「四季」から 夏	1989(平成元)	エッチング、紙	26.0×23.8
21	渡会 純价	『音の旅人』第4巻 ヴィヴァルディ「四季」から 秋	1989(平成元)	エッチング、紙	26.0×23.8
22	渡会 純价	『音の旅人』第4巻 ヴィヴァルディ「四季」から 冬	1989(平成元)	エッチング、紙	26.0×23.8
23	渡会 純价	ON STAGE (E)	1980(昭和55)	エッチング、紙	36.3×60.0
24	下沢 敏也	Re-birth「起源より」	2011-12（平成23-24）	陶	壁のパーツ：27.5×34.0×117.3 床のパーツ①：35.1×43.5×25.5cm 床のパーツ②：23.7×32.6×20.7
25	伏木田 光夫	雪の空間(A)	1980(昭和55)	油彩、キャンバス	145.5×97.0
26	伏木田 光夫	雪の空間(B)	1980(昭和55)	油彩、キャンバス	145.5×89.4
27	柿崎 熙	林縁から	2003(平成15)	アクリル絵具 木(カツラ、セン)	120.0×850.0×240.0 (インスタレーションサイズ)
28	國松 明日香	北北東の風	2000(平成12)	コルテン鋼	41.0×178.0×198.5
29	米谷 雄平	帰還	1994(平成6)	アクリル絵具 胡粉、紙	290.5×194.0
30	阿部 典英	ネエダンナサンあるいは再象	1994(平成6)	木(セン、アサダ、ニレ)、黒鉛	200.0×250.0×200.0
31	神田 日勝	室内風景	1970(昭和45)	油彩、板	227.3×181.8

32	杉山 留美子	HERE-NOW あるいは無碍光	2007(平成19)	アクリル絵具 綿キャンバス	181.8×363.6
33	小谷 博貞	春卵	1938-41（昭和13-16）	油彩、キャンバス	116.0×72.8
34	国松 登	氷人B	1960(昭和35)	油彩、キャンバス	136.0×136.2
35	栃内 忠男	コンポジション“群”〈リンゴ〉	1985(昭和60)	油彩、キャンバス	182.0×227.4
36	竹岡 羊子	CARNAVAL-intermezzo	1987(昭和62)	油彩、キャンバス	162.1×162.2
37	西田 陽二	アルテミス	2011(平成23)	油彩、キャンバス	162.5×130.6
38	岩橋 英遠	道産子追憶之巻	1978-82（昭和53-57）	紙本彩色	60.7×2908.8

※寸法は、平面作品では縦×横、立体作品では奥行×幅×高さ

※全て当館所蔵作品

現代ガラスの美　出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法（cm）
1	ハーヴィー・K・リトルトン	向かい合う放物線の形	1981	ガラス：被せガラス、ホットワークによる成形、カット	45.0×11.0×28.5　9.5×42.5×24.5
2	スタニラフ・リベンスキー／ヤロスラヴァ・ブリフトヴァ	接触	1985	ガラス：キャスト	19.5×57.0×60.0
3	ヴァーツラフ・ツイグレル	陰の気	1988	ガラス：真空蒸着、研磨、カット	29.0×31.0×21.0
4	ヴァーツラフ・ツイグレル	陽の気	1989	ガラス：真空蒸着、研磨、カット	28.5×31.0×21.5
5	ダナ・ザーメチニーコヴァ	空中浮揚	1985	ガラス：多層板ガラス、サンドブラスト、エナメル彩、エングレーヴィング	11.0×40.1×40.3
6	チェスラフ・ズュベール	無題	1988	ガラス：ハンマーによるカット、研磨、サンドブラスト、着色	14.0×64.0×45.5
7	トゥーツ・ジンスキー	ティエラ・デル・フエゴの連作	1988	ガラス：フィレ・ド・ヴェール(糸状の色ガラス、フュージング、スランピング)	29.0×15.5
8	トゥーツ・ジンスキー	ティエラ・デル・フエゴの連作より「無題」	1989	ガラス：フィレ・ド・ヴェール(糸状の色ガラス、フュージング、スランピング)	32.7×25.4×16.4
9	エルヴィン・アイシュ	インター=ネット	1997	ガラス：型吹き、エナメル焼付、エングレーヴィング	27.5×21.5×58.0
10	カール　R.ベルク	無題	1982	ガラス：カット	43.0×23.0
11	イヴァナ・シュラームコヴァ	ダチョウ	2002	ガラス：キャスト、研磨	100.0×35.0×152.0
12	コリン・リード	無題　鋳型R287	1988	ガラス：シール・ペルデュ、研磨	7.0×38.5×43.5
13	コリン・リード	無題　鋳型R290	1988	ガラス：シール・ペルデュ、研磨	4.5×52.0×34.0
14	イヴァン・マレシュ	卵	1997	クリスタルガラス：キャスト、部分的にカット	75.0×105.0×75.0
15	ジェルジィ・ブツコ	半円と垂直の形	1990	ガラス、ロープ：フュージング	62.5×87.0×33.5
16	伊藤　孚	セールスマン	1993(平成5)	ガラス：サンドブラスト、コンクリート	9.6×9.6×60.5

17	家住　利男	P. 040901	2001(平成13)	板ガラス：接着、ハンド・グラインダーによる彫刻、研磨	9.0×25.0×150.0
18	家住　利男	V. 010702	2002(平成14)	板ガラス：接着、ハンド・グラインダーによる彫刻、研磨	60.0×12.0
19	家住　利男	表面－000995	1995(平成7)	板ガラス：接着、ハンド・グラインダーによる彫刻、研磨	130.0×410.0×25.0
20	米原　眞司	静かな赤	2001(平成13)	ガラス：被せガラス、宙吹き、ピックアップ、サンドブラスト、エッチング	36.8×35.2
21	米原　眞司	吉兆　その2	2002(平成14)	ガラス：被せガラス、宙吹き、ピックアップ、サンドブラスト	37.6×35.5
22	扇田　克也	ワタシノアヲゾラ	1991(平成3)	ガラス：キャスト、サンドブラスト	26.0×25.5×26.3
23	扇田　克也	アメノヒモアル	1992(平成3)	ガラス：キャスト、サンドブラスト	28.0×32.0×25.5
24	塩谷　直美	月の空	2001(平成13)	ガラス：キャスト、サンドブラスト、研磨	11.0×60.0×40.0
25	池本　一三	SCENE 0212	2003(平成15)	ガラス：宙吹き、エナメル焼付	42.9×41.5
26	高橋　禎彦	花のような	2002(平成14)	ガラス：被せガラス、宙吹き、研磨	8.3×22.9　ほか

※寸法は奥行×幅×高さ

※全て当館所蔵作品

3　シャガール・イン・プリント

（同時開催：戦時下の北海道美術/この１点を見てほしい。）

会　　期：2023 年 2 月 11 日（土）～4 月 9 日（日）
会　　場：北海道立近代美術館　展示室Ａ
主　　催：北海道立近代美術館
後　　援：札幌市、札幌市教育委員会

シャガール・イン・プリント
Chagall in Printmaking

愛の喜びを高らかに歌い上げ、20 世紀美術の「詩人」と呼ばれたマルク・シャガール（1887-1985）。彼は油彩画の他にも、舞台装飾、壁画、陶芸、ステンドグラス等、いくつもの分野で創造力を発揮した。特に版画は、30 歳代半ばから最晩年まで 60 年以上にわたって手がけ、膨大な数を残した。モチーフや表現内容の多彩さにおいて版画は油彩画に並ぶほどであり、イディッシュ（東欧ユダヤ）・ロシア・フランスという 3 つの文化のなかで形成されたシャガール芸術の多面性を、余すところなく伝えている。一方で、シャガールは版画において油彩画以上に軽やかさ、繊細さ、即興性を発揮しており、また、版画工房とのコラボレーションによる豊かな色彩など、版画というメディアの様々な特性を活かした表現を見せている。

本展では、当館が所蔵する版画集『ダフニスとクロエ』『出エジプト記』『死せる魂』全 162 点を一堂に展示し、シャガールが描いた恋と苦難と魂の物語を、ご覧いただいた。

◎展示構成
・『死せる魂』
・『出エジプト記』
・『ダフニスとクロエ』

＝同時開催＝

戦時下の北海道美術－画家たちは戦地で何を見たのか－
Art in Hokkaido during the Wartime: What the Painters Saw at the Front

日中戦争の開戦（1937 年）から太平洋戦争の終結（1945 年）にいたる戦争の時代。日本全体の世相が戦時色に染まりゆくなか、美術の世界もその例外ではなかった。北海道の美術家たちは、故郷を懐かしむ兵士に向けて北海道の風景画を献納し、また郷土部隊の存在を記録・報道するために戦地へと赴いている。

戦時下における全国各地の美術家たちの活動は、今日では多くの研究によって当時の状況が明らかになり、展覧会などで紹介されてきた。しかしながら、北海道における実態については、これまでほとんど研究や展示が行われてこなかった。

本展は、北海道における戦時下の美術活動を対象とした、初めての網羅的研究（『北海道立美術館・芸術館紀要第 31 号』掲載）の成果として企画されたものである。美術家たちが何を戦地で見て、何を表現したのかということを、当館で所蔵するスケッチや過去の展覧会出品作、献納画などから紹介した。

◎展示構成
・兵士や戦地を描く
・戦地で生きる人々や、彼等の暮らしを描く
・戦争の時代のなかで描く

この１点を見てほしい。
Enjoy One Special Piece

・伊藤隆介《こんなことは無かった》

●作品展示
　日本通運株式会社

●会場設営
　株式会社アークスタジオ

●広報印刷物
　ポスター：B2 判縦
　チ ラ シ：A4 判縦
　デザイン：畠山尚
　印　　刷：株式会社総北海

●出品目録
　A3 判二つ折り 6 頁（当館簡易印刷）

●関連事業等
［ミュージアム・トーク］
　本書 4-3 解説活動に記載

●主な掲載、放送等

［新聞］

北海道新聞

「近美コレクション～シャガール・イン・プリント」２月７日(火)朝刊

「戦争の記憶　絵画でたどる」2022 年 3 月 7 日(木)朝刊

「戦時も貫く画風と作家性」3 月 25 日(土)夕刊

読売新聞

「戦時下の画家作品　調査」2022 年 4 月 15 日(金)朝刊

朝日新聞社

「描いた兵士　描けなかった表現」3 月 3 日(金)朝刊

北海道通信

「芸術から戦争を知ろう」3 月 30 日(木)

［放送・配信］

NHK

「戦時中に道内出身画家が戦地で描いたスケッチや油絵の展示会」2 月 17 日(金)放送

シャガール・イン・プリント　出品目録

1　『死せる魂』　1923-27年／1948年刊　エッチングなど・紙

No.	作品名（副題）	寸法（cm）
1	チーチコフの到着	22.0×28.6
2	旅籠屋	22.1×28.6
3	小さな町	22.3×28.5
4	知事邸での夜会	22.0×28.6
5	ペトルーシカ	22.0×28.6
6	馭者セリファン	22.0×28.5
7	道中	22.0×28.6
8	マニーロフ	28.5×22.0
9	戸口のマニーロフとチーチコフ	28.6×22.1
10	マニーロフ邸での食事	22.0×28.4
11	管理人	28.9×19.4
12	マニーロフに別れを告げるチーチコフ	22.6×29.2
13	ソバケーヴィチ家への道中	22.0×29.7
14	四輪馬車がひっくり返る	22.6×29.7
15	コローボチカ夫人	30.1×22.8
16	寝床につくチーチコフ	19.8×28.2
17	飼育場	22.4×29.1
18	朝のお茶	22.5×29.3
19	道案内	28.2×22.3
20	旅籠屋の建物	28.0×23.0
21	旅籠屋での食事	21.4×28.5
22	ノズドリョフ	28.7×23.1
23	塗装工たち	29.0×23.0
24	トランプ	21.9×28.5
25	警察署長の登場	28.5×21.8
26	馭者は馬たちに餌を与える	21.2×27.8
27	路上での共謀	27.4×21.4
28	農民たちの群衆	21.7×28.3
29	ミチャイ小父とミニャイ小父	27.8×21.6
30	チーチコフの夢	27.9×21.4
31	ソバケーヴィチの家	21.0×27.8
32	ソバケーヴィチ	21.2×28.0
33	ソバケーヴィチ夫人	27.7×21.0
34	食卓へ移る	27.7×21.0
35	食料でみたされた食卓	27.5×21.3
36	食事をするソバケーヴィチ	21.4×28.0
37	取引をするチーチコフとソバケーヴィチ	21.3×27.7
38	肘掛け椅子の傍らのソバケーヴィチ	27.8×21.7
39	手付金	21.4×27.8
40	農民との遭遇	27.8×21.5
41	プリューシキンの村	21.1×27.5
42	プリューシキンの古びた庭園	27.6×20.9
43	戸口に立つプリューシキン	27.7×21.2
44	プリューシキンの部屋	27.6×21.4
45	橋の下で拾い集めるプリューシキン	27.6×20.7
46	プローシカ	27.5×21.0
47	プリューシキンは酒をすすめる	21.5×27.7
48	書類を探すプリューシキン	21.2×27.6
49	プリューシキンとマーヴラの口論	21.3×27.5
50	町の関所にて	21.2×27.5
51	ゴーゴリとシャガール	27.4×21.0
52	シャツ一枚で勝ち誇るチーチコフ	27.6×21.0
53	耕作	21.1×27.5
54	失態をおかした男の死	20.8×27.3
55	大工ステパン	27.5×20.6
56	靴屋マクシム・チェリャートニコフ	28.3×21.0
57	女の奴	27.8×20.8
58	行けども行けども果てしなしのグリゴーリイ	22.0×28.5
59	旅券を持たず警察署長の前に立つ男	27.5×21.2
60	穀物波止場	21.1×27.6
61	曳舟人夫たち	21.5×28.0
62	外套を着たもの同士、遭遇する	27.3×21.8
63	裁判所	21.7×27.7
64	登記所	27.5×21.9
65	一杯のワイン(賄賂)	21.7×27.4
66	証人たち	21.3×27.3
67	警察署長邸での宴会	27.6×21.6
68	パーヴェル・イワーノヴィチ・チーチコフは旅籠に帰る	27.6×21.7
69	ペトルーシカは長靴をはずす	27.7×21.9

70	ズボンをきれいにする	27.7×22.0
71	ベッドに寝ころぶ	21.8×27.4
72	チーチコフの身繕い	27.6×22.0
73	舞踏会でのチーチコフの登場	22.0×27.6
74	知事邸での舞踏会	21.0×30.5
75	ノズドリョフの暴露	27.6×21.0
76	街灯の傍らの番人	27.7×22.0
77	感じの良いご婦人、何事につけても感じの良いご婦人	28.7×21.0
78	知事夫人は自分の娘を叱る	27.6×21.0
79	チーチコフの怪しいうわさが広まる	23.5×27.7
80	裸で逃げだす	20.8×27.6
81	やつれた役人たち	27.7×23.6
82	役人たちの密談	22.8×27.8
83	コペイキンあるいはナポレオン	27.8×20.8
84	死んだ検事	20.8×27.7
85	歯痛	27.7×21.0
86	チーチコフは髭を剃る	27.6×20.8
87	衛兵はチーチコフを通さない	27.6×23.5
88	我らの主人公は今まさに支度をする	27.7×21.0
89	検事の葬列	21.0×27.8
90	チーチコフの誕生	27.5×20.1
91	チーチコフの父は彼におしおきを与える	27.6×20.7
92	チーチコフは事務室に寝泊まりをした	21.0×27.7
93	教会にて	27.3×20.8
94	税務局にて、新しい局長	20.8×27.6
95	税官吏チーチコフ	20.8×27.5
96	夕暮れのトロイカ	20.8×27.3

2　『出エジプト記』　1966年／1966年刊　リトグラフ・和紙　44.0×32.0ほか

No.	作品名（副題）
97	扉絵
98	ファラオの娘は、パピルスの箱を開けて、男の子を見た。(2章5-6節)
99	成長すると、モーセは同胞のもとへ出て行き、彼らの使役を目の当たりにした。(2章11節)
100	ヤハウェの使いが、茨の灌木の中から、モーセの方へ向かって、炎につつまれて顕れた。みよ、灌木が燃えていた。しかし焼き尽くされることはなかった。(3章2節)
101	モーセは杖を地に投げた。すると蛇になったので、モーセはその前から飛びのいた。(4章3節)
102	ヤハウェはアロンに言った、「モーセに会うために荒野に行きなさい」。彼は行って、神の山でモーセに遭遇し、接吻した。(4章27節)
103	モーセとアロンは行って、イスラエルの子らの長老たちを皆集めた。(4章29節)
104	その後、モーセとアロンはやって来て、ファラオに言った、「こう、イスラエルの神ヤハウェが言った。『私の民を去らせよ。彼らが荒野で私のために巡礼祭を祝うように』」。(5章1節)
105	モーセは手を天に向けて伸ばした。すると三日間エジプト全土が真っ暗闇になった。(10章22節)
106	モーセは手を海の上に伸ばした。水が戻り、戦車と騎兵たちを覆った。彼らの後海に入ったファラオの全軍隊のうち、一人として残らなかった。(14章27､28節)
107	女預言者、アロンの姉妹、ミリヤムはタンバリンを手に取った。女たちは皆、彼女の後ろに出て来た。タンバリンを持ち、輪になって踊りながら。(15章20節)
108	「あなたはその岩を打ちなさい、すると、水がそこから出て来て、民は飲むことができる」。(17章6節)
109	アマレクがやって来て、レフィディムでイスラエルと戦った。モーセはヨシュアに言った、「私たちのために男たちを選び出し、出陣し、アマレクに対して戦いなさい」。(17章8-9節)
110	モーセはやって来て、民の長老たちに呼びかけ、ヤハウェが彼に命じた言葉をすべて彼らの前に提示した。(19章7節)
111	「あなたはアロンとその息子たちに油を注ぎ、聖別しなさい。そうすれば、彼らは祭司として私に仕えるようになる」。(28章41節)
112	ヤハウェは、シナイ山でモーセと語り終えた際に、2枚の証書の石板をモーセに与えた。すなわち、神の指で記された石の板を。(31章18節)
113	民は皆、彼らの耳にある金の輪を、アロンのところに持って来た。彼は、彼らの手から受け取り、それを若い雄牛の鋳造にした。(32章3､4節)
114	モーセの怒りは燃え上がり、彼は手から石板を投げ捨て、山の麓でそれらを砕いた。(32章19節)
115	モーセは石板の上に契約の言葉を書き記した、十の言葉を。(34章28節)
116	モーセは、イスラエルの子らの全会衆を集合させて、彼らに言った、「ヤハウェが行うように命じられた事柄に、あなたたちは従わなくてはならない」。(35章1節)
117	ベツァルエルは、二つの金のケルプたちを作った。それらのケルプたちは、上方に向けて翼を広げ、互いに顔が向き合うようにされた。(37章7-9節)
118	彼らは、ヤハウェがモーセに命じた通りに、アロンのための聖なる祭服を作った。(39章1節)
119	モーセは、すべての作業を点検した。彼らはヤハウェが命じた通りに実行していた。そこでモーセは、彼らを祝福した。(39章43節)
120	昼は宿り場の上にヤハウェの雲があり、夜は雲の中に火が現れて、いつもイスラエルの全家の目に見えた。彼らの旅路の間中、ずっとそうであった。(40章38節)

3　『ダフニスとクロエ』　1957-60年／1961年刊　リトグラフ・アルシュ紙

No.	作品名（副題）	寸法（cm）
121	扉絵	42.7×32.3
122	ラモーン、ダフニスを見つける	42.7×32.6
123	ドリュアース、クロエを見つける	42.5×32.6
124	ラモーンとドリュアースの夢	42.6×32.3
125	牧場の春	42.6×64.5
126	狼の落とし穴	42.0×32.1
127	泉のほとりのダフニスとクロエ	42.5×32.3
128	クロエの判断	42.0×64.2
129	クロエのくちづけ	42.5×32.3
130	ドルコーンのたくらみ	42.5×32.4
131	真昼、夏	42.5×32.5
132	燕	42.5×32.4
133	ドルコーンの死	42.3×64.5
134	ニンフたちの洞窟	42.3×64.6
135	葡萄の取り入れ	42.5×32.5
136	フィレータースの果樹園	42.5×64.6
137	フィレータースの教えたこと	42.5×32.5
138	メーテュムナの若者たち	42.3×32.3
139	クロエの誘拐	42.5×64.3
140	ダフニスの夢とニンフたち	42.5×32.8
141	ブリュアクシス司令官の夢	42.5×64.7
142	ニンフたちへの捧げ物	42.5×32.3
143	牧神パーンの饗宴	42.5×32.5
144	シュリンクスの物語	42.5×32.5
145	冬	42.5×32.4
146	小鳥狩り	42.3×64.4
147	ドリュアース家での食事	42.5×64.5
148	春	42.5×65.0
149	ダフニスとリュカイニオン	42.5×32.3
150	木霊(エーコー)	55.7×75.9(紙寸)
151	夏の季節	42.5×32.3
152	死んだイルカと300エキュ	42.7×32.5
153	クロエ	42.5×32.0
154	果樹園	42.5×64.7
155	バッカス神の杜とそこに描かれているできごと	42.5×64.7
156	荒らされた花々	42.3×32.4
157	ダフニスとグナトーン	42.6×32.5
158	ディオニューソファネースの到着	42.6×32.3
159	クリアリステーに着付けと髪結いをしてもらうクロエ	42.3×32.5
160	メガクレースはクロエが自分の娘であることに宴の間に気がつく	42.4×64.5
161	ニンフたちの洞窟での婚礼の祝宴	42.3×64.3
162	結婚	42.3×64.2

No.	作品名	制作年	技法・材質	寸法（cm）
163	パリの空に花	1967年	油彩・キャンバス	148.0×140.0

※寸法は縦×横
※作品はすべてマルク・シャガール　当館蔵

この1点を見てほしい。　出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法（cm）	展示期間
1	伊藤隆介	こんなことは無かった	2012/2022	CCDカメラ、液晶プロジェクター、モーター、照明器具、ミクスト・メディア	ジオラマ：幅60.0×奥行100.0×高さ100.0 映像：スクリーンサイズに応じ可変	令和4年2月11日(土)～ 4月9日(日)

※作品は当館蔵

3-2　展覧会② 特別展

◆特別展一覧

No. （展覧会番号）	展覧会名	開催期間	開催日数	主催・後援等
1 (306)	日本画家 羽生輝展　悠久の岬を望む	4月16日(土) ～6月26日(日) 〔当初予定：令和4年2月5日(土)～3月21日(月)〕	62日	主　　催：北海道立近代美術館 後　　援：札幌市、札幌市教育委員会
2 (307)	UHB北海道文化放送開局50周年・北海道新聞創刊80周年記念事業　ドレスデン国立古典絵画館所蔵　フェルメールと17世紀オランダ絵画展	4月22日(金) ～6月26日(日)	57日	主　　催：北海道文化放送、北海道新聞社、北海道立近代美術館 後　　援：ドイツ連邦共和国大使館、北海道、北海道教育委員会、札幌市、札幌市教育委員会 特別協賛：アース製薬 協　　賛：大和ハウス工業、NISSHA 北海道展協賛：さっぽろ脊椎外科クリニック、道民共済 協　　力：ルフトハンザ カーゴ AG、ルフトハンザ ドイツ航空、ヤマト運輸 北海道展協力：AIR-G’FM北海道
3 (308)	ライデン国立古代博物館所蔵　古代エジプト展	7月10日(日) ～8月21日(日)	38日	主　　催：北海道立近代美術館、北海道新聞社、北海道文化放送、札幌テレビ放送、ライデン国立古代博物館 後　　援：外務省、オランダ王国大使館、北海道、札幌市、札幌市教育委員会、北海道 PTA 連合会、北海道小学校長会、北海道中学校長会、北海道高等学校長協会、北海道私立中学高等学校協会、公益財団法人北海道私立専修学校各種学校連合会 協　　賛：DNP大日本印刷、つうけんグループ 協　　力：ヤマト運輸
4 (309)	北海道新聞創刊80周年 聖徳太子1400年御遠忌記念　国宝・法隆寺展	9月3日(土) ～10月30日(日)	50日	主　　催：法隆寺、北海道立近代美術館、北海道新聞社、テレビ北海道、日本経済新聞社 学術協力：奈良国立博物館 後　　援：北海道、札幌市、札幌市教育委員会 協　　賛：アインホールディングス、さっぽろ脊椎外科クリニック、ダイキン工業、大和ハウス工業、つうけんグループ、ニトリホールディングス、NIPPON EXPRESS ホールディングス、よつ葉乳業 協　　力：エプソン販売、金澤製作所、大光電機
5 (310)	砂澤ビッキ展	11月22日(火) ～令和5年1月22日(日)	49日	主　　催：北海道立近代美術館
6 (311)	サンリオ展　ニッポンのカワイイ文化60年史	2月11日(土) ～4月2日(日)	44日 （年度内42日）	主　　催：STV札幌テレビ放送、北海道立近代美術館

1　日本画家　羽生輝展　悠久の岬を望む

Hanyu Hikaru Exhibition: View of the Eternal Cape – Japanese-style Paintings

会　　期：4 月 16 日(土)～6 月 26 日(日)〔当初予定：令和 4 年 2 月 5 日(土)～3 月 21 日(月)〕
会　　場：北海道立近代美術館　展示室Ａ
主　　催：北海道立近代美術館
後　　援：札幌市、札幌市教育委員会

1941(昭和 16)年、東京に生まれた日本画家の羽生輝は、7 歳の頃に移り住んだ北海道、釧路を拠点に制作活動を続けてきた。絵の主題は道東の浜辺に取材したものが多く、風雪厳しい北国の情景を、板張りの番屋や生活の灯りとともに、鋭く重厚な筆致によって大画面へと描き出してきた。また近年は釧路湿原を主題とした連作を手がけ、雄大で穏やかな画風の新境地を拓いている。

本展では、半世紀以上にわたる画業の中より初期から近年までの代表作を一堂に展覧し、あわせて少年期の作品、海外取材作品、紙本作品、新聞連載挿絵原画、関連資料等を紹介し、その画業を回顧した。

なお、この展覧会は北海道立釧路芸術館と共同で企画、開催された。

また本展覧会は、令和 4 年 2 月 5 日(土)から 3 月 21 日(月)までの開催予定であったが、臨時休館にともない、4 月 16 日(土)から 6 月 26 日(日)までに変更となった。「この 1 点を見てほしい。」も同じく延期となったため、展示室 A2 階にて、羽生輝と同時に開催した。

●巡回
北海道立釧路芸術館
令和 3 年 10 月 9 日(土)～12 月 8 日(水)

●展示構成
第 1 章　画家へと歩み出す ―日本画への憧憬
第 2 章　挑戦と迷い ―自身のモチーフを探して
第 3 章　静寂と温もり ―五感を澄まして
第 4 章　海霧を描く ―見えない海を感じるように
第 5 章　湿原からふたたび浜辺へ ―悠久の岬を望む

●図録
仕　　様：A4 変形(225×290mm)、120 ページ
編　　集：北海道立釧路芸術館、北海道立近代美術館
執　　筆：藤原乃里子(北海道立釧路芸術館主任学芸員)、瀬戸厚志(当館学芸員)
翻　　訳：クリストファー・スティヴンズ
デザイン：磯優子(文編図工室)
制　　作：藤田印刷株式会社
発　　行：藤田印刷エクセレントブックス

●広報印刷物
ポスター：B2 判縦
チ ラ シ：A4 判縦
観 覧 券：155×65mm
出品目録：A3 判二つ折り

●作品輸送・展示
日本通運株式会社

●会場設営
株式会社松原建装

●関連事業等
［対談　羽生輝・奥岡茂雄］
日　　時：4 月 17 日(日)　14 時～(約 1 時間 30 分)
会　　場：当館講堂(聴講無料)
講　　師：羽生輝(作家)、奥岡茂雄(美術評論家)

［講座］
演　　題：みどころ解説
日　　時：5 月 5 日(木・祝)、5 月 29 日(日)　各 14 時～(約 60 分)
会　　場：当館講堂
講　　師：当館学芸員

［特設ライブラリー］
令和 4 年度北海道立図書館･北海道立近代美術館連携事業
深める・楽しむ～羽生輝展　北海道立図書館の蔵書から
会　　期：会期中
会　　場：本展出口特設コーナー
主　　催：北海道立図書館、北海道立近代美術館
内　　容：北海道立図書館蔵書から羽生輝および北海道の日本画に関する図書・雑誌等 40 冊を展示、閲覧利用

●主な掲載、放送等
［新聞］
北海道新聞
「道東の浜 引き込む色彩　近美で羽生輝さん日本画展」菊池圭祐　4 月 17 日(日)
読売新聞
「道東の風景描き半世紀 札幌で特別展　羽生輝さん代表作 60 点」　4 月 27 日(水)

［雑誌］
poroco　5月号、6月号
0.tone　2022,vol.162

［放送、配信］
北海道リモート・ミュージアム
「日本画家　羽生輝展　悠久の岬を望む展」　5月23日
(月)配信開始

日本画家

羽生輝展 悠久の岬を望む

Hanyu Hikaru：View of the Eternal Cape – Japanese-style Paintings

北海道リモート・ミュージアム

「羽生輝展」紹介動画を YouTube で配信中！
https://youtu.be/Dsz9OkSbP6Y　またはこちらから→

no.	作品名	制作年	技法、材質	所蔵先
1	鰊２匹	1953-54（昭和 28-29）年頃	水彩、溶き油、紙	作家蔵
2	千代ノ浦海岸スケッチ	1961（昭和 36）年	油彩、キャンバス	佐々木良造氏
3	部屋のかたすみ	1963（昭和 38）年	油彩、キャンバス	作家蔵
4	暮色	1968（昭和 43）年	彩色、和紙、板	若山直氏
5	碧色（トレドにて）	1971（昭和 46）年	彩色、和紙、板	釧路市立美術館
6	望郷（クナシリ）	1971（昭和 46）年	彩色、和紙、板	釧路市立美術館
7	望郷（クナシリ・エトロフ）	1973（昭和 48）年	彩色、和紙、板	根室市総合文化会館
8	冬来	1974（昭和 49）年	彩色、和紙、板	若山直氏
9	冬来	1975（昭和 50）年	彩色、和紙、板	若山直氏
10	暮れる北浜	1977（昭和 52）年	彩色、和紙、板	釧路市
11	移り変わり行く浜	1978（昭和 53）年	彩色、和紙、板	若山直氏
12	厳寒北崖	1979（昭和 54）年	彩色、和紙、板	若山直氏
13	北の浜	1980（昭和 55）年	彩色、和紙、板	釧路信用金庫西港支店
14	冬眠する浜	1982（昭和 57）年	彩色、板	釧路市立美術館
15	冬眠する浜	1986（昭和 61）年	彩色、板	辻谷守氏
16	11 月のセーヌ川	1997（平成 9）年	彩色、紙	作家蔵
17	聖堂（フィレンツェ）	1968（昭和 43）年	彩色、紙	南大通ギャラリー
18	北の浜辺（桂恋）	1989（平成元）年	彩色、板	市立釧路総合病院
19	夜明（トルコ・イスタンブールにて）	1986（昭和 61）年	パステル、紙	作家蔵
20	古都（スペイン・トレドにて）	1985（昭和 60）年	パステル、紙	作家蔵
原田康子『挽歌』新聞連載挿絵原画				
21	第 13 回（第 1 章 -13）	1980（昭和 55）年	パステル、墨、紙	個人蔵
22	第 14 回（第 1 章 -14）	1980（昭和 55）年	パステル、鉛筆、紙	個人蔵
23	第 16 回（第 2 章 -1）	1980（昭和 55）年	パステル、コンテ、鉛筆、紙	村岡冴子氏
24	第 18 回（第 2 章 -3）	1980（昭和 55）年	パステル、鉛筆、紙	藤田千津氏
25	第 33 回（第 3 章 -5）	1980（昭和 55）年	パステル、紙	川岸雅子氏
26	第 108 回（第 10 章 -7）	1980（昭和 55）年	アクリル絵具、パステル、コンテ、鉛筆、紙	村上千尋氏
27	第 112 回（第 10 章 -11）	1980（昭和 55）年	パステル、紙	香川奈緒美氏
28	第 117 回（第 10 章 -16）	1980（昭和 55）年	パステル、鉛筆、紙	藤田千津氏
29	第 118 回（第 10 章 -17）	1980（昭和 55）年	パステル、ボールペン、紙	釧路文学館

30	第 157 回（第 14 章 -4）	1980（昭和 55）年	パステル、ボールペン、紙	個人蔵
31	第 170 回（第 15 章 -1）	1980（昭和 55）年	ペン、水彩、パステル、紙	個人蔵
32	第 181 回（第 16 章 -3）	1980（昭和 55）年	墨、色鉛筆、紙	長野佳子氏
33	水辺（釧路湿原）	1984（昭和 59）年	彩色、板	釧路商工会議所
34	漁待つ北浜	1984（昭和 59）年	彩色、板	辻谷守氏
35	白い海	1989（平成元）年	彩色、板	辻谷守氏
36	北浜に舞う	1986（昭和 61）年	彩色、板	北海道釧路湖陵高等学校
37	北の海（岬、クナシリ）	1991（平成 3）	彩色、板	辻谷守氏
38	２月の北岬	1987（昭和 62）年	彩色、板	釧路公立大学
39	北の岬（知床）	1989（平成元）年	彩色、板	北海道立近代美術館
40	夜明け（昆布森　１月）	1991（平成 3）年	彩色、板	辻谷守氏
41	北の岬（桂恋）	1993（平成 5）年	彩色、板	北海道立釧路芸術館
42	春採湖	1992（平成 4）年	彩色、板	釧路昭和啓生園
43	北の岬（桂恋）	1992（平成 4）年	彩色、板	釧路市立美術館
44	浜辺に暮らす（千代の浦）	1994（平成 6）年	彩色、板	釧路市立美術館
45	浜辺に暮らす（床丹）	1994（平成 6）年	彩色、板	辻谷守氏
46	北の浜辺（千代の浦）	1998（平成 10）年	彩色、板	網走市立美術館
47	北の浜辺（床丹）	1993（平成 5）年	彩色、板	釧路市立美術館
48	北の岬（愛冠）	1993（平成 5）年	彩色、板	釧路弁護士会
49	北の浜辺（小島望、大黒島望）	1996（平成 8）年	彩色、板	北海道立釧路芸術館
50	北の浜辺	1997（平成 9）年	彩色、板	北海道立旭川美術館
51	北の浜辺（オホーツク）	1999（平成 11）年	彩色、板	北海道立釧路芸術館
52	サビタ	1968（昭和 43）年	彩色、紙	中村幸雄氏
53	ヴェネツィア	1989（平成元）年	彩色、板	南大通ギャラリー
54	シャルトル	1989（平成元）年	彩色、板	南大通ギャラリー
55	ノートルダム寺院	2009（平成 21）年	彩色、板	大島尚久氏
56	フィレンツェにて	2020（令和 2）年	彩色、紙	南大通ギャラリー
57	碧（古都トレド）	2019（令和元）年	彩色、紙	作家蔵
58	海霧	2002（平成 14）年	彩色、板	札幌芸術の森美術館
59	海霧（北岬Ⅱ）	2002（平成 14）年	彩色、板	札幌芸術の森美術館
60	海霧（オダイト）	2001（平成 13）年	彩色、板	北海道立釧路芸術館
61	海霧（オソツナイ）	2001（平成 13）年	彩色、板	北海道立近代美術館
62	北辺・昆布森	2003（平成 15）年	彩色、板	北海道立旭川美術館
63	雪止んで（釧路町老者舞）	2010（平成 22）年	彩色、板	ひろせクリニック
64	残照（北岬）	2012（平成 24）年	彩色、板	辻谷守氏
65	海霧（07．オソツナイ）	2007（平成 19）年	彩色、板	北海道立釧路芸術館

66	海霧（07．オダイト）	2007（平成 19）年	彩色、板	北海道立釧路芸術館
67	浜風（釧路崎）	2009（平成 21）年	彩色、板	小川勝弘氏
68	晩照（北岬）	2012（平成 24）年	彩色、板	北海道立釧路芸術館
69	冬日（悠々釧路湿原）	2015（平成 27）年	彩色、板	北海道立釧路芸術館
70	雨止む（悠々釧路湿原）	2016（平成 28）年	彩色、板	個人蔵
71	靄う釧路湿原	2017（平成 29）年	彩色、板	個人蔵
72	晩照（悠々釧路湿原）	2013（平成 25）年	彩色、板	小川勝弘氏
73	朝霧流れる（悠々釧路湿原）	2017（平成 29）年	彩色、板	チャイルド歯科長内医院 長内信辰氏
74	霧流れる（悠々釧路湿原）	2016（平成 28）年	彩色、板	チャイルド歯科長内医院 長内信辰氏
75	流れ行く（悠々釧路湿原）	2014（平成 26）年	彩色、板	チャイルド歯科長内医院 長内信辰氏
76	流れ行く雪雲（釧路湿原）	2015（平成 27）年	彩色、板	チャイルド歯科長内医院 長内信辰氏
77	晩照（悠々釧路湿原）	2014（平成 26）年	彩色、板	北海道立帯広美術館
78	海霧（家路）	2018（平成 30）年	彩色、板	釧路市立美術館
79	夕凪（北の浜辺）	2019（令和元）年	彩色、板	ひろせクリニック
80	北の浜辺（凍れる夜）	2020（令和 2）年	彩色、板	作家蔵
原田康子『海霧』新聞連載挿絵原画				
81	第 21 回「きらめく石（2）」見送り	2000（平成 12）年	墨、グワッシュ、胡粉、鉛筆、紙	一般財団法人くしろ知域文化財団
82	第 57 回「おさよ（1）」明治初期の久寿里（釧路） 2000（平成 12）年	墨、グワッシュ、パステル、胡粉、鉛筆、紙		一般財団法人くしろ知域文化財団
83	第 93 回「おさよ（37）」海霧の浜	2000（平成 12）年	墨、パステル、胡粉、紙	一般財団法人くしろ知域文化財団
84	第 130 回「眞砂町（35）」見送る	2000（平成 12）年	鉛筆、パステル、紙	一般財団法人くしろ知域文化財団
85	第 148 回「眞砂町（53）」秋味	2000（平成 12）年	鉛筆、パステル、胡粉、紙	一般財団法人くしろ知域文化財団
86	第 150 回「眞砂町（55）」囲炉裏	2000（平成 12）年	コンテ、胡粉、鉛筆、紙	一般財団法人くしろ知域文化財団
87	第 151 回「眞砂町（56）」スルメ	2000（平成 12）年	コンテ、パステル、鉛筆、紙	一般財団法人くしろ知域文化財団
88	第 172 回「眞砂町（77）」温もり	2000（平成 12）年	コンテ、パステル、墨、紙	一般財団法人くしろ知域文化財団
89	第 186 回「眞砂町（91）」脱衣	2000（平成 12）年	鉛筆、パステル、胡粉、紙	一般財団法人くしろ知域文化財団
90	第 235 回「眞砂町（140）」模様	2000（平成 12）年	墨、グワッシュ、紙	一般財団法人くしろ知域文化財団
91	第 238 回「眞砂町（143）」鉢巻き	2000（平成 12）年	墨、グワッシュ、紙	一般財団法人くしろ知域文化財団
92	第 316 回「馬上の姉（22）」昆布番屋	2001（平成 13）年	パステル、グワッシュ、墨、胡粉、紙	一般財団法人くしろ知域文化財団
93	第 318 回「馬上の姉（24）」荒れる	2001（平成 13）年	墨、パステル、胡粉、紙	一般財団法人くしろ知域文化財団
94	第 356 回「馬上の姉（62）」黒百合花	2001（平成 13）年	鉛筆、パステル、紙	一般財団法人くしろ知域文化財団
95	第 382 回「北へ（7）」知人岬望	2001（平成 13）年	墨、グワッシュ、パステル、胡粉、紙	一般財団法人くしろ知域文化財団

96	第 411 回「北へ（36）」鈴蘭	2001（平成 13）年	鉛筆、パステル、胡粉、紙	一般財団法人くしろ知域文化財団
97	第 481 回「誕生と死と（24）」番屋	2001（平成 13）年	墨、グワッシュ、胡粉、紙	一般財団法人くしろ知域文化財団
98	第 485 回「誕生と死と（28）」くぼみ	2001（平成 13）年	墨、グワッシュ、パステル、紙	一般財団法人くしろ知域文化財団
99	第 493 回「誕生と死と（36）」別棟家並	2001（平成 13）年	墨、グワッシュ、胡粉、紙	一般財団法人くしろ知域文化財団
100	第 518 回「誕生と死と（61）」帯広へ	2001（平成 13）年	コンテ、パステル、墨、胡粉、鉛筆、紙	一般財団法人くしろ知域文化財団
101	第 520 回「誕生と死と（63）」若い女	2001（平成 13）年	鉛筆、パステル、紙	一般財団法人くしろ知域文化財団
102	第 526 回「誕生と死と（69）」吹雪模様	2001（平成 13）年	墨、グワッシュ、パステル、紙	一般財団法人くしろ知域文化財団
103	第 528 回「誕生と死と（71）」オニップ（鬼呼）	現釧路市弁天ヶ浜 2001（平成 13）年	墨、コンテ、パステル、胡粉、紙	一般財団法人くしろ知域文化財団
104	第 545 回「誕生と死と（88）」紫雲台岬	2001（平成 13）年	墨、グワッシュ、紙	一般財団法人くしろ知域文化財団
105	第 590 回「ただよう舟（45）」仕掛け	2002（平成 14）年	墨、グワッシュ、紙	一般財団法人くしろ知域文化財団
106	第 601 回「ただよう舟（56）」骨董	2002（平成 14）年	鉛筆、墨、パステル、紙	一般財団法人くしろ知域文化財団

資料

no.	資料名	年代	備考	所蔵先
107	少年時代の絵	1951-52（昭和 26-27）年頃	クレヨン、水彩、紙／ 25.0×36.0 他	作家蔵
108	18 歳の年、伯母の舟越道子とその夫で彫刻家の舟越保武から贈られた「ゴッホ展」図録	東京国立博物館／ 1958（昭和 33）年 10 月 15 日～ 11 月 25 日		- 作家蔵
109	写生道具	-	-	作家蔵
110	日本画の画材、道具	-	-	作家蔵
-	インタビュー動画「羽生輝　日本画を語る」	2021（令和 3）年	撮影日：2021（令和 3）年 2 月 18 日	

／聞き手：瀬戸厚志（北海道立近代美術館）、藤原乃里子（北海道立釧路芸術館）／編集：北海道立近代美術館、北海道立釧路芸術館

この 1 点をみてほしい。

1	吉川霊華＜太上老君＞	1917(大正 6) 年	紙本墨画	当館蔵

2022〔令和4〕年

4月16日〔土〕～6月26日〔日〕

主催｜北海道立近代美術館　後援｜札幌市、札幌市教育委員会

北海道立近代美術館

HOKKAIDO MUSEUM OF MODERN ART

〒060-0001 札幌市中央区北1条西17丁目　011-644-6882

2　UHB 北海道文化放送開局 50 周年・北海道新聞創刊 80 周年記念事業

ドレスデン国立古典絵画館所蔵　フェルメールと 17 世紀オランダ絵画展

Johannes Vermeer and the Masters of the Golden Age of the Dutch Painting from the collection of the Gemäldegalerie Alte Meister, Staatliche Kunstsammlungen Dresden

会　　期：4 月 22 日(金)～6 月 26 日(日)
会　　場：北海道立近代美術館　展示室Ｂ
主　　催：北海道文化放送、北海道新聞社、北海道立近代美術館
後　　援：ドイツ連邦共和国大使館、北海道、北海道教育委員会、札幌市、札幌市教育委員会
特別協賛：アース製薬
協　　賛：大和ハウス工業、NISSHA
北海道展協賛：さっぽろ脊椎外科クリニック、道民共済
協　　力：ルフトハンザ カーゴ AG、ルフトハンザ ドイツ航空、ヤマト運輸
北海道展協力：AIR-G’FM 北海道

ドレスデン国立古典絵画館が所蔵するヨハネス･フェルメールの初期の傑作《窓辺で手紙を読む女》。2018 年から開始された修復プロジェクトにより､画家以外の手によって塗りつぶされた部分が取り除かれ､隠されていたキューピッドの画中画が姿を現した。本展では、この修復過程を紹介する資料とともに、《窓辺で手紙を読む女》の修復後の姿を日本で初めて公開した。

また、フェルメールが活躍した 17 世紀のオランダでは、風景画や静物画、風俗画など、様々なジャンルの上質な絵画が数多く描かれた。本展では、同館のコレクションから、レンブラント・ファン・レイン、ハブリエル・メツー、ヤーコプ・ファン・ライスダールといった、この時代のオランダを代表する画家たちの名品約 70 点もあわせて紹介した。

北海道でフェルメールの作品が展示されるのは 1984 年以来 38 年ぶりのことでもあり、新型コロナウイルス感染対策のため入場制限があったなかでも、100,000 人を超える入館者を数えるなど、高い関心を集めた展覧会であった。

●巡回
東京都美術館
令和 4 年 2 月 10 日～4 月 3 日

大阪市立美術館
令和 4 年 7 月 16 日～9 月 25 日

宮城県美術館
令和 4 年 10 月 8 日～11 月 27 日

●展示構成
レイデンの画家―ザクセン選帝侯たちが愛した作品
レンブラントとオランダの肖像画
オランダの風景画
聖書の登場人物と市井の人々
《窓辺で手紙を読む女》の調査と修復
オランダの静物画―コレクターが愛したアイテム
複製版画

●図録
仕　　様：A4 判縦(225×290mm)、264 ページ
執　　筆：シュテファン・コーヤ(ドレスデン国立古典絵画館)、ウタ・ナイトハルト(同)、クリストフ・シェルツェル(同)、コンスタンツェ・クルーガー(同)、ローニャ・オフフェルマン(同)、ヨハンナ・ベッカー(同)、高城靖之(東京都美術館)、篠雅廣(大阪市立美術館)
英文和訳：高城靖之、篠雅廣、小檜山祐幹(宮城県美術館)、江見郁子、小丸麻里子、山田カイル(Art Translators Collective)、吉澤朋
独文和訳：小檜山祐幹、岩本順子、住谷眞(新約聖書学者)
和文英訳：クリストファー・スティヴンス
編　　集：高城靖之、篠雅廣、小檜山祐幹、鵜澤裕子(産経新聞社)、風間ありさ(同)、和泉さなえ(同)、三枝直子(同)、藤本聡(同)
編集補助：堀込孔星(財団ハタステフティング)、住谷美都子
デザイン：中村遼一(カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社 美術出版デザインセンター)
制　　作：中村友代(カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社 美術出版デザインセンター)
製作協力：石塚肇(MOJITOETO)
印　　刷：NISSHA
発　　行：産経新聞社、フジテレビジョン

●広報印刷物
ポスター：B2 判縦
チ ラ シ：A3 判変形横二つ折り
観 覧 券：190×70mm
出品目録：A3 判二つ折り

●作品輸送・展示
ヤマト運輸株式会社

●会場設営
株式会社アークスタジオ、株式会社六書堂

●関連事業等
［音声ガイド］
ナレーション：小芝風花

［特設ライブラリー］
令和 4 年度北海道立図書館・北海道立近代美術館連携事業
深める・楽しむ～フェルメールと 17 世紀オランダ絵画展
北海道立図書館の蔵書から
会　　期：会期中
会　　場：本展出口特設コーナー
主　　催：北海道立図書館、北海道立近代美術館
内　　容：北海道立図書館蔵書からフェルメール、レンブラントおよびオランダ、ドイツ・ドレスデンに関する図書・雑誌等 38 冊を展示、閲覧利用

●主な掲載、放送等
［新聞］
北海道新聞
「話題作　資料とともに　フェルメールと 17 世紀オランダ絵画展」　1 月 13 日(木)
「フェルメールと 17 世紀オランダ絵画展　あすから道立近代美術館　キューピッド 300 年ぶりお目見え」山中龍之助　4 月 21 日(木)
「修復のキューピッド札幌に　「フェルメール展」きょう開幕」山中龍之助　4 月 22 日(金)
「キューピッド来場者魅了　札幌・近美　フェルメール展始まる」山中龍之助　4 月 22 日(金)夕刊
「写実的絵画に感動　札幌・近美　フェルメール展開幕」山中龍之助　4 月 23 日(土)
(さっぽろ 10 区)「フェルメール展　グッズも充実　注目の品ショップスタッフが紹介」平野薫　5 月 13 日(金)
「オランダ絵画の「横顔」　窓辺で手紙を読む女　隠されていたキューピッド」山中龍之助　5 月 23 日(月)夕刊
「オランダ絵画の「横顔」　若きサスキアの肖像／女の肖像　女性の表情描き方さまざま」山中龍之助　5 月 27 日(金)夕刊
「人間ドラマに思いはせて　フェルメールと 17 世紀オランダ絵画展　作家・ドイツ文学者　中野京子さん」能正明　5 月 31 日(火)
「フェルメール展　来場 5 万人」長通香　6 月 3 日(金)
「オランダ絵画の「横顔」　城山の前の滝／アムステルダムのダム広場の眺望　憧れと歴史を写す風景画」山中龍之助　6 月 3 日(金)夕刊
「オランダ絵画の「横顔」　そりとスケートで遊ぶ人々　冬の生活　氷上にぎやかに」山中龍之助　6 月 7 日(火)夕刊
「オランダ絵画の「横顔」　手紙、ペンナイフ、羽根ペンを留めた赤いリボンの状差し　リアルな質感まるで実物」山中龍之助　6 月 11 日(土)夕刊
「フェルメール展　8 万人」山中龍之助　6 月 17 日(金)

朝日新聞
「フェルメールの修復作品展示へ　UHB 開局 50 周年記念」田中啓介　3 月 8 日(火)

毎日新聞
「道立近代美術館でフェルメール展　「幻のキューピッド」お披露目　17 世紀オランダ絵画 70 点」三本木香　5 月 12 日(木)

［雑誌］
poroco　6 月号

［放送、配信］
UHB
「アイラブ❤フェルメール劇場」澄川姉妹に愛のキューピッド？篇　3 月 27 日(日)
「アイラブ❤フェルメール劇場」キューピッドは自分で確かめろ！篇　4 月 5 日(火)
「アイラブ❤フェルメール劇場」フェルメールってどんな人？篇　4 月 12 日(火)
「アイラブ❤フェルメール劇場」カメラ・オブスクラってナニ？篇　4 月 19 日(火)
「アイラブ❤フェルメール劇場」17 世紀オランダ絵画がいっぱい！篇　4 月 26 日(火)

FM AIR-G’
「北海道応援企画　今日ってやってる？」北川久仁子、大下智一　5 月 13 日(金)

UHB北海道文化放送開局50周年・北海道新聞創刊80周年記念事業

ドレスデン国立古典絵画館所蔵

フェルメールと17世紀オランダ絵画展

JOHANNES VERMEER

and the Masters of the Golden Age of Dutch Painting from the collection of the Gemäldegalerie Alte Meister, Staatliche Kunstsammlungen Dresden

2022.4.22(金)-6.26(日)　北海道立近代美術館

主　　催：北海道文化放送、北海道新聞社、北海道立近代美術館
後　　援：ドイツ連邦共和国大使館、北海道、北海道教育委員会、札幌市、札幌市教育委員会
特別協賛：アース製薬
協　　賛：大和ハウス工業、NISSHA
北海道展協賛：さっぽろ脊椎外科クリニック、道民共済
協　　力：ルフトハンザ カーゴ AG、ルフトハンザ ドイツ航空、ヤマト運輸
北海道展協力：AIR-G' FM 北海道

[注意事項]
・本リストの掲載順と展示順は必ずしも一致しません。(本展図録番号と一致します)
・出品作品は変更になる場合があります。
・no.72は個人蔵、それ以外の作品はすべてドレスデン国立古典絵画館の所蔵です。

番号 No.	作家名 Artist	作品名 Title	制作年 Year	技法・素材 Technique/Material
レイデンの画家――ザクセン選帝侯たちが愛した作品　Leiden Fine-Painters—Favorite Pieces of the Electors of Saxony				
1	ヘラルト・ダウ Gerard Dou	老齢の教師 *The Old Schoolmaster*	1671年 1671	油彩、板 Oil on panel
2	ヘラルト・ダウ Gerard Dou	歯医者 *The Dentist*	1672年 1672	油彩、板 Oil on panel
3	キリング・ファン・ブレーケレンカム Quiringh van Brekelenkam	産後の訪問 *Visit to the Nursery*	1665年頃 ca. 1665	油彩、板 Oil on panel
4	フランス・ファン・ミーリス Frans van Mieris	画家のアトリエ *The Painter's Studio*	1655-57年頃 ca. 1655-57	油彩、板 Oil on panel
5	フランス・ファン・ミーリス Frans van Mieris	化粧をする若い女 *Young Woman at Her Dressing-Table*	1667年 1667	油彩、板 Oil on panel
6	ピーテル・ファン・スリンゲラント Pieter van Slingelandt	ヴァージナルの前で歌う女 *Lady Singing at a Virginal*	1670-80年頃 ca. 1670-80	油彩、板 Oil on panel
7	ピーテル・ファン・スリンゲラント Pieter van Slingelandt	若い女に窓から鶏を差し出す老婆 *Selling Poultry at the Window*	1673年 1673	油彩、板 Oil on panel
8	ヘラルト・テル・ボルフ Gerard ter Borch	手を洗う女 *A Lady Washing Her Hands*	1655-56年頃 ca. 1655-56	油彩、板 Oil on panel
9	ヘラルト・テル・ボルフ Gerard ter Borch	白繻子のドレスをまとう女 *Woman Wearing White Satin in Front of the Bed with Red Curtains*	1654年頃または以前 ca./before 1654	油彩、板 Oil on panel
10	ヘラルト・テル・ボルフ Gerard ter Borch	手紙を読む兵士 *Officer Reading a Letter*	1657-58年頃 ca. 1657-58	油彩、板 Oil on panel
11	カスパル・ネッチェル Caspar Netscher	手紙を書く男 *Man Writing a Letter*	1664年(?) 1664 (?)	油彩、板 Oil on panel
12	カスパル・ネッチェル Caspar Netscher	演奏するカップル *A Couple Making Music*	1666年 1666	油彩、板 Oil on panel
13	ヤーコプ・オフテルフェルト Jacob Ochtervelt	雅なる紳士 *The Gallant Gentleman*	1669年 1669	油彩、カンヴァス Oil on canvas
14	ハブリエル・メツー Gabriel Metsu	レースを編む女 *Woman Making Lace*	1661-64年頃 ca. 1661-64	油彩、板 Oil on panel
15	ハブリエル・メツー Gabriel Metsu	鳥売りの男 *Man Selling Poultry*	1662年 1662	油彩、板 Oil on panel
16	ハブリエル・メツー Gabriel Metsu	鳥売りの女 *Woman Selling Poultry*	1662年 1662	油彩、板 Oil on panel
17	ハブリエル・メツー Gabriel Metsu	火のそばでタバコを吸う男 *The Smoker at the Fireside*	1656-58年頃 ca. 1656-58	油彩、板 Oil on panel
18	ハブリエル・メツー Gabriel Metsu	居酒屋での画家とその妻イサベラ・デ・ウォルフの肖像 *Self-Portrait of the Artist with His Wife Isabella de Wolff in the Tavern*	1661年 1661	油彩、板 Oil on panel

番号 No.	作家名 Artist	作品名 Title	制作年 Year	技法・素材 Technique/Material

レンブラントとオランダの肖像画　Rembrandt and Dutch Portrait Painting

19	ミヒール・ファン・ミーレフェルト Michiel van Mierevelt	女の肖像 *Portrait of a Woman*	制作年不詳 n.d.	油彩、板 Oil on panel
20	ピーテル・コッド Pieter Codde	家族の肖像 *Family Portrait with Seven People*	1643年 1643	油彩、カンヴァス Oil on canvas
21	フランス・ハルス Frans Hals	灰色の上着を着た男の肖像 *Portrait of a Young Man in a Yellowish Grey Jacket*	1633年頃 ca. 1633	油彩、板 Oil on panel
22	フランス・ハルス Frans Hals	黒い上着を着た男の肖像 *Portrait of a Young Man in a Black Jacket*	1633年頃 ca. 1633	油彩、板 Oil on panel
23	ワルラン・ヴァイヤン Wallerant Vaillant	自画像 *Self-Portrait*	1645年頃 ca. 1645	油彩、カンヴァス Oil on canvas
24	バルトロメウス・ファン・デル・ヘルスト Bartholomeus van der Helst	緑のカーテンから顔を出す女 *Woman behind a Green Curtain*	1652年 1652	油彩、カンヴァス Oil on canvas
25	レンブラント・ファン・レイン Rembrandt van Rijn	若きサスキアの肖像 *Saskia van Uylenburgh as a Girl*	1633年 1633	油彩、板 Oil on panel
26	ホーファールト・フリンク Govaert Flinck	赤い外套を着たレンブラント *Rembrandt in a Red Coat*	1640年頃 ca. 1640	油彩、板 Oil on panel
27	ウィレム・ドロスト Willem Drost	真珠の装飾品をつけた若い女 *Young Woman with Pearl Jewelry*	1654年頃 ca. 1654	油彩、板で裏打ちしたカンヴァス Oil on canvas on panel
28	アーレント・デ・ヘルデル Arent de Gelder	槍を持つ男 *The Man with the Partisan*	1695年頃 ca. 1695	油彩、カンヴァス Oil on canvas

オランダの風景画　Dutch Landscape Painting

29	フィリップス・ワウウェルマン Philips Wouwerman	燃え上がる風車の前の騎兵戦 *Cavalry Battle in Front of a Burning Windmill*	1655-60年頃 ca. 1655-60	油彩、カンヴァス Oil on canvas
30	フィリップス・ワウウェルマン Philips Wouwerman	説教をする洗礼者ヨハネ *John the Baptist Preaching*	1650-55年頃 ca. 1650-55	油彩、カンヴァス Oil on canvas
31	ヤン・アセレイン Jan Asselijn	廃墟のそばの牧人と牛 *A Cowherd and His Cattle beside Ruins*	1647-52年頃 ca. 1647-52	油彩、カンヴァス Oil on canvas
32	ヤン・ファン・ホイエン Jan van Goyen	井戸のある農家 *Peasant Huts with a Sweep*	1633年 1633	油彩、板 Oil on panel
33	ヤン・ファン・ホイエン Jan van Goyen	冬の川景色 *Winter on the River*	1643年 1643	油彩、板 Oil on panel
34	ヤン・ファン・ホイエン Jan van Goyen	夏の川景色 *Summer on the River*	1643年 1643	油彩、板 Oil on panel
35	ニコラース・ベルヘム Nicolaes Berchem	滝のそばの牧人たちと家畜 *Shepherds with Their Flocks by a Waterfall*	1655年頃 ca. 1655	油彩、カンヴァス Oil on canvas
36	パウルス・ポッテル Paulus Potter	家畜の群れ *Resting Herd*	1652年 1652	油彩、板 Oil on panel
37	ヤーコプ・ファン・ライスダール Jacob van Ruisdael	城山の前の滝 *The Waterfall before the Mountain Castle*	1665-70年頃 ca. 1665-70	油彩、カンヴァス Oil on canvas

番号 No.	作家名 Artist	作品名 Title	制作年 Year	技法・素材 Technique/Material
38	ヤーコプ・ファン・ライスダール Jacob van Ruisdael	牡鹿狩り *The Stag Hunt*	1665–70年頃 ca. 1665–70	油彩、カンヴァス Oil on canvas
39	アドリアーン・ファン・デ・フェルデ Adriaen van de Velde	放牧地 *The Pasture*	1659年 1659	油彩、カンヴァス Oil on canvas
40	ルドルフ・バクハイゼン Ludolf Backhuizen	オランダとイングランドの海戦 *A Naval Battle between Dutch and English Ships*	1673年以降 after 1673	油彩、カンヴァス Oil on canvas
41	ヘリット・ベルクヘイデ Gerrit Berckheyde	アムステルダムのダム広場の眺望 *View of the "Dam" in Amsterdam*	1670–75年頃 ca. 1670–75	油彩、板 Oil on panel
42	エマニュエル・デ・ウィッテ Emanuel de Witte	アムステルダムの旧教会内部 *Interior of the Oude Kerk in Amsterdam*	1660–70年頃 ca. 1660–70	油彩、板 Oil on panel

聖書の登場人物と市井の人々　Biblical Characters and Ordinary People

43	レオナールト・ブラーメル Leonaerd Bramer	神殿で祈るソロモン王 *King Solomon Praying in the Temple*	1640年代末 late 1640s	油彩、板 Oil on panel
44	ヤン・ステーン Jan Steen	母子像 *Mother and Child*	1652年頃 ca. 1652	油彩、板 Oil on panel
45	ヤン・ステーン Jan Steen	ハガルの追放 *The Expulsion of Hagar*	1655–57年頃 ca. 1655–57	油彩、カンヴァス Oil on canvas
46	ヤン・ステーン Jan Steen	カナの婚礼 *The Wedding Feast at Cana*	1674–78年頃 ca. 1674–78	油彩、板 Oil on panel
47	アドリアーン・ファン・オスターデ Adriaen van Ostade	食事をする二人の農夫 *Two Peasants Feasting*	1663年 1663	油彩、板 Oil on panel
48	アドリアーン・ファン・オスターデ Adriaen van Ostade	タバコを吸う二人の農夫 *Two Peasants Smoking*	1664年 1664	油彩、板 Oil on panel
49	ヘンドリク・アーフェルカンプ Hendrick Avercamp	そりとスケートで遊ぶ人々 *Sledging and Skating*	1620年頃 ca. 1620	油彩、板 Oil on panel
50	ヘンドリク・アーフェルカンプ Hendrick Avercamp	氷上の遊び *Ball Game on the Ice*	1620年頃 ca. 1620	油彩、板 Oil on panel
51	エフベルト・ファン・デル・プール Egbert van der Poel	農家の恋人たち *Courtship in a Peasant's Room*	1648年 1648	油彩、板 Oil on panel
52	エフベルト・ファン・デル・プール Egbert van der Poel	夜の村の大火 *A Fire in a Village at Night*	1650年以降 after 1650	油彩、板 Oil on panel

《窓辺で手紙を読む女》の調査と修復　Vermeer's Dresden *Girl Reading a Letter at an Open Window*, Research and Restoration

71	ヨハネス・フェルメール Johannes Vermeer	窓辺で手紙を読む女 *Girl Reading a Letter at an Open Window*	1657–59年頃 ca. 1657–59	油彩、カンヴァス Oil on canvas
72	ザビーネ・ベントフェルト Sabine Bendfeldt	複製画：窓辺で手紙を読む女（フェルメールの原画に基づく） Painted Copy, *Girl Reading at an Open Window*, after Johannes Vermeer	2001年 2001	油彩、カンヴァス Oil on canvas
74	アルバート・ヘンリー・ペイン Albert Henry Payne	窓辺で手紙を読む女（フェルメールの原画に基づく） *Girl Reading at an Open Window*	1850年頃 ca. 1850	スティール・エングレーヴィング Steel engraving

番号 No.	作家名 Artist	作品名 Title	制作年 Year	技法・素材 Technique/Material

オランダの静物画——コレクターが愛したアイテム　Dutch Still-Lifes—Beloved Collector's Items

53	ピーテル・デ・リング Pieter de Ring	キジのパイがある静物 *Still-Life with a Pheasant*	1652年 1652	油彩、カンヴァス Oil on canvas
54	ヨセフ・デ・ブライ Joseph de Bray	ニシンを称える静物 *Still-Life in Praise of the Pickled Herring*	1656年 1656	油彩、板 Oil on panel
55	メルヒオール・ドンデクーテル Melchior d'Hondecoeter	羽を休める雌鶏 *The Resting Hen*	制作年不詳 n.d.	油彩、カンヴァス Oil on canvas
56	ヤン・デ・ヘーム Jan de Heem	花瓶と果物 *Fruits beside a Vase of Flowers*	1670–72年頃 ca. 1670–72	油彩、板 Oil on panel
57	コルネリス・デ・ヘーム Cornelis de Heem	箱とワイングラスのある静物 *Still-Life with a Box and a Wine Glass*	制作年不詳 n.d.	油彩、カンヴァス Oil on canvas
58	コルネリス・デ・ヘーム Cornelis de Heem	牡蠣とワイングラス（レーマーグラス）のある静物 *Still-Life with Oysters and a Roemer*	制作年不詳 n.d.	油彩、カンヴァス Oil on canvas
59	ワルラン・ヴァイヤン Wallerant Vaillant	手紙、ペンナイフ、羽根ペンを留めた赤いリボンの状差し *Board with Letters, Quill Knife, and Quill behind Red Ribbon*	1658年 1658	油彩、カンヴァスで裏打ちした紙 Oil on paper, on canvas

複製版画　Reproduction Prints of Gemäldegalerie

60	アルバート・ヘンリー・ペイン Albert Henry Payne	天の梯子を幻視するヤコブ（フェルディナント・ボルの原画に基づく） *Jacob's Dream of a Ladder to Heaven*, after Ferdinand Bol, Gal.-No. 1604	1848年頃 ca. 1848	スティール・エングレーヴィング Steel engraving
61	アルバート・ヘンリー・ペイン Albert Henry Payne	アトリエの画家（ヘラルト・ダウの原画に基づく） *The Painter in His Workshop*, after Gerard Dou, Gal.-No. 1704	1848年頃 ca. 1848	スティール・エングレーヴィング Steel engraving
62	アルバート・ヘンリー・ペイン Albert Henry Payne	歯医者（ヘラルト・ファン・ホントホルストの原画に基づく） *The Dentist*, after Gerard van Honthorst, Gal.-No. 1251	1848年頃 ca. 1848	スティール・エングレーヴィング Steel engraving
63	アルバート・ヘンリー・ペイン Albert Henry Payne	狩りの獲物を売る老婆（ハブリエル・メツーの原画に基づく） *The Old Game Seller*, after Gabriel Metsu, Gal.-No. 1735	1848年頃 ca. 1848	スティール・エングレーヴィング Steel engraving
64	アルバート・ヘンリー・ペイン Albert Henry Payne	放蕩息子の譬（たと）えに扮するレンブラントとサスキアの肖像（レンブラントの原画に基づく） *Rembrandt and Saskia in the Parable of the Prodigal Son*, after Rembrandt, Gal.-No. 1559	1848年頃 ca. 1848	スティール・エングレーヴィング Steel engraving
65	アルバート・ヘンリー・ペイン Albert Henry Payne	アトリエの画家（アドリアーン・ファン・オスターデの原画に基づく） *The Painter in His Workshop*, after Adriaen van Ostade, Gal.-No. 1397	1848年頃 ca. 1848	スティール・エングレーヴィング Steel engraving
66	アルバート・ヘンリー・ペイン Albert Henry Payne	凍った堀での楽しみ（アドリアーン・ファン・デ・フェルデの原画に基づく） *Amusement on the Ice in the City Moat*, after Adriaen van der Velde, Gal.-No. 1659	1848年頃 ca. 1848	スティール・エングレーヴィング Steel engraving
67	アルバート・ヘンリー・ペイン Albert Henry Payne	フランシスクス・シルヴィウスと妻の肖像（フランス・ファン・ミーリスの原画に基づく） *Portrait of François de le Boë and His Wife*, after Frans van Mieris, Gal.-No. 1743	1848年頃 ca. 1848	スティール・エングレーヴィング Steel engraving
68	アルバート・ヘンリー・ペイン Albert Henry Payne	修道院のある風景（ヤーコブ・ファン・ライスダールの原画に基づく） *The Monastery*, after Jacob van Ruisdael, Gal.-No. 1494	1848年頃 ca. 1848	スティール・エングレーヴィング Steel engraving
69	アルバート・ヘンリー・ペイン Albert Henry Payne	灯りに卵をかざす少女（ホットフリート・スハルケンの原画に基づく） *A Girl Holding an Egg to the Light*, after Godfried Schalcken, Gal.-No. 1790	1848年頃 ca. 1848	スティール・エングレーヴィング Steel engraving
70	アルバート・ヘンリー・ペイン Albert Henry Payne	窓辺で歌う女とリュートを弾く男（カスパル・ネッチェルの原画に基づく） *Singing Lady and Lute Playing Gentleman behind Stone Window Parapet*, after Caspar Netscher, Gal.-No. 1347	1848年頃 ca. 1848	スティール・エングレーヴィング Steel engraving

3　ライデン国立古代博物館所蔵　古代エジプト展

EGYPT, LAND OF DISCOVERIES from The National Museum of Antiquities in Leiden, The Netherlands

会　　期：7 月 10 日（日）～8 月 21 日（日）
会　　場：北海道立近代美術館　展示室Ｂ
主　　催：北海道立近代美術館、北海道新聞社、北海道文化放送、札幌テレビ放送、ライデン国立古代博物館
後　　援：外務省、オランダ王国大使館、北海道、札幌市、札幌市教育委員会、北海道 PTA 連合会、北海道小学校長会、北海道中学校長会、北海道高等学校長協会、北海道私立中学高等学校協会、公益財団法人北海道私立専修学校各種学校連合会
協　　賛：DNP 大日本印刷、つうけんグループ
協　　力：ヤマト運輸

世界屈指のエジプト・コレクションを誇る、オランダのライデン国立古代博物館から、ミイラや棺、石碑、彫像、装飾品など約 250 点を厳選し、独特の世界観と美意識をもつ古代エジプトの魅力を紹介した。

貴重な遺物の数々もさることながら、本展の見どころは最新の知見を交えた展示にあった。例えばミイラ棺は、2016 年にリニューアルを果たしたライデン国立古代博物館のエジプトコーナーに倣い、日本ではほとんど試みられてこなかった立てた状態での展示とし、自由な視点からの鑑賞を可能とした。またミイラについては、CT スキャンなどの科学技術を駆使した調査結果をふんだんな映像資料とともに紹介することで、古代に思いを馳せると同時に、最新のエジプト研究の状況にも触れることができる、新たなタイプの展示を実現した。

本展は令和 2 年に開催予定であったが、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて延期となった経緯がある。そのためか早くから関心を集め、夏休み時期と重なったこともあり、会期中は 108,000 人を超える入館者を数えた。

●巡回

愛知県美術館
令和 2 年 9 月 19 日～12 月 6 日

静岡市美術館
令和 2 年 12 月 19 日～令和 3 年 3 月 31 日

Bunkamura ザ・ミュージアム
令和 3 年 4 月 16 日～6 月 27 日

仙台市博物館
令和 3 年 7 月 9 日～9 月 5 日

山口県立美術館
令和 3 年 9 月 18 日～11 月 7 日

兵庫県立美術館
令和 3 年 11 月 20 日～令和 4 年 2 月 27 日

福岡市博物館
令和 4 年 3 月 12 日～6 月 19 日

●展示構成

第Ⅰ章　エジプトを探検する
第Ⅱ章　エジプトを発見する
第Ⅲ章　エジプトを解読する
第Ⅳ章　エジプトをスキャンする

●図録

仕　　様：A4 判縦（225×290mm）、208 ページ
監　　修：中野智章（中部大学教授）
編　　集：愛知県美術館、静岡市美術館、Bunkamura ザ・ミュージアム、仙台市博物館、山口県立美術館、兵庫県立美術館、東京新聞、中日新聞、フジテレビジョン
執　　筆：中野智章、ララ・ヴァイス（ライデン国立古代博物館）、ダニエル・ソーリマン（ライデン国立古代博物館）、ペトラ・ホーゲンブーム（ライデン国立古代博物館）、ハネケ・キク（ライデン国立古代博物館）
翻　　訳：中野智章
デザイン：桑畑吉伸
制　　作：リーヴル
印　　刷：大日本印刷
発　　行：東京新聞、中日新聞社、フジテレビジョン

●広報印刷物

ポスター：B2 判縦
チ ラ シ：A3 判横二つ折り
招 待 券：180×70mm
観 覧 券：160×70mm
出品目録：A3 判横二つ折り

●作品輸送・展示
ヤマト運輸株式会社

●会場設計
株式会社アークスタジオ

●会場設営
株式会社六書堂

●関連事業等
［音声ガイド］
オフィシャルナビゲーター：西島秀俊
声優・ナレーター：森川智之

［オープン記念講演会］
モエレ沼とライデン:ピラミッドから探る古代エジプト文明の美の世界
講　　師：中野智章（本展監修者・中部大学教授）
日　　時：7 月 10 日（日）　11 時～12 時 30 分
会　　場：当館講堂
定　　員：100 名（要整理券、要本展観覧券）

［展覧会みどころガイド］
講　　師：当館学芸員
日　　時：7 月 17 日（日）、8 月 7 日（日）各日 15 時～15 時 30 分
会　　場：当館講堂
定　　員：100 名

［特別講演会］
棺を読むーかたちと装飾の移り変わり
講　　師：和田浩一郎（國學院大學兼任講師）
日　　時：7 月 30 日（土）　13 時 30 分～15 時
会　　場：当館講堂
定　　員：100 名（要整理券、要本展観覧券）

●主な掲載、放送等
［新聞］
北海道新聞
「美しき死後の世界　古代エジプト展　10 日から札幌・道立近代美術館」山中龍之助　7 月 6 日（水）
「待ちわびた開幕　札幌で古代エジプト展　棺が語るナイルの栄華」高橋毅　7 月 11 日（月）
「古代エジプト展　来場 3 万人突破」高橋毅　7 月 23 日（土）
「遺物が語る美　古代エジプト展　①　アメンヘテプ･フイの方形座像　再生への思い 独特の形式に」門間仁史　8 月 2 日（火）
「遺物が語る美　古代エジプト展　②　パディコンスの「死者の書」　来世への旅路 安全祈り記す」門間仁史　8 月 3 日（水）
「古代エジプト展　来場 5 万人突破」岩本茂之　8 月 5 日（金）
「遺物が語る美　古代エジプト展　③　コンスウヘテプの内棺　故人の望み かなえる装飾」門間仁史　8 月 5 日（金）
「遺物が語る美　古代エジプト展　④　男性のミイラ 永遠の生へ 幾重にも布」門間仁史　8 月 6 日（土）
「棺の装飾　再生の願い込め　古代エジプト展の特別講演会」高橋毅　8 月 9 日（火）
「古代エジプト展　来場 8 万人突破」山中哲朗　8 月 18 日（金）

さっぽろ 10 区
「“展示造作”から迫る古代エジプト展」平野薫　7 月 26 日（火）

［放送、配信］
UHB
「みんテレ」7 月 11 日（月）
STV
「どさんこワイド 179」7 月 14 日（木）
FM AIR-G’
「北川久仁子の brilliant days×F　特集テーマ「エジプトの謎！」」北川久仁子、門間仁史　7 月 1 日(金)

ライデン国立古代博物館所蔵

古代エジプト展

EGYPT, LAND OF DISCOVERIES

from The National Museum of Antiquities in Leiden, The Netherlands

2022.7.10[日]－8.21[日]

北海道立近代美術館 〒060-0001 札幌市中央区北1条西17丁目
TEL:011-644-6882
Hokkaido Museum of Modern Art テレフォンサービス:011-612-7000

出品リスト

主　催:北海道立近代美術館、北海道新聞社、北海道文化放送、札幌テレビ放送、ライデン国立古代博物館
後　援:外務省、オランダ王国大使館、北海道、札幌市、札幌市教育委員会、北海道PTA連合会、北海道小学校長会、北海道中学校長会、北海道高等学校長協会、北海道私立中学高等学校協会、公益社団法人北海道私立専修学校各種学校連合会
協　賛:DNP大日本印刷、つうけんグループ
協　力:ヤマト運輸

●会場内での撮影、録音、複写等はお断りいたします。●会場内での携帯電話等の通話はご遠慮ください。●展示品と展示ケースには触れないでください。●会場内での飲食、喫煙はお断りします。●会場内では係員の指示に従ってください。●メモをとられる場合は鉛筆をご利用ください。●会場内の温度、湿度、照明は展示品の保護を目的に管理されています。そのため、照明を暗くしている場所がありますので、ご了承ください。●本リストの番号と展示順は異なります。●本展の展示作品は、ボン大学からの参考資料を除き、すべてライデン国立古代博物館の所蔵品です。※出品番号の欠番(No.221)については、所蔵館の都合により札幌会場では展示されません。また、都合により展示作品を変更することがあります。

出品no.	作品名	年代	出土地　原典	材質	寸法(cm)
第Ⅰ章 エジプトを探検する					EXPLORING EGYPT
A. ヨーロッパ人によるエジプトの探検 EUROPEAN EXPLORATION OF EGYPT					
1	アブシールのピラミッド複合体模型	2001年	オランダ	厚紙、木	高さ13×幅93×奥行93
2	ギザの大スフィンクス	1698年	『コルネリス・ドゥ・ブラウンの旅』	紙	縦29×横39.5
3	ルクソール神殿	1809-22年	『エジプト誌』第3巻　図版13	紙	縦67×横51
4	ヒエログリフの表	1809-22年	『エジプト誌』第5巻　図版50	紙	縦51×横67
5	ロゼッタ・ストーン(レプリカ)	1972年	ロンドン	合成樹脂	高さ95.5×幅76.5×厚さ6
6	敵を討つラメセス2世	1832-34年	『エジプトとヌビアの記念物』第1巻　図版79	リトグラフ	縦54×横75
7	外国から連れてこられた動物	1832-34年	『エジプトとヌビアの記念物』第2巻　図版22	リトグラフ	縦54×横75
8	テーベの貴族墓に描かれた文様	1832-34年	『エジプトとヌビアの記念物』第2巻　図版71	リトグラフ	縦54×横75
9	ツタンカーメン王の衛像	新王国時代、第18王朝、前1330年頃	テーベ	花崗閃緑岩	高さ67×幅33×奥行54
B. ライデン国立古代博物館によるエジプトの発掘調査 EXCAVATION IN EGYPT BY THE NATIONAL MUSEUM OF ANTIQUITIES IN LEIDEN					
10	円筒形壺	初期王朝時代、第1王朝(前2900-2730年頃)	アブー・ラワシュ	方解石(アラバスター)	高さ44×直径20
11	壺	初期王朝時代、第1王朝(前2900-2730年頃)	アブー・ラワシュ	方解石(アラバスター)	高さ8×直径12.8
12	皿	初期王朝時代、第1王朝(前2900-2730年頃)	アブー・ラワシュ	片岩	高さ3.8×直径29.3
13	ミニチュア円筒形壺	古王国時代、第4王朝(前2543-2436年頃)	アブー・ラワシュ	方解石(アラバスター)	高さ6.4×直径3.9
14	碗	後期メロエ時代(2-4世紀)	ショカン	土器	高さ8.6×直径16.7
15	瓶	後期メロエ時代(2-4世紀)	ショカン	土器	高さ36.5×直径29
16	オイル・ランプの断片	後期メロエ時代(2-4世紀)	ショカン	土器	高さ1.9×幅6.7×奥行7
17	アブダッラー・ニルキ教会の模型	1982-83年	オランダ	木、ポリスチレン	高さ18×幅97×奥行86
18	高台付碗	古ヌビア時代(8-15世紀頃)	アブダッラー・ニルキ教会	土器	高さ12×直径25
19	コプト十字架の断片	古ヌビア時代(8-15世紀頃)	アブダッラー・ニルキ教会	青銅	高さ3.4×幅6.3×厚さ1
20	マヤとメリトの墓の模型	1997年	オランダ	厚紙、木	高さ37×幅33.3×奥行63.3
21	ホルミンの供養像	新王国時代、第19王朝、セティ1世からラメセス2世の治世(前1290-1213年頃)	サッカラ	石灰岩	高さ125×幅53×奥行68
22	アメンヘテプ・フイの方形座像	新王国時代、第19王朝、ラメセス2世の治世(前1279-1213年頃)	サッカラ	石灰岩	高さ54.5×幅48×奥行27.5
23	イウイウの供養像	新王国時代、第18王朝(前1539-1292年頃)	サッカラ	方解石	高さ48×幅22.9×奥行28.6
24	ネブネチェルのナオス形石碑	新王国時代、第18王朝、アメンヘテプ3世の治世(前1390-1353年頃)	サッカラ	珪岩	高さ102×幅63×厚さ32
25	アメンヘテプ・フイのピラミディオン	新王国時代、第18王朝、アメンヘテプ3世の治世(前1390-1353年頃)	サッカラ	花崗岩	高さ65×幅79×奥行79
26	王の書記パウティのピラミディオン	新王国時代、第19王朝、セティ1世の治世(前1290-1279年頃)	サッカラ	石灰岩	高さ47×幅47×奥行47
27	パカルの石碑	新王国時代、第18王朝、ツタンカーメンからアイの治世(前1332-1320年頃)	サッカラ	石灰岩	高さ68×幅47×厚さ6.6
28	パゲルゲルのナオス形石碑	新王国時代、第19王朝(前1292-1191年頃)	サッカラ	石灰岩	高さ58×幅30×厚さ12
29	パゲルゲルのナオス形石碑	新王国時代、第19王朝(前1292-1191年頃)	サッカラ	石灰岩	高さ55×幅27.9×厚さ11
30	パゲルゲルのナオス形石碑	新王国時代、第19王朝(前1292-1191年頃)	サッカラ	石灰岩	高さ53×幅29×厚さ9
31	パゲルゲルのナオス形石碑	新王国時代、第19王朝(前1292-1191年頃)	サッカラ	石灰岩	高さ50×幅26×厚さ9
32	サッカラの将軍ホルエムヘブの墓から出土したレリーフ(レプリカ)	20世紀	オランダ	石膏、鋼鉄	高さ80×幅108×厚さ6.5
33	将軍ホルエムヘブの供養像	新王国時代、第18王朝、ツタンカーメンの治世(前1332-1324年頃)	サッカラ	石灰岩	高さ54×幅28×奥行40
第Ⅱ章 エジプトを発見する					DISCOVERING EGYPT
A. 古代エジプト史の概要 BRIEF TIMELINE OF EGYPTIAN HISTORY					
34	ワニの描かれた碗	先王朝時代、ナカーダⅠ期(前3750-3650年頃)	エジプト	彩色土器	高さ6×直径18.5
35	船の描かれた壺	先王朝時代、ナカーダⅠ期(前3500-3300年頃)	エジプト	彩色土器	高さ14.5×直径11.5
36	ペルイブセン王の印影がついた土器の栓	初期王朝時代、第2王朝(前2660-2650年頃)	アビドス	泥	高さ18.5×直径12
37	ネフェルエンクフの偽扉上部	古王国時代、第5王朝(前2435-2306年頃)	ギザ、ネフェルエンクフの墓	石灰岩	高さ80×幅122×厚さ20.5
38	名前不詳の供養碑	第1中間期、第11王朝、前2000年頃	ゲベレイン(?)	石灰岩	高さ40×幅23×厚さ6.6
39	クウと家族の供養碑	中王国時代、第12王朝、アメンエムハト2世の治世(前1878-1843年頃)	アビドス	石灰岩	高さ38×幅50×厚さ6
40	カーメスとセネブセンの石碑	第2中間期、第17王朝(前1540年頃)(?)	リザイカート	石灰岩	高さ49×幅31.5×厚さ7.5
41	フイの石碑	新王国時代、第18王朝末から第19王朝初期(前1292年頃)	サッカラ(?)	石灰岩	高さ147×幅89×厚さ11
42	ジェフティの石碑	新王国時代、第19王朝(前1292-1191年頃)	サッカラ	石灰岩	高さ88×幅67×厚さ20
43	アメンエムヘブの碑	新王国時代、第19王朝(前1292-1191年頃)	エジプト	ファイアンス	高さ26.5×幅25×厚さ4
44	フルート	新王国時代(前1539-1077年頃)	エジプト	葦	長さ32×直径0.7
45	パマアエフの碑	第3中間期、第22王朝(前943-746年頃)	テーベ	彩色された木	高さ28×幅23.5×厚さ3.1
46	タネトアメンのプタハ・ソカル・オシリス像	第3中間期、第21王朝(前1076-944年頃)	テーベ	木	高さ59×幅14.5×奥行34
47	呪術テキストが記された彫像の断片	後期王朝時代、第26王朝(前664-525年頃)	エジプト	玄武岩	高さ12×幅15×奥行32
48	ホルの碑	後期王朝時代、第26王朝(前664-525年頃)	テーベ	木	高さ43×幅29×厚さ3.3

出品no.	作品名	年代	出土地／原典	材質	寸法(cm)
49	イシスの像	グレコ・ローマン時代、ローマ時代	エジプト	花崗閃緑岩	高さ103.5×幅25.5×奥行15
50	両腕を挙げた女性の供養碑	グレコ・ローマン時代、ローマ時代、2世紀	エジプト	石灰岩	高さ23×幅21.5×厚さ4
B. 古代エジプトの宗教 EGYPTIAN RELIGION					
51	神官の小像	後期王朝時代もしくはプトレマイオス朝(前722-30年頃)	エジプト	青銅	高さ5.5×幅2×奥行2.6
52	プタハイルディスが奉献した神官の小像	後期王朝時代もしくはプトレマイオス朝(前722-30年頃)	エジプト	青銅	高さ7.1×幅2.7×奥行2.9
53	アメン神に捧げられたカーエムデルの像	新王国時代、第19王朝(前1292-1191年頃)	ディール・エル=メディーナ	木	高さ57.5×幅14.5×奥行16.5
54	システュラ	後期王朝時代(前722-332年頃)	エジプト	青銅	高さ13×直径4.7
55	シストラム	グレコ・ローマン時代、前332年から後1世紀頃	エジプト	青銅	高さ28.5×幅14.8×厚さ4.9
56	シストラムの断片	後期王朝時代(前722-332年頃)	エジプト	青銅	高さ7.3×幅5.3×厚さ1.3
57	香炉の部分	新王国時代、第18王朝末から第19王朝(前1300-1191年頃)	エジプト	青銅	高さ17×幅4.5×厚さ2
58	神の横顔の装飾	後期王朝時代、第26王朝(前664-525年頃)	エジプト	青銅	高さ33.5×幅7.5×奥行25.5
59	イシスとオシリスが彫られた石碑	新王国時代、第18王朝から第19王朝(前1300年頃)	アビドス	石灰岩	高さ49×幅55×奥行10
60	膝にホルス神を載せたイシス女神の像	後期王朝時代(前722-332年頃)	エジプト	青銅	高さ19.8×幅4.7×奥行7.8
61	ハルポクラテスの立像	後期王朝時代(前722-332年頃)	エジプト	青銅	高さ19.2×幅5.6×奥行9.4
62	二重冠をかぶるハヤブサ	後期王朝時代(前722-332年頃)	エジプト	青銅	高さ7.5×幅4.5×奥行15.9
63	パディコンスの「死者の書」	第3中間期、第21王朝(前1076-944年頃)	エジプト	パピルス	縦24.5×横61.2
64	台座にのったプタハ神の像	後期王朝時代(前722-332年頃)	エジプト	青銅	高さ15.5×幅4.3×奥行11.5
65	トト神の像	後期王朝時代(前722-332年頃)	エジプト	青銅	高さ4.8×幅1.4×奥行2
66	角の間に太陽円盤と羽のついた冠をかぶるハトホル女神(?)の像	後期王朝時代(前722-332年頃)	エジプト	青銅	高さ16.5×幅3.5×奥行5.5
67	ムウト神の像	後期王朝時代(前722-332年頃)	エジプト	青銅	高さ12.5×幅2.4×奥行2.5
68	モンチュウ神の像	後期王朝時代(前722-332年頃)	エジプト	青銅	高さ14.8×幅5×奥行6.9
69	月の神の像	後期王朝時代(前722-332年頃)	エジプト	青銅	高さ15.3×幅3.5×奥行6.5
70	ネフェルテム神の像	後期王朝時代(前722-332年頃)	エジプト	青銅	高さ36.5×幅7.4×奥行11.3
71	蛇の頭を持つ神像	後期王朝時代(前722-332年頃)	エジプト	青銅	高さ20.6×幅3.4×奥行7.6
72	プトレマイオス王の立像	グレコ・ローマン時代、プトレマイオス朝、前3世紀	エジプト	青銅	高さ24.1×幅6.3×奥行10
73	バステト女神の像	後期王朝時代(前722-332年頃)	エジプト	青銅	高さ11.4×幅3.7×奥行2.5
74	台座にのったイクニューモン	後期王朝時代(前722-332年頃)	エジプト	青銅	高さ2.6×幅2.2×奥行13
75	猫の像	後期王朝時代(前722-332年頃)	エジプト	青銅	高さ40.5×幅10×奥行22.5
76	イクニューモン	後期王朝時代(前722-332年頃)	エジプト	青銅	高さ26.8×幅6.8×奥行9.4
77	コブラ	後期王朝時代(前722-332年頃)	エジプト	青銅	高さ8.5×幅3×奥行3.5
78	ヒヒの像	新王国時代、第18王朝(前1539- 1292年頃)	エジプト	石灰岩	高さ9×幅2×奥行5.5
79	オクシリンコス魚	新王国時代後期、前1170-1150年頃	エジプト	石鹸石	高さ5.7×幅3.8×奥行12.5
80	コウモリ	後期王朝時代(前722-332年頃)	エジプト	青銅	高さ23×幅6.7×奥行5.9
81	ザゾリ	後期王朝時代(前722-332年頃)	エジプト	青銅	高さ1.8×幅4.9×奥行6
82	ハリネズミ	新王国時代(前1539-1077年頃)	エジプト	ファイアンス	高さ4.4×幅2.9×奥行5.5
83	アトゥム神の像	後期王朝時代(前722-332年頃)	エジプト	青銅	高さ10.9×幅3.2×奥行19

第III章 エジプトを解読する

UNVEILING EGYPT

A. 死後の世界 LIFE AFTER DEATH					
84	ネスナクトの「死者の書」	グレコ・ローマン時代、プトレマイオス朝(前304-30年頃)	エジプト	パピルス	縦30×横45
85	ネスナクトの「死者の書」	グレコ・ローマン時代、プトレマイオス朝(前304-30年頃)	エジプト	パピルス	縦30.5×横55.7
86	ネスナクトの「死者の書」	グレコ・ローマン時代、プトレマイオス朝(前304-30年頃)	エジプト	パピルス	縦29.8×横48.3
87	ネスナクトの「死者の書」	グレコ・ローマン時代、プトレマイオス朝(前304-30年頃)	エジプト	パピルス	縦27.5×横48
88	アセトウェレトの「死者の書」	後期王朝時代、第30王朝(前380-343年頃)	テーベ	パピルス	縦38×横30.5
89	心臓スカラベ	後期王朝時代、第26王朝(前664-525年頃)	エジプト	灰色/緑色の石	高さ1.1×幅3.9×奥行5.1
90	心臓スカラベ	年代不詳	エジプト	緑石	高さ2.1×幅4.6×奥行6.6
91	バア	後期王朝時代(前722-332年頃)	エジプト	木	高さ13.1×幅4×奥行8.4
92	バア	後期王朝時代(前722-332年頃)	エジプト	木	高さ9×幅2.5×奥行2.7
93	バアのついたタアとチャイのシャブティ	新王国時代、第19王朝(前1292-1191年頃)	サッカラ(?)	片岩	高さ28.5×幅9.3×奥行6
94	供物台	中王国時代(前1980-1760年頃)	アビドス	石灰岩	高さ6×幅49×奥行50
95	セベクテンの石碑	中王国時代(前1980-1760年頃)	アビドス	赤色砂岩	高さ80×幅45×奥行3.5
96	黄金の顔を持つパヘルペンエスの像	後期王朝時代(前722-332年頃)	エジプト	石灰岩	高さ29×幅10.8×奥行14.5
97	睡蓮の花を持つ女性像	グレコ・ローマン時代、プトレマイオス朝(前304-30年頃)	エジプト	石灰岩、金箔	高さ36.5×幅8.7×奥行13
98	家族の群像	新王国時代、第18王朝、アメンヘテプ2世の治世(前1425-1400年頃)	エジプト	砂岩	高さ45×幅47×奥行31
99	イルナクトアメンとワウィの像	新王国時代、第19王朝(前1292-1191年頃)	エジプト	砂岩	高さ45×幅24.7×奥行12.9
100	黄金の耳飾り	新王国時代、第18王朝(前1539-1292年頃)以降	エジプト	金	直径2.1
101	黄金の耳飾り	新王国時代、第18王朝(前1539-1292年頃)以降	エジプト	金	直径2.3
102	黄金の耳飾り	新王国時代、第18王朝(前1539-1292年頃)以降	エジプト	金	直径1.9
103	黄金の耳飾り	新王国時代、第18王朝(前1539-1292年頃)以降	エジプト	金	幅0.7
104	雄牛の耳飾り	グレコ・ローマン時代、プトレマイオス朝(前304-30年頃)	エジプト	金、ガーネット、エメラルド	幅2.1
105	護符とビーズの首飾り	新王国時代(前1539-1077年頃)	エジプト	金、トルコ石、紅玉髄、瑪瑙	長さ36
106	ホルスの眼が付いた首飾り	新王国時代(前1539-1077年頃)	エジプト	金、紅玉髄、ガラス	長さ50.5
107	護符のついた首飾り	新王国時代(前1539-1077年頃)	エジプト	ファイアンス	長さ50.2
108	羊頭の付いた首飾り	新王国時代(前1539-1077年頃)	エジプト	金、紅玉髄、施釉凍石、アメジスト、茶色の不透明な石	長さ53.5
109	多くのスカラベが付いた首飾り	年代不詳	エジプト	ファイアンス、紅玉髄、瑪瑙、ガラス、金	長さ40.6
110	さまざまな色のガラス製ビーズが付いた首飾り	年代不詳	エジプト	ファイアンス、紅玉髄、ラピスラズリ、金、ガラス	長さ29
111	大型金製ビーズのついた首飾り	新王国時代(前1539-1077年頃)	エジプト	金、ガラス、ファイアンス	長さ37
112	花形のペンダントが付いた首飾り	新王国時代(前1539-1077年頃)	エジプト	金、ファイアンス	長さ23
113	胸飾り	新王国時代(前1539-1077年頃)	エジプト	木、亜麻布、ガラス、木に金彩	高さ10×幅14.3×厚さ2
114	醸造所の模型	中王国時代(前1980-1760年頃)	エジプト	木	高さ25×幅33.5×奥行23
115	船の模型	中王国時代、第11王朝(前2009-1940年頃)	エジプト	木	高さ47×幅17×奥行87
116	楕円形のバスケット	新王国時代、第18王朝(前1539-1292年頃)	エジプト	藁	高さ14.7×幅21×奥行10

出品no.	作品名	年代	出土地 原典	材質	寸法(cm)
117	杯	新王国時代(前1539-1077年頃)	エジプト	ファイアンス	高さ14.5×直径7.5
118	柄のついた鏡	新王国時代(前1539-1077年頃)	エジプト	青銅	高さ22×幅10.8×厚さ1.8
119	野生ヤギの把手付アンフォラ	新王国時代(前1539-1077年頃)	エジプト	方解石	高さ33.5×幅28.2×直径19.9
120	シチュラ	新王国時代(前1539-1077年頃)	エジプト	方解石	高さ21×直径12
121	タッツア	新王国時代、第18王朝から第19王朝、アメンヘテプ2世から ラメセス2世の治世(前1425-1213 年頃)	エジプト	方解石	高さ5.5×直径9
122	双把手付アンフォラ	新王国時代(前1539-1077年頃)	エジプト	方解石	高さ18×幅15×直径14
123	双把手付多色ガラス壺	新王国時代、第18王朝、アメンヘテプ3世から アクエンアテンの治世(前1390-1336年頃)	エジプト	ガラス	高さ12×幅8.5×直径8
124	ヤシ柱形ガラス製瓶	後期王朝時代(前722-332年頃)	エジプト	ガラス	高さ9.5×直径3.8
125	パァキィのセネト・ゲーム箱	新王国時代、第18王朝から第19王朝(前1539-1191年頃)	エジプト	木	高さ9×幅40.2×奥行12.2
126	少女の形をした把手付軟膏スプーン	新王国時代(前1539-1077年頃)	エジプト	木	高さ5×幅6.2×奥行24.5
127	ハトホルの把手が付いた鏡	新王国時代(前1539-1077年頃)	テーベ(?)	青銅	高さ27.2×幅14×厚さ3
128	木製の枕	新王国時代、第18王朝(前1539-1292年頃)	エジプト	木	高さ16.3×幅29×奥行8
129	オシリスの姿をしたホルのパピルス容器	後期王朝時代、第26王朝(前664-525年頃)	テーベ	木、亜麻布、穀物	高さ40×幅8.7×奥行24.2
130	イレトホルルウのプタハ・ソカル・オシリス像	グレコ・ローマン時代、プトレマイオス朝(前304-30年頃)	エジプト	木、金箔	高さ60×幅11×奥行35
131	ネヒのシャブティ	第2中間期(前1759-1539年頃)	アビドス(?)	石灰岩	高さ24×幅8×奥行8.7
132	プサムテクのシャブティ	後期王朝時代(前722-332年頃)	エジプト	ファイアンス	高さ18.6×幅4.8×奥行3.5
133	ホルウジャのシャブティ	後期王朝時代、第30王朝(前380-343年頃)	ハワラ	ファイアンス	高さ27.5×幅7.2×奥行4.5
134	タァのシャブティ	新王国時代、第19王朝(前1292-1191年頃)	テーベ	石灰岩	高さ19.5×幅6×奥行4.8
135	ピアトのシャブティ	新王国時代、第18王朝、アクエンアテンの治世(前1353-1292年頃)	エジプト	石灰岩	高さ26.7×幅8.6×奥行6.2
136	イビィの棺の模型	新王国時代、第18王朝から第19王朝(前1539-1191年頃)	テーベ(?)	木	(蓋)高さ21×幅7.3×奥行3.8 (身)高さ21×幅7.3×奥行3.3*
137	イビィのシャブティ	新王国時代、第18王朝から第19王朝(前1539-1191年頃)	テーベ(?)	木	高さ18×幅5.5×奥行3.5
138	メリトアメンのシャブティ	第3中間期、第21王朝(前1076-944年頃)	ディール・エル=バハリ	ファイアンス	高さ12.9×幅3.8×奥行3.8
139	ネスパネフェルヘルのシャブティ	第3中間期、第21王朝(前1076-944年頃)	ディール・エル=バハリ	ファイアンス	高さ11.3×幅3.9×奥行2.8
140	メリのシャブティ	新王国時代、第18王朝、アメンヘテプ3世の治世(前1390-1353年頃)	テーベ(?)	木	高さ21×幅7.1×奥行5.5
141	パヘリベジェトのシャブティ	新王国時代、第19王朝(前1292-1191年頃)	エジプト	木	高さ23.7×幅7.5×奥行4.2
B. 埋葬習慣の変化 CHANGING BURIAL PRACTICES					
142	コンスウヘテプのミイラ覆い	第3中間期、第20王朝から第21王朝(前1190-944年頃)	テーベ	木	長さ174×幅55×高さ11.5
143-1 143-2	コンスウヘテプの内棺	第3中間期、第20王朝から第21王朝(前1190-944年頃)	テーベ	木	143-1: (蓋)長さ185×幅55×高さ41 143-2: (身)長さ185×幅55×高さ41
144	アメンヘテプのミイラ覆い	第3中間期、第21王朝(前1076-944年頃)	テーベ	木	長さ174×幅44×高さ14
145-1 145-2	アメンヘテプの内棺	第3中間期、第21王朝(前1076-944年頃)	テーベ	木	145-1: (蓋)長さ185×幅50×高さ35 145-2: (身)長さ185×幅50×高さ34
146-1 146-2	パネシィの外棺	第3中間期、第22王朝(前943-746年頃)	テーベ	木	146-1: (蓋)長さ201×幅56×奥行27 146-2: (身)長さ201×幅56×奥行28
147	ネヘムスウのカルトナージュ棺	第3中間期、第22王朝(前943-746年頃)	テーベ	カルトナージュ	長さ150×幅40×高さ31
148-1 148-2	ホルの外棺	後期王朝時代、第25王朝(前722-655年頃)	テーベ	木	(蓋)長さ199×幅72×高さ38 (身)長さ200×幅72×高さ35
149-1 149-2	ハイトエムハトの棺	後期王朝時代(前722-332年頃)	サッカラまたはエル・ヒバ(?)	木	149-1: (蓋)長さ186×幅58×高さ41 149-2: (身)長さ186×幅58×高さ27
150	男のミイラの肖像	グレコ・ローマン時代、ローマ時代、1-2世紀	ファイユーム(?)	木	高さ39.5×幅20×厚さ0.4
151	スリッパ棺の蓋	後期王朝時代(前722-332年頃)	エジプト	テラコッタ	高さ25×直径14
152	金彩のミイラマスク	グレコ・ローマン時代、プトレマイオス朝(前304-30年頃)	エジプト	カルトナージュ、金箔	高さ48.5×幅28×厚さ14
153	デンレグの葬祭コーン	新王国時代(前1539-1077年頃)	テーベ	テラコッタ	長さ23.2、径8.1
154	アパァの葬祭コーン	後期王朝時代、第26王朝(前664-610年頃)	テーベ	テラコッタ	長さ19、径8.5
155	メンケペルラーセネブの葬祭コーン	新王国時代、第18王朝、トトメス3世の治世(前1479-1425年頃)	テーベ	テラコッタ	長さ23、直径8.1
156	モンチュウエムハトの葬祭コーン	後期王朝時代、第25王朝から第26王朝(前722-525年頃)	テーベ	テラコッタ	長さ24.8×直径8.7
157	ミイラ作りの道具	後期王朝時代(前722-332年頃)	エジプト	青銅	高さ0.4×幅0.9×長さ27.8
158	死者の内臓を納めた木箱	後期王朝時代、第30王朝(前380年-343年頃)	エジプト	木	高さ61.5×幅19.5×奥行22.5
159	樹脂	前500—後300年	エジプト	樹脂	(最大)長さ4×幅4.5
160	石製ナイフ	新王国時代もしくは後期王朝時代(?) (前1539-332年頃)	エジプト	フリント	厚さ0.7×長さ11.1×幅4.6
161	ミイラの包帯	グレコ・ローマン時代、プトレマイオス朝(前304-30年頃)	テーベ	亜麻布	幅2.5×長さ250
162	ハレレムのミイラ	後期王朝時代、第25王朝から第26王朝(前722-525年頃)	テーベ	ミイラ、亜麻布、 ファイアンス製ビーズ	長さ170×幅39×高さ25.5
163	護符のリストが記されたパピルス	グレコ・ローマン時代、プトレマイオス朝(前304-30年頃)	サッカラ	パピルス	縦32×横41
164	粒形護符	年代不詳	エジプト	紅玉髓	高さ4.1×幅2.2×奥行0.9
165	ジェド柱の護符	年代不詳	エジプト	紅玉髓	高さ3.1×幅1.1×厚さ0.6
166	ジェド柱の護符	年代不詳	エジプト	ラピスラズリ	高さ3.3×幅1.2×厚さ0.7
167	ジェド柱の護符	年代不詳	エジプト	ファイアンス	高さ10.8×幅3.4×厚さ1.6
168	ウジャトの眼形護符	年代不詳	エジプト	ファイアンス	高さ3.5×幅4.3×厚さ0.5
169	枕形護符	年代不詳	エジプト	黒曜石または赤鉄鉱	高さ1.6×幅2.8×厚さ1.2
170	パピルス柱形護符	新王国時代(前1539-1077年頃)	エジプト	ファイアンス	高さ6.3×直径1.6
171	アヌビス形護符	年代不詳	エジプト	ファイアンス	高さ4.4×幅1×奥行2
172	ドゥアムトエフ神の護符	年代不詳	エジプト	ファイアンス	高さ3.8×幅1.5×奥行0.6
173	ハピ神の護符	年代不詳	エジプト	ファイアンス	高さ4.5×幅1.2×奥行0.7
174	ケベフセヌエフ神の護符	年代不詳	エジプト	ファイアンス	高さ 4.2 ×幅1.2×奥行0.5
175	イムセト神の護符	年代不詳	エジプト	ファイアンス	高さ 4.5×幅1.3×奥行0.6
176	イシス神の護符	年代不詳	エジプト	ファイアンス	高さ3.4×幅0.7×奥行0.6
177	ネフティス神の護符	年代不詳	エジプト	ファイアンス	高さ5×幅1.1×奥行0.9
178	イシスの結び目の護符	年代不詳	エジプト	ファイアンス	高さ2.9×幅1.1×奥行0.6
179	有翼スカラベの護符	年代不詳	エジプト	ファイアンス	高さ7×幅15.2×奥行4.9
180	階段形護符	年代不詳	エジプト	ファイアンス	高さ2.5×幅1.2×奥行0.5

出品no.	作品名	年代	出土地／収蔵	材質	寸法(cm)
181	指形護符	年代不詳	エジプト	黒色の石材	高さ0.7×幅2×奥行6.5
182	亜麻布でできた護符	年代不詳	エジプト	亜麻布	Amulet 1:幅 3 x 長さ 70 Amulet 2:幅 2.5 x 長さ 70 Amulet 3:幅 3 x 長さ 70 Amulet 4:幅 4.5 x 長さ 70 Amulet 5:幅 4.5 x 長さ 70
183	ベス神の護符	年代不詳	エジプト	ファイアンス	高さ3.8 ×幅1.8×奥行0.8
184	タウェレト神の護符	後期王朝時代、第26王朝(前664-525年頃)	エジプト	ファイアンス	高さ5.5 ×幅1.7×奥行2
185	男根を強調した像の護符	グレコ・ローマン時代、プトレマイオス朝(前304-30年)	エジプト	ファイアンス	高さ2.5×幅1.2×奥行1
186	羊頭形護符	新王国時代(?)(前1539-1077年頃)	エジプト	ファイアンス	高さ2.1×幅1.3×奥行0.6
187	ハトホル女神の護符	年代不詳	エジプト	ファイアンス	高さ3×幅2.2×奥行1

第Ⅳ章 エジプトをスキャンする　SCANNING EGYPT

A. 永遠の命：ミイラのベールを取る　ETERNAL LIFE: MUMMIES UNVEILED

188	女性のミイラ	第3中間期、第22王朝、前817年頃	テーベ	ミイラ、亜麻布	長さ165.5×幅36.5×高さ24.5
189	タディスもしくはタ(ネト)カルウのミイラ	第3中間期、第22王朝、前800年頃	テーベ	ミイラ、亜麻布	長さ148 ×幅33×高さ24.5
190	男性のミイラ	第3中間期、第22王朝、前800年頃	テーベ(?)	ミイラ、亜麻布	長さ160×幅38×高さ26
191	センサオスのミイラ	グレコ・ローマン時代、ローマ時代、109年	テーベ	ミイラ、亜麻布	長さ166×幅45×高さ42
192	センサオスの顔の復元過程を示した模型	1998 年	デルフト(オランダ)	プラスチック	高さ24×幅14×奥行19
193	センサオスの顔の復元模型	1998 年	デルフト(オランダ)	プラスチック	高さ24×幅14×奥行19
194	偽のトキ(?)のミイラ	後期王朝時代もしくはグレコ・ローマン時代(前722年もしくはそれ以降)	エジプト	ミイラ、亜麻布	高さ12×幅14×長さ23
195	猫のミイラ	後期王朝時代もしくはグレコ・ローマン時代(前722年もしくはそれ以降)	エジプト	ミイラ、亜麻布	高さ41×幅9×奥行9
196	ハヤブサのミイラ	グレコ・ローマン時代、ローマ時代(前30-後395年頃)	エジプト	ミイラ、亜麻布	高さ34.3×幅8.3×奥行7.2
197	トキのミイラを入れた壺	グレコ・ローマン時代、プトレマイオス朝、前3-1世紀	サッカラ(?)	ミイラ、亜麻布、土器	長さ41.5×直径17.5
198	トキの壺	ローマ時代(前30-後395年頃)	ヘルモポリス	粘土	高さ23.5×直径17.3
199	トキのミイラ	ローマ時代(前30-後395年頃)	エジプト	ミイラ、亜麻布	高さ12.5×幅17.5×長さ40.5
200	ワニのミイラ	ローマ時代(前30-後395年頃)	エジプト	ミイラ、亜麻布	高さ5.8×幅7.7×長さ38.5
201	蛇のミイラ	年代不詳	エジプト	ミイラ、亜麻布	高さ6×幅9.6×長さ19.7
202	魚のミイラ	後期王朝時代もしくはそれ以降(前500-後300年頃)	エジプト	木、ミイラ、亜麻布	高さ11.5×幅27.5×厚さ5.1
203	楕円形のカノポス壺	中王国時代(前1980-1760年頃)	ダハシュール(?)	方解石	高さ30.5×幅32.5×奥行10.5
204	ネフェルアメンのカノポス壺	新王国時代、第18王朝(前1539-1292年頃)	エジプト	土器	高さ42×直径21.5
205	イレトルウのカノポス壺	後期王朝時代(前722-332年頃)	エジプト	方解石	高さ42×直径17
206	ウアフイブラーのカノポス壺	後期王朝時代(前722-332年頃)	エジプト	方解石	高さ30.5×直径16
207	葬祭用(カノポス用)箱	後期王朝時代(前722-332年頃)	アクミム(エジプト)	木	高さ47.5×幅22×奥行26
208	ホルネジイトエフの内臓を納めた木箱	グレコ・ローマン時代、プトレマイオス朝、前250-200年頃	テーベ	木	高さ66×幅28×奥行28

B. 木棺の研究　RESEARCHING COFFINS

209	パウィアメンのカルトナージュ	後期王朝時代、第25王朝から第26王朝(前722-525年頃)	テーベ	カルトナージュ	長さ200×幅54×高さ30 足置い:高さ8.5×幅40×奥行23
210	カルトナージュ製の足置い	グレコ・ローマン時代、プトレマイオス朝(前304-30年頃)	サッカラ	カルトナージュ	高さ11×幅23×奥行24
211	カルトナージュ製の装飾り	グレコ・ローマン時代、プトレマイオス朝(前304-30年頃)	エジプト	カルトナージュ	高さ15×幅26×厚さ0.3
212	木棺	グレコ・ローマン時代、プトレマイオス朝(前304-30年頃)	エジプト	木	長さ184×幅58×高さ31
213	イティの内棺	後期王朝時代、第25王朝から第26王朝(前722-525年頃)	テーベ	木、カルトナージュ	(蓋)長さ176×幅52×高さ28 (身)長さ176×幅52×高さ17.5
214	木棺のマスク断片	後期王朝時代(前722-332年頃)	エジプト	木	高さ17×幅10.5×奥行7.5
215	木棺につけられたこぶし	後期王朝時代(前722-332年頃)	エジプト	木	高さ4.3×幅18×奥行12.8
216	木棺につけられたひげ	新王国時代、第18王朝(前1539-1292年頃)	エジプト	木	高さ18.3×幅5×奥行4
217	木棺につけられた神のひげ	後期王朝時代(前722-332年頃)	エジプト	青銅	高さ12 ×幅3.7×奥行2.9
218	木棺につけられた神のひげ	後期王朝時代(前722-332年頃)	エジプト	木	高さ15.8 ×幅3.6×奥行3
219	木棺用の象眼の眼	後期王朝時代(前722-332年頃)	エジプト	青銅、石	高さ2×幅7.5×奥行2.8
220	木棺用の象眼の眼	後期王朝時代(前722-332年頃)	エジプト	青銅、石	高さ2×幅7.5×奥行2.8

C. 書字に関する新たな研究　NEW RESEARCH INTO WRITING

222	王の書記ジェフティの筆記用パレット	新王国時代、第18王朝、トトメス3世の治世(前1479-1425年頃)	エジプト	スレート	高さ1×幅5.7×奥行38.5
223	容器形護符	第3中間期(前1076-723年頃)	テーベ	ファイアンス	高さ3.1×直径4.8
224	ペン	新王国時代(前1539-1077年頃)	エジプト	葦	長さ38×直径0.3
225	ペン	新王国時代(前1539-1077年頃)	エジプト	葦	長さ38×直径0.3
226	ペン	新王国時代(前1539-1077年頃)	エジプト	葦	長さ38.1×直径0.3
227	第19王朝の魔術/医術パピルス	新王国時代、第19王朝(前1292-1191年頃)	サッカラ	パピルス	縦18×横63
228	ラメセス2世の称号が記された魔術/医術パピルス	新王国時代、第19王朝(前1292-1191年頃)	サッカラ	パピルス	縦18×横57
229	パセルの神話パピルス	第3中間期、第21王朝(前1076-944年頃)	テーベ	パピルス	縦39×横125
230	ラメセス朝の手紙	新王国時代、第19王朝(前1292-1191年頃)	サッカラ	パピルス	縦27×横21
231	コプト語写本の断片	10世紀末から11世紀初頭	ソバーグ	羊皮紙	縦31.5×横23.5

D. エジプト人の技術を解明する　REVEALING EGYPTIAN TECHNIQUES

232	サギの像用の鋳型	後期王朝時代もしくはプトレマイオス朝(前722年-30年頃)	エジプト	粘土	高さ3.6×幅12.2×奥行16.2
233	サギの像用の鋳型	後期王朝時代もしくはプトレマイオス朝(前722-30年頃)	エジプト	粘土	高さ3.6×幅12.2×奥行16.2
234	花の鋳型	新王国時代から後期王朝時代(前1539-332年頃)	エジプト	粘土	高さ1.5×幅2.5×奥行2.3
235	ロゼット用鋳型	新王国時代から後期王朝時代(前1539-332年頃)	エジプト	粘土	高さ1×直径2
236	青銅製ベス像	後期王朝時代もしくはプトレマイオス朝(前722-30年頃)	エジプト	青銅	高さ9.6×幅3.4×奥行2.9
237	ベス像の鋳型	後期王朝時代もしくはプトレマイオス朝(前722-30年頃)	エジプト	粘土	長さ5
238	イシス女神	後期王朝時代(前722-332年頃)	エジプト	青銅	高さ19×幅4.5×奥行6.5
239	イシス女神の冠	後期王朝時代(前722-332年頃)	エジプト	青銅	高さ18×幅15×奥行6.3
240	ネイト女神の頭部	後期王朝時代(前722-332年頃)	エジプト	青銅	高さ13×幅5×奥行6
241	オシリス神のアテフ冠の左羽	後期王朝時代(前722-332年頃)	エジプト	青銅	高さ12.7×幅5.8×奥行1.3
242	座っているトキ	後期王朝時代(前722-332年頃)	エジプト	青銅、木	高さ26×幅41×奥行12
243	トキの足	後期王朝時代(前722-332年頃)	エジプト	青銅	高さ11×幅5.5×奥行16.5
244	トキの頭部	後期王朝時代(前722-332年頃)	エジプト	青銅	高さ8.5×幅2×奥行8.3
245	人間の足	後期王朝時代(前722-332年頃)	エジプト	青銅	高さ9.2×幅6×奥行16.6
246	人間の足	後期王朝時代(前722-332年頃)	エジプト	青銅	高さ9.2×幅6×奥行16.6

4　北海道新聞社創刊 80 周年　聖徳太子 1400 年御遠忌記念

国宝・法隆寺展

The 1400th Memorial for Prince Shōtoku　Hōryūji Treasures

会　　期：9 月 3 日(土)～10 月 30 日(日)
会　　場：北海道立近代美術館　展示室Ｂ
主　　催：法隆寺、北海道立近代美術館、北海道新聞社、テレビ北海道、日本経済新聞社
学術協力：奈良国立博物館
後　　援：北海道、札幌市、札幌市教育委員会、
協　　賛：アインホールディングス、さっぽろ脊椎外科クリニック、ダイキン工業、大和ハウス工業、つうけんグループ、ニトリホールディングス、NIPPON EXPRESS ホールディングス、よつ葉乳業
協　　力：エプソン販売、金澤製作所、大光電機

令和3年に聖徳太子1400年御遠忌を迎えたことを記念し、法隆寺、中宮寺および太子ゆかりの斑鳩の諸寺に伝わる文化財約 40 点を展示した。このなかには、法隆寺聖霊院に伝わる秘仏《聖徳太子および侍者像》や「夢違観音」の愛称で知られる《観音菩薩立像》、中宮寺の本尊《菩薩半跏思惟像》など多数の国宝・重要文化財が含まれ、非常に見応えのある展覧会となった。

展示にあたっては、《聖徳太子および侍者像》や《菩薩半跏思惟像》は 360 度からの鑑賞を可能とし、また優れた照明機材を導入したことで、作品の繊細な表現を味わうことが可能になった。

法隆寺をはじめとする聖徳太子ゆかりの寺院に伝わる文化財を展示するのは北海道初であり、会期中 9 万人もの入館者があり、意義深い展覧会になったと考えられる。

●展示構成
第 1 章　聖徳太子と法隆寺創建
第 2 章　太子信仰の美術
第 3 章　法隆寺西院金堂の仏像
第 4 章　中宮寺の至宝

●図録
仕　　様：A4 変形(282×132mm)、48 ページ
編　　集：日本経済新聞社
執　　筆：伊藤旭人、岩井共二、北澤菜月、斎木涼子、谷口耕生、内藤航、中川あや、野尻忠、松井美樹、三田覚之、三本周作、山口隆介(奈良国立博物館)
制　　作：エディタス
印　　刷：凸版印刷
発　　行：日本経済新聞社

●広報印刷物
ポスター：B2 判縦
チ ラ シ：A3 判横二つ折り
招 待 券：180×70mm
観 覧 券：160×70mm
出品目録：A3 判横二つ折り

●作品輸送・展示
日本通運株式会社

●会場設計
デザインオフィス イオ、株式会社アークスタジオ

●会場設営
株式会社アークスタジオ

●関連事業等
［講演会］
演　　題：法隆寺と聖徳太子
講　　師：古谷正覚氏(法隆寺管長)
日　　時：9 月 3 日(土)10 時 30 分～11 時
会　　場：当館講堂
定　　員：100 名(要整理券、要本展観覧券)

演　　題：奈良・歴史を感じる喜び
講　　師：三好和義氏(写真家)
日　　時：9 月 3 日(土)11 時 15 分～11 時 45 分
会　　場：当館講堂
定　　員：100 名(要整理券、要本展観覧券)
演　　題：法隆寺―聖徳太子信仰の寺
講　　師：内藤栄氏(本展監修者・大阪市立美術館館長)

日　　時：9月3日(土)14時～15時
会　　場：当館講堂
定　　員：100名(要整理券、要本展観覧券)

［見どころ解説］
講　　師：当館学芸員
日　　時：10月2日(日)、10月23日(日)各日14時～14時30分
会　　場：当館講堂
定　　員：10月2日＝100名、10月23日＝200名

［特設ライブラリー］
会　　期：会期中
会　　場：本展出口特設コーナー
主　　催：北海道立図書館、北海道立近代美術館
内　　容：北海道立図書館蔵書から法隆寺に関する図書・雑誌等30冊を展示、閲覧利用

●主な掲載、放送等
［新聞］
北海道新聞
連載「国宝・法隆寺展　太子の願い　太子への思い」渡部淳　8月7日、14日、21日、28日(日)
「国宝・法隆寺展　太子の志　追慕の美」渡部淳　9月1日(木)
「札幌で法隆寺展開幕　太子ゆかりの宝物並ぶ」渡部淳　9月3日(土)
「札幌で法隆寺展開幕　半跏思惟像360度から」渡部淳　9月4日(日)
「見てみよう　比べてみよう　聖徳太子と飛鳥仏」さっぽろ10区　平野薫　9月13日(火)
「国宝・法隆寺展」宮下真　9月14日(水)
「太子の背面に鬼神」渡部淳　9月20日(火)
「気になる！国宝・法隆寺展　重要文化財　十七条憲法版木」渡部淳　9月26日(月)
「気になる！国宝・法隆寺展　天寿国繡帳」渡部淳　10月1日(土)
「気になる！国宝・法隆寺展　国宝・菩薩半跏思惟像」渡部淳　10月4日(火)
「気になる！国宝・法隆寺展　重要文化財　星曼荼羅」渡部淳　10月7日(金)
「気になる！国宝・法隆寺展　重要文化財　釈迦如来および脇侍像」渡部淳　10月11日(火)
「国宝・法隆寺展　入場5万人突破」渡部淳　10月13日(木)
「グッズ充実　奈良名物も」さっぽろ10区　平野薫　10月14日(金)
「気になる！国宝・法隆寺展　重要文化財　胡面水瓶」渡部淳　10月15日(土)
「気になる！国宝・法隆寺展　国宝　観音菩薩立像」渡部淳　10月17日(月)
「法隆寺展　来場7万人に」渡部淳　10月22日(土)
「気になる！国宝・法隆寺展　国宝　鳳凰(金堂天蓋付属)」渡部淳　10月28日(金)

日本経済新聞
「国宝・法隆寺展　札幌に至宝41件」　9月3日(土)
「太子信仰の傑作　リアルさ追求」　9月19日(月)
「威厳・無垢、崇敬集めた聖人」竹内義治　9月23日(火)

［雑誌］
「道民雑誌　クォリティ」2022年10月号

［放送、配信］
テレビ北海道
「国宝・法隆寺展への誘い」9月19日(月)、再放送 10月11日(火)
NHK
「アートシーン」10月16日(日)
FM AIR-G'
「北川久仁子のbrilliant days」北川久仁子、星野靖隆　8月26日(月)

聖徳太子1400年御遠忌記念

国宝・法隆寺展

The 1400th Memorial for Prince Shotoku
Horyuji Treasures

2022.9.3㊏–10.30㊐ 北海道立近代美術館

※一部、出展作品の展示替えを行います。[前期]9.3–10.2[後期]10.4–10.30

主　催｜法隆寺、北海道立近代美術館、北海道新聞社、テレビ北海道、日本経済新聞社
学術協力｜奈良国立博物館
後　援｜北海道、札幌市、札幌市教育委員会
協　賛｜アインホールディングス、さっぽろ脊椎外科クリニック、ダイキン工業、大和ハウス工業、つうけんグループ、ニトリホールディングス、NIPPON EXPRESSホールディングス、よつ葉乳業
協　力｜エプソン販売、金澤製作所、大光電機

番号	指定	作品名	員数	時代・制作年	材質	所蔵	前期・後期
第1章　聖徳太子と法隆寺創建							
1		聖徳太子二王子像(模本)	一幅	江戸時代・宝暦13年(1763)	紙本著色	奈良・法隆寺	
2		夾紵棺断片	一片	飛鳥時代(7世紀)	乾漆製、絹・漆	大阪・安福寺	
3	重文	菩薩立像	一軀	飛鳥時代(7世紀)	銅造、鍍金	奈良・法隆寺	
4	重文	釈迦如来および脇侍像	二軀	飛鳥時代・推古天皇36年(628)	銅造、鍍金	奈良・法隆寺	
5	重文	菩薩立像	一軀	飛鳥時代(7世紀)	銅造	奈良・法起寺	
6	重文	龍鬚褥	一枚	飛鳥～奈良時代(7～8世紀)	藺草・麦稈製	奈良・法輪寺	前期
7	重文	舎利容器	一合	飛鳥時代(7世紀)	銅造	奈良・法輪寺	
8	重文	観音菩薩立像	一軀	飛鳥時代(7世紀)	銅造、鍍金	奈良・法隆寺	
9	重文	十七条憲法板木	一枚	鎌倉時代・弘安8年(1285)	木製	奈良・法隆寺	
10		軒丸瓦・軒平瓦(若草伽藍金堂所用)	一組	飛鳥時代(7世紀)	瓦製	奈良・法隆寺	
11		軒丸瓦・軒平瓦(西院伽藍金堂所用)	一組	飛鳥時代(7世紀)	瓦製	奈良・法隆寺	
12		百万塔	五基	奈良時代(8世紀)	木製、彩色	奈良・法隆寺	
13		百万塔陀羅尼	四巻	奈良時代(8世紀)	紙本墨刷	奈良・法隆寺	
14	重文	胡面水瓶	一口	中国・唐代または奈良時代(8世紀)	銅製	奈良・法隆寺	
15	国宝	観音菩薩立像(夢違観音)	一軀	飛鳥時代(7～8世紀)	銅造、鍍金	奈良・法隆寺	
第2章　太子信仰の美術							
16		聖徳太子立像(二歳像)	一軀	鎌倉時代(14世紀)	木造、彩色	奈良・法起寺	
17	重文	聖徳太子立像(孝養像)	一軀	鎌倉時代(14世紀)	木造、彩色・截金	奈良・法隆寺	
18	重文	聖徳太子像(孝養像)	一幀	鎌倉時代(13世紀)	絹本著色	奈良・法隆寺	後期
19		聖徳太子像(孝養像)	一幅	室町時代・弘治2年(1556)	絹本著色	奈良・法隆寺	前期
20		聖徳太子八童子図	一幅	鎌倉時代(14世紀)	絹本著色	奈良・法隆寺	前期
21	重文	五尊像	一幅	鎌倉時代(13世紀)	絹本著色	奈良・法隆寺	後期
22-1	国宝	聖徳太子および侍者像　聖徳太子	一軀	平安時代・保安2年(1121)	木造、彩色・截金	奈良・法隆寺	
22-2	国宝	聖徳太子および侍者像　恵慈法師	一軀	平安時代・保安2年(1121)	木造、彩色・截金	奈良・法隆寺	

番号	指定	作品名	員数	時代・制作年	材質	所蔵	前期・後期
22-3	国宝	聖徳太子および侍者像　卒末呂王	一軀	平安時代・保安2年(1121)	木造、彩色・截金	奈良・法隆寺	
22-4	国宝	聖徳太子および侍者像　殖栗王	一軀	平安時代・保安2年(1121)	木造、彩色・截金	奈良・法隆寺	
22-5	国宝	聖徳太子および侍者像　山背大兄王	一軀	平安時代・保安2年(1121)	木造、彩色・截金	奈良・法隆寺	
23	重文	蓮池図屏風	二曲一隻	鎌倉時代(13世紀)	絹本著色	奈良・法隆寺	前期
24		蓮池図	三面	江戸時代・元禄3~4年(1690～91)	紙本金地著色	奈良・法隆寺	後期
25	国宝	上宮聖徳法王帝説	一巻	平安時代(10～11世紀)	紙本墨書	京都・知恩院	
26-1		聖徳太子伝暦(上巻)	一巻	南北朝時代・観応2年(1351)	紙本墨書	奈良・法隆寺	
26-2		聖徳太子伝暦(下巻)	一巻	南北朝時代・観応2年(1351)	紙本墨書	奈良・法隆寺	
27	重文	法華曼荼羅	一幅	平安時代(12世紀)	絹本著色	奈良・法隆寺	前期
28	重文	星曼荼羅	一幀	平安時代(12世紀)	絹本著色	奈良・法隆寺	前期
29	重文	星曼荼羅	一幅	平安時代(12世紀)	絹本著色	奈良・法隆寺	後期
30	重文	孔雀明王像	一幅	鎌倉時代(13世紀)	絹本著色	奈良・法隆寺	後期
31		普賢菩薩像	一幅	鎌倉時代(13世紀)	絹本著色	奈良・法起寺	前期
32		閻魔天曼荼羅	一幅	鎌倉時代(13～14世紀)	絹本著色	奈良・法隆寺	後期

第3章　法隆寺西院金堂の仏像と天蓋

33-1	重文	観音菩薩立像(伝金堂薬師如来像脇侍・左脇侍[伝日光菩薩])	一軀	飛鳥時代(7世紀)	銅造、鍍金	奈良・法隆寺	
33-2	重文	観音菩薩立像(伝金堂薬師如来像脇侍・右脇侍[伝月光菩薩])	一軀	飛鳥時代(7世紀)	銅造、鍍金	奈良・法隆寺	
34-1	国宝	鳳凰(金堂天蓋付属)	一軀	飛鳥時代(7世紀)	木造、彩色	奈良・法隆寺	
34-2	国宝	鳳凰(金堂天蓋付属)	一軀	飛鳥時代(7世紀)	木造、彩色	奈良・法隆寺	
35-1	国宝	飾金具(金堂天蓋付属)	一枚	飛鳥時代(7世紀)	銅製、鍛造・鍍金・透彫	奈良・法隆寺	
35-2	国宝	飾金具(金堂天蓋付属)	一枚	飛鳥時代(7世紀)	銅製、鍛造・鍍金・透彫	奈良・法隆寺	
36-1	国宝	天人(金堂天蓋付属)　琵琶	一軀	飛鳥時代(7世紀)	木造、彩色	奈良・法隆寺	
36-2	国宝	天人(金堂天蓋付属)　縦笛	一軀	飛鳥時代(7世紀)	木造、彩色	奈良・法隆寺	
37		観音菩薩立像(玉虫厨子安置)	一軀	飛鳥時代(7世紀)	銅造、鍍金	奈良・法隆寺	
38	重文	観音菩薩立像(伝六観音のうち)	一軀	飛鳥時代(7世紀)	木造、漆箔	奈良・法隆寺	
39	重文	勢至菩薩立像(伝六観音のうち)	一軀	飛鳥時代(7世紀)	木造、漆箔	奈良・法隆寺	

第4章　中宮寺の至宝

40	国宝	菩薩半跏思惟像	一軀	飛鳥時代(7世紀)	木造、彩色	奈良・中宮寺	
41	国宝	天寿国繡帳	一面	飛鳥時代・推古天皇30年(622)頃	絹製、刺繍	奈良・中宮寺	前期

5　砂澤ビッキ展

Sunazawa Bikky Exhibition

会　　期：11 月 22 日(火)～令和 5 年 1 月 22 日(日)
会　　場：北海道立近代美術館　展示室Ａ
主　　催：北海道立近代美術館
後　　援：北海道、札幌市、札幌市教育委員会
助　　成：一般財団法人地域創造

砂澤ビッキ作品を、未発表作を多く含む木彫作品とともに絵画、素描など約 270 点を一堂に展覧。多岐にわたる表現分野の関係性を探りつつ、ビッキの豊穣な迷宮世界を辿った。5 章構成とし、Ⅰ章「触れる、動く、動かす」では、ビッキ文様で埋め尽くした蟹、海老、昆虫、鳥、魚など終生手がけた工芸作品、Ⅱ章「ビッキ芸術の起点」では、青年期に阿寒湖畔で制作販売していた木彫装身具や、膨大な素描、Ⅲ章「木の巨塊に触れて」で音威子府移住後の大型作品を、Ⅳ章「生活のなかの彫刻」では、「午前 3 時の玩具」や「木面」のシリーズをはじめ、これまでほとんど紹介されなかった、椅子、テーブルなどの生活のための作品を紹介、最終章で絶筆となった書を展示し、ビッキの表現の全貌を提示した。

出品候補作品について、砂澤ビッキアーカイヴ(札幌芸術の森美術館所管)のうち二次資料、特に作業日誌(1970 年～88 年)、肉筆原稿、記録写真を総合的に調査することにより、主に個人所蔵家の作品群の、多数の作品の制作年、関連する素描等資料、来歴を確認することができた。

この作業の成果により、ビッキの制作過程を含め、彫刻、工芸、素描の関連性を掌握することができ、展示構成構築に大きく影響した。このことで、ビッキの制作姿勢を新たに見いだすことができた。

また、作品調査等を通じた交流のなかで新たな所蔵情報を得て調査を行い、結果として出品作品を大きく充実させることができた。そのなかには、写真家により記録されたビッキ存命時のアトリエ写真に映されているが、没後所在が不明となっていた作品も多くあり、今後のビッキ研究のために活用される貴重な情報資料となった。

上記により新たに公開された作品の基礎情報を図録に掲載し、砂澤ビッキ作品所蔵施設にも寄贈、今後有効な活用を図る基盤を造った。

●展示構成
Ⅰ章　触れる、動く、動かす
Ⅱ章　ビッキ芸術の起点
Ⅲ章　木の巨塊に触れて
Ⅳ章　生活のなかの彫刻
Ⅴ章　祈

●作品集
仕　　様：A4 判 296×210㎜、288 ページ
編　　集：北海道立近代美術館（五十嵐聡美、久米淳之、野田佳奈子）
協　　力：砂澤凉子、札幌芸術の森美術館
デザイン：佐藤守功
発　　行：北海道新聞社

●広報印刷物
ポスター：B2 判縦
チ ラ シ：A3 判二つ折り
観 覧 券：155×65㎜
印　　刷：藤田印刷株式会社
出品目録：A3 判二つ折り 7 頁（当館簡易印刷）

●作品輸送・展示
日本通運株式会社、ヤマト運輸株式会社(撮影のための事前集荷)

●会場設営
株式会社六書堂

●関連事業等
［トークショー］
演　　題：ビッキとの日々
日　　時：令和 5 年 1 月 14 日(土)　14 時～16 時
会　　場：当館講堂
講　　師：砂澤凉子氏（ビッキ夫人)、渥美顯二氏（写真家）

［講座］
演　　題：学芸員によるギャラリー・ツアー
日　　時：11 月 26 日(土)、12 月 3 日(土)、10 日(土)、17 日（土）　各 14 時～(約 40 分)
会　　場：本展会場内
講　　師：当館学芸員

［砂澤ビッキ展ラーニングプログラム］
1 学校連携
「文様の魅力・再発見～ふれるかたちスペシャル～」
対象：北海道札幌視覚支援学校　高等部 2・3 年生、中学

部　1・3年生
Aプログラム　高等部
11月22日(火) 事前学習(学校)2・3年生7名
12月　6日(火) ギャラリー・ツアー、手で触れる鑑賞(美術館)2・3年生7名
12月13日(火) コースター制作(学校)2・3年生7名
12月20日、1月17日(火)コースターの制作(学校)3年生5名
Bプログラム　中学部
12月 9日(金) 事前学習(学校)1･3年生3名(1名欠席)
12月16日(金) 手で触れる鑑賞(学校)1・3年生3名(1名欠席)
1月20日、2月3日、10日(金)コースターの制作(学校)1・3年生4名

高等部、中学部とも、作家調査、作品鑑賞のうえで、遺族から借用したビッキ文様が刻まれた作品に手で触れて鑑賞する時間をとった。その後文様を刻むコースターを制作。程度は様々だが、それぞれ視覚に障害を持った生徒たちが、一連の工程のなかで砂澤ビッキの文様表現を深く鑑賞し、木彫作品の制作に挑戦する機会を提供することにつながった。また、障がい者にも開かれた美術館を推進するためのひとつのモデル事業ともなった。

2 公募によるワークショップ
「文様の魅力･再発見～オリジナル文様のお皿を作ろう～」
12月24日(土)13時～16時、参加者13名
25日(日)13時～16時、参加者15名

札幌市在住の造形作家･松井茂樹氏によるビッキ文様についての解説と、展覧会鑑賞後に、粘土皿を制作し文様を刻む作業を行った。松井氏制作の40種類以上に及ぶ文様の型紙やスタンプを使用することで、参加者は文様のデザインに集中することができ、短時間の中でも完成度の高い作品を制作することができた。

3 来館者向け自由参加プログラム
「文様の魅力・再発見～文様ステンシル～」
12月24日(土)～令和5年1月17日(火)16日間

札幌市在住の日本画家･紅露はるか氏に文様と台紙のデザイン含めた全体の監修を依頼、自由参加によるステンシル技法の体験コーナーとした。参加者513名(同期間の砂澤ビッキ展観覧者数4,299名、32人/1日、観覧者の約12%)。参加者の感想は好評だった。
子どもから大人まで、外国人観光客などの参加もあった。作家に全体のフォーマットを依頼したことにより、精度の高い材料によって、展覧会に関連した文様制作の疑似体験と、美術体験の達成感を提供することができた。

［特設ライブラリー］
令和4年度北海道立図書館･北海道立近代美術館連携事業
深める・楽しむ　北海道立図書館の蔵書から
会　　期：展覧会会期中
会　　場：2階展示室出口、後ARSコーナーへ移動
主　　催：北海道立図書館、北海道立近代美術館
内　　容：北海道立図書館蔵書から砂澤ビッキに関する図書13冊を展示、閲覧利用

●主な掲載、放送等
［新聞］
北海道新聞
「砂澤ビッキ 多作の足跡」11月30日(水) 夕刊
(さっぽろ10区)「ビッキの木彫 神髄に触れる」12月9日(金)
季評美術「「独自の表現育む地」を証明」吉崎元章　1月17日(金) 夕刊

朝日新聞　道内版
「砂澤ビッキ表現に宿る精神」平岡春人 11月25日(金)
「ビッキ「木面」の裏に潜む虚無」平岡春人 12月27日(火)

毎日新聞　全道版
「造形家「砂澤ビッキ展」生命力感じる世界」11月29日(火)

読売新聞　道内版
「ビッキ「生きた証し」270点　札幌で最大級回顧展 動く木彫りや絵画展示」片岡正人　12月11日(日)

［雑誌］
月刊ギャラリー2023 vol.1
「第14回 天地に肉聲を撃ち込め!」　天童大人
月刊ギャラリー2023 vol.2
「第14回 天地に肉聲を撃ち込め!」　天童大人

［放送、配信］
北海道リモート・ミュージアム
「砂澤ビッキ展」　1月20日(金)配信開始

砂澤ビッキ展

2022年11月22日（火）～2023年1月22日（日）
北海道立近代美術館

・作品名のうち〈　〉で囲まれたものは、この展覧会のために便宜的につけたものである。
・立体作品の寸法は高さ×幅×奥行（㎝）、平面作品の寸法は縦×横（㎝）の順に記載した。

no.	作品名	制作年	技法・材質	寸法	所蔵
Ⅰ章　触れる、動く、動かす					
1	〈樹蝶の図案〉	1971	インク、水彩・紙	32.4×20.2	個人蔵
2	〈樹蝶〉	1977	木	70.0×110.0×16.0	個人蔵
3	〈樹蝶〉	1977	木	157.0×64.0×10.0	個人蔵
4	樹蝶	1978	木	25.0×52.0×4.5	個人蔵
5	樹蝶	制作年不詳	木	13.0×16.5×4.0	個人蔵
6	〈樹兜虫〉	1978	木	53.0×36.0×7.5	個人蔵
7	〈樹兜虫〉	制作年不詳	木	53.0×29.0×7.0	個人蔵
8	〈樹兜虫〉	制作年不詳	木	43.0×38.0×9.5	個人蔵
9	〈樹兜虫〉	制作年不詳	木	44.0×39.0×10.0	個人蔵
10	〈樹蠍〉	1978	木	61.0×37.0×3.5	個人蔵
11	樹蜈蚣	1978	木	81.0×19.0×3.5	個人蔵
12	〈樹蜂〉	制作年不詳	木	30.5×37.0×27.0	個人蔵
13	〈樹鮭〉	1973	木	24.0×108.5×8.5	個人蔵
14	〈樹鮭〉	1977	木	31.0×83.0×6.5	個人蔵
15	〈鰭立鮭〉	1981頃	木	16.5×59.0×22.0	個人蔵
16	樹魚鏡	1980	木	56.0×20.5×10.5	個人蔵
17	樹鮃鏡	制作年不詳	木	53.5×24.5×7.0	個人蔵
18	樹鰈	1980	木	19.5×45.0×3.0	個人蔵
19	樹鰈	1982	木	31.0×59.0×4.5	個人蔵
20	〈樹鮃〉	1982	木	34.0×76.5×5.5	個人蔵
21	樹鰈	1983	木	24.0×57.0×4.5	個人蔵
22	樹魚	1985	木	34.0×83.5×6.0	個人蔵
23	〈樹駄津〉	制作年不詳	木	18.0×109.0×4.0	個人蔵
24	〈樹海老〉	1976	木	97.0×40.0×12.0	個人蔵
25	〈樹海老〉	1982	木	98.0×44.0×20.0	個人蔵
26	〈樹海老〉	1987	木	51.0×30.0×70.0	個人蔵
27	〈樹海老〉	制作年不詳	木	234.0×111.0×43.0	個人蔵
28	〈樹蟹〉	1987	木	58.0×80.0×14.0	個人蔵
29	〈樹蟹〉	制作年不詳	木	46.0×49.0×5.0	個人蔵
30	〈樹蟹〉	制作年不詳	木	46.0×64.0×12.5	個人蔵
31	〈樹蟹〉	制作年不詳	木	42.0×57.0×7.0	個人蔵
32	樹蟹	制作年不詳	木	55.0×112.0×7.0	個人蔵
33	樹蟹	制作年不詳	木	154.0×300.0×21.0	個人蔵
34	〈樹宝函〉	1976	木	29.0×39.0×31.0	個人蔵
35	樹宝函	1978	木	20.0×31.5×21.0	個人蔵
36	樹蝶函(B)	1980	木	13.0×37.0×19.0	個人蔵
37	〈樹蟹函〉	1980	木	29.0×35.0×10.0	個人蔵

38	〈樹蟹函〉	1980	木	27.0×34.0×10.0	個人蔵
39	〈樹蟹函〉	1980	木	26.0×33.0×9.0	個人蔵
40	〈樹蟹函〉	1982	木	21.5×26.0×27.0	個人蔵
41	〈樹寄居虫函〉	1982	木	24.5×26.0×25.0	個人蔵
42	〈樹啄木鳥函〉	1978	木	33.5×31.5×23.0	個人蔵
43	樹鷲函	1980	木	23.0×49.5×34.5	個人蔵
44	鳥の樹	1980	木	34.5×13.0×32.0	個人蔵
45	〈樹孔雀盆〉	1980	木	16.5×27.0×36.5	個人蔵
46	〈樹鷲〉	1980	木	35.5×24.0×36.0	個人蔵
47	樹丹頂鶴	1981	木	63.0×30.0×53.0	個人蔵
48	丹頂鶴樹函	1987	木	42.0×30.5×30.0	個人蔵
49	〈樹家鴨〉	制作年不詳	木	50.0×25.0×39.0	個人蔵
50	樹丹頂鶴	制作年不詳	木	68.0×25.6×58.5	個人蔵
51	〈樹鈴〉	制作年不詳	木	7.3×3.5×2.8	個人蔵
52	〈樹鈴〉	制作年不詳	木	7.3×4.0×2.5	個人蔵
53	〈樹鈴〉	制作年不詳	木	15.0×3.8×2.7	個人蔵
54	〈樹鈴〉	制作年不詳	木	18.5×3.3×6.0	個人蔵
55	〈樹鈴〉	制作年不詳	木	17.5×3.3×5.5	個人蔵
56	〈樹鈴〉	制作年不詳	木	17.0×4.5×2.0	個人蔵
57	〈樹鈴〉	制作年不詳	木	13.0×3.0×2.0	個人蔵
58	〈樹鈴〉	制作年不詳	木	22.5×7.5×3.0	個人蔵
59	〈樹鈴〉	制作年不詳	木	20.5×4.5×3.0	個人蔵
60	〈樹鈴〉	制作年不詳	木	20.8×3.5×5.8	個人蔵
61	〈樹鈴〉	制作年不詳	木	30.8×6.5×3.7	個人蔵
62	〈樹鈴〉	制作年不詳	木	23.0×6.8×2.0	個人蔵
63	〈チカップ・ベル〉	制作年不詳	木	16.0×3.8×6.3	個人蔵
64	〈NECKLACE〉	1975	木	19.7×29.5×1.0	個人蔵
65	〈NECKLACE〉	制作年不詳	木	20.0×32.5×2.3	個人蔵
66	〈NECKLACE〉	制作年不詳	木	13.5×36.5×2.5	個人蔵
67	〈NECKLACE〉	制作年不詳	木	19.5×21.5×2.5	個人蔵
68	〈指輪〉	制作年不詳	木	2.0×2.5×3.0	個人蔵
69	〈指輪〉	制作年不詳	木	2.0×2.5×3.0	個人蔵
70	〈ブローチ〉	制作年不詳	木	10.0×7.5×1.5	個人蔵
71	〈ブローチ〉	制作年不詳	木	11.0×4.5×1.5	個人蔵
72	樹がれい舞露地	制作年不詳	木	5.0×9.5×1.0	個人蔵
Ⅱ章　ビッキ芸術の起点					
73	〈自画像〉	1969	鉛筆、水彩・紙	20.5×15.8	個人蔵
74	夢の底で、未完	1970	インク・紙	53.5×37.0	個人蔵
75	作品名不詳	1970頃	インク、グワッシュ・紙	19.5×13.5	個人蔵
76	作品名不詳	1970頃	インク、グワッシュ・紙	16.5×20.9	個人蔵
77	〈自画像〉	1971	鉛筆・紙	27.0×22.0	個人蔵

79	〈煙草をくわえた自画像〉	1973	コンテ・紙	39.0×30.0	個人蔵
80	作品名不詳	1977	鉛筆・紙	32.0×40.8	個人蔵
81	〈魚類スケッチ〉	制作年不詳	鉛筆・紙	38.0×26.9	個人蔵
82	〈魚類スケッチ〉	制作年不詳	鉛筆・紙	37.4×26.6	個人蔵
83	〈装飾品のための文様デザイン　〉	制作年不詳	鉛筆、インク、フェルトペン・紙	39.4×27.3	個人蔵
84	〈文様の図案〉	制作年不詳	インク、水彩・紙	18.1×29.6	個人蔵
85	作品名不詳	制作年不詳	インク、グワッシュ・紙	20.6×16.3	個人蔵
86	〈蜂〉	制作年不詳	インク・紙	38.2×50.6	個人蔵
87	悪魔になりたい図	制作年不詳	鉛筆、水彩・紙	25.0×17.8	個人蔵
88	〈裸婦〉	1970	鉛筆、水彩・紙	35.5×25.0	個人蔵
89	〈裸婦〉	1970	鉛筆、水彩・紙	25.0×35.5	個人蔵
90	〈裸婦〉	1973	コンテ・紙	30.5×39.4	個人蔵
91	〈裸婦〉	1973	コンテ・紙	54.0×38.0	個人蔵
92	〈裸婦〉	1976	コンテ・紙	37.5×26.7	個人蔵
93	〈裸婦〉	1976	コンテ・紙	37.5×26.7	個人蔵
94	〈裸婦〉	1985	コンテ・紙	76.7×55.0	個人蔵
95	〈裸婦〉	1985	コンテ・紙	76.7×53.7	個人蔵
96	〈裸婦〉	1985	コンテ・紙	71.8×54.5	個人蔵
97	〈裸婦〉	制作年不詳	鉛筆・紙	24.0×33.0	個人蔵
98	裸婦千體	1985-86	鉛筆・紙	各36.4×25.8	個人蔵
99	長尺巻物	1986	鉛筆・紙	25.0×2219.0 ほか	個人蔵
100	ANIMAL	1962	木(マツ)	20.5×20.8×19.0	北海道立近代美術館蔵
101	ANIMAL	1962	木(シナ)	15.5（台含む）×28.0×13.5	個人蔵
102	神聖受胎	1965	木(カツラ)	31.5×17.5×9.5	個人蔵
103	〈雑種構成小動物のためのスケッチ〉	1967	鉛筆、コンテ・紙	40.5×31.3	個人蔵
104	〈雑種構成小動物のためのスケッチ〉	1967	鉛筆、コンテ・紙	40.5×31.3	個人蔵
105	〈雑種構成小動物のためのスケッチ〉	1967	鉛筆、コンテ・紙	40.5×31.3	個人蔵
106	〈雑種構成小動物のためのスケッチ〉	1967	鉛筆、コンテ・紙	40.5×31.3	個人蔵
107	〈雑種構成小動物のためのスケッチ〉	1967	鉛筆、コンテ・紙	40.5×31.3	個人蔵
108	〈雑種構成小動物のためのスケッチ〉	1967	鉛筆、コンテ・紙	40.5×31.3	個人蔵
109	〈雑種構成小動物のためのスケッチ〉	1967	鉛筆、コンテ・紙	40.5×31.3	個人蔵
110	〈雑種構成小動物のためのスケッチ〉	1967	鉛筆、コンテ・紙	40.5×31.3	個人蔵
111	〈雑種構成小動物のためのスケッチ〉	1967	鉛筆、コンテ・紙	40.5×31.4	個人蔵
112	〈雑種構成小動物のためのスケッチ〉	1967	鉛筆、コンテ・紙	40.5×31.7	個人蔵
113	〈雑種構成小動物のためのスケッチ〉	1967	鉛筆、コンテ・紙	40.5×31.3	個人蔵
114	〈雑種構成小動物のためのスケッチ〉	1967	鉛筆、コンテ・紙	40.5×31.3	個人蔵
115	〈TENTACLEのためのスケッチ〉	1973	鉛筆、コンテ・紙	38.2×54.1	個人蔵
116	〈TENTACLEのためのスケッチ〉	1973	鉛筆、コンテ・紙	38.1×54.0	個人蔵
117	〈TENTACLEのためのスケッチ〉	1973	コンテ・紙	54.1×38.1	個人蔵
118	〈雑種構成小動物のためのスケッチ〉	制作年不詳	鉛筆、コンテ・紙	33.3×24.7	個人蔵
119	〈TENTACLEのためのスケッチ〉	制作年不詳	鉛筆、コンテ・紙	54.1×38.1	個人蔵
120	作品名不詳	制作年不詳	鉛筆、インク・紙	37.8×27.0	個人蔵
121	作品名不詳	制作年不詳	鉛筆・紙	17.8×24.8	個人蔵
122	TENTACLE	1977	木(クルミ、カツラ)	150.0×22.0×15.0	法人蔵

123	TENTACLE（迷宮）	1983	木(クルミ)	70.0×34.0×37.0	個人蔵

Ⅲ章　木の巨塊に触れて

124	樹頭	1979	木(ナラ)	170.0×径100.0	アパホテル&リゾート〈札幌〉蔵
125	神の舌	1980	木(ナラ)	203.0×120.0×60.0	札幌芸術の森美術館蔵
126	顔	1982	木	46.0×31.0×7.0	個人蔵
127	夜歩く顔 No.10	1982	木(カツラ)	46.0×46.0×46.0	個人蔵
128	夜歩く顔No.11	1982	木(センノキ)	174.0×48.0×48.0	個人蔵
129	作品名不詳	1982頃	木	47.0×31.0×23.0	個人蔵
130	Images of British Columbia	1983	木(イエローシダー)	42.0×15.0×13.0	個人蔵
131	Images of British Columbia	1983	木(イエローシダー)	35.5×19.0×17.0	個人蔵
132	Images of British Columbia	1983	木(レッドシダー)	108.0×29.0×34.0	個人蔵
133	Images of British Columbia	1983	木(イエローシダー)	91.0×12.5×13.0	個人蔵
134	Images of British Columbia	1983	木(レッドシダー)	68.0×31.5×12.0	個人蔵
135	Images of British Columbia	1983	木(レッドシダー)	59.5×32.0×29.0	個人蔵
136	Images of British Columbia	1983	木(レッドシダー)	67.0×24.5×13.5	個人蔵
137	Images of British Columbia	1983	木(レッドシダー)	81.0×46.5×21.0	個人蔵
138	Images of British Columbia	1983	木	120.0×16.0×12.0	個人蔵
139	Images of British Columbia	1983	木(イエローシダー)	46.0×16.0×13.0	個人蔵
140	Images of British Columbia	1983	木(レッドシダー)	72.0×37.5×17.0	三浦修嗣氏蔵
141	ブランケット	1983	鉛筆、グワッシュ・紙	56.5×76.0	個人蔵
142	作品名不詳	1983	鉛筆、グワッシュ・紙	64.5×50.0	個人蔵
143	作品名不詳	1983	鉛筆、グワッシュ・紙	23.0×29.5	個人蔵
144	作品名不詳	1983	アクリル・紙	54.0×38.0	個人蔵
145	インディアンダンス	1983	グワッシュ・紙	44.2×37.1	個人蔵
146	インディアンダンスA	1983	水彩・紙	54.0×38.0	個人蔵
147	作品名不詳	1983	グワッシュ・紙	52.0×37.0	個人蔵
148	踊り	1983	グワッシュ・紙	53.7×37.1	個人蔵
149	作品名不詳	1983	グワッシュ・紙	52.0×37.0	個人蔵
150	作品名不詳	制作年不詳	鉛筆、グワッシュ・紙	35.0×42.0	個人蔵
151	TOH	1985	木	170.0×20.0×17.0	個人蔵
152	〈風・習作〉	1985	木	189.5×36.0×42.0	個人蔵
153	集吸呼A	1986	木(クルミ、カツラ)	198.0×146.0×35.0	北海道立旭川美術館蔵
154	集吸呼B	1986	木(カツラ、クルミ、ナラ)	203.0×180.0×126.0	札幌芸術の森美術館蔵
155	風	1988	木(ナラ)	124.0×174.5×131.0	北海道立近代美術館蔵
156	風の王と王妃	1988	木(タモ)	56.5×24.0×19.5	北海道立旭川美術館蔵
157	風の王と王妃	1988	木(タモ)	172.5×44.0×37.5	北海道立旭川美術館蔵
158	四季の面	1988	木(ニレ(埋もれ木)、カツラ、ナラ)	242.5×46.0×63.0	北海道立旭川美術館蔵
159	ニツネカムイ	1988	木(カツラ、クルミ、タモ)	122.0×36.0×48.0	北海道立旭川美術館蔵
160	樹頭	1982	鉛筆・紙	25.0×17.5	個人蔵
161	作品名不詳	1982	鉛筆・紙	36.0×25.7	個人蔵
162	デッサンNo. 3　B参照　頭部	1984	鉛筆・紙	36.3×25.7	個人蔵
163	〈TOH〉	1985	鉛筆・紙	36.2×25.0	個人蔵
164	〈四つの風〉	1985	鉛筆、オイルパステル・紙	48.0×27.4	個人蔵
165	作品名不詳	1985	鉛筆、色鉛筆・紙	54.0×38.0	個人蔵
166	〈神の舌〉	制作年不詳	鉛筆、木炭・紙	54.0×48.2	個人蔵

167	〈集吸呼〉	制作年不詳	鉛筆・紙	45.8×37.5	個人蔵
168	風の王と王妃	制作年不詳	鉛筆・紙	36.0×25. 2	個人蔵
169	作品名不詳	制作年不詳	鉛筆・紙	36.2×25.4	個人蔵
170	作品名不詳	制作年不詳	鉛筆・紙	25.2×36.3	個人蔵
171	作品名不詳	制作年不詳	鉛筆・紙	25.5×36.3	個人蔵
172	作品名不詳	制作年不詳	鉛筆・紙	25.5×36.4	個人蔵

Ⅳ章　生活のなかの彫刻

173	〈木面のためのスケッチ〉	1975	鉛筆・紙	35.5×25.5	個人蔵
174	〈木面のためのスケッチ〉	1975～76	鉛筆・紙	35.2×25.3	個人蔵
175	〈木面のためのスケッチ〉	1975～76	鉛筆・紙	35.2×25.2	個人蔵
176	〈木面のためのスケッチ〉	1975～76	鉛筆・紙	25.2×35.1	個人蔵
177	〈木面のためのスケッチ〉	1975～76	鉛筆・紙	35.2×25.2	個人蔵
178	〈木面のためのスケッチ〉	1976	フェルトペン・紙	24.5×35.1	個人蔵
179	棄面	1975	木(クルミ)	34.5×23.0×9.0	個人蔵
180	帰面	1975	木	43.5×33.0×12.0	個人蔵
181	樹面	1975	木	26.0×28.0×17.5	個人蔵
182	生面	1975	木	30.0×23.0×8.0	個人蔵
183	器面	1975	木	33.5×26.5×16.5	個人蔵
184	樹面	1975	木	30.0×43.0×18.0	成田伸一氏蔵
185	樹面	1975	木	24.5×17.0×16.0	三浦修嗣氏蔵
186	岐面	1976	木(クルミ)	46.5×25.0×17.0	個人蔵
187	〈樹面〉	1976	木	103.0×23.0×20.5	個人蔵
188	樹面	1979	木(シナ)	77.0×22.5×6.5	個人蔵
189	企面	1979	木(カツラ)	73.0×19.0×12.0	個人蔵
190	寄面	1979	木(クルミ)	45.0×33.0×10.5	個人蔵
191	〈起面A〉	1983	木	61.5×60.0×10.0	個人蔵
192	〈起面B〉	1983	木	61.5×60.0×10.0	個人蔵
193	〈起面C〉	1983	木	61.5×60.0×10.0	個人蔵
194	四季の面	1988	木	39.0×26.0×108.0	法人蔵
195	樹の処女	1985	木(クルミ)	73.0×35.0×30.0	成田伸一氏蔵
196	〈樹の処女〉	1985	木	40.5×21.0×23.0	個人蔵
197	〈北の動物〉	1985	木	29.0×23.0×80.5	個人蔵
198	〈北の動物〉	1985	木	34.5×28.0×65.5	個人蔵
199	〈北の動物〉	1985	木	34.5×30.0×65.5	個人蔵
200	〈エカシと鳥と熊の彫刻柱〉	1972	木	198.0×57.5×42.0	個人蔵
201	〈熊狩りエカシ〉	1973	鉛筆、水彩・紙	25.6×35.8	個人蔵
202	熊狩りエカシ	1974	木	68.5×78.0×58.5	個人蔵
203	〈EKASHI〉	1985	木(ナラ)	88.5（台含む）×28.5×26.5	個人蔵
204	〈EKASHI〉	1985	木(ナラ)	88.5（台含む）×28.5×28.5	個人蔵
205	〈EKASHI〉	1985	木(ナラ)	88.0（台含む）×29.0×33.0	個人蔵
206	〈EKASHI〉	制作年不詳	木	97.0（台含む）×49.0×51.5	個人蔵
207	〈EKASHI MASK〉	制作年不詳	木	43.0×33.0×16.0	個人蔵
208	〈午前三時の玩具〉	1985	鉛筆・紙	36.5×25.6	個人蔵
209	〈午前三時の玩具〉	1986	鉛筆・紙	36.3×26.0	個人蔵
210	〈午前三時の玩具〉	1987	鉛筆・紙	25.7×61.5	個人蔵

211	蝶番蝶	1986	木	28.0×36.0×19.0	個人蔵
212	午前三時の玩具	1986	木	44.5×22.0×10.0	個人蔵
213	午前三時の玩具	1986	木	26.0×26.0×19.0	三浦修嗣氏蔵
214	午前三時の玩具	1987	木(クルミ、エリマキ)	54.0×20.0×19.0	個人蔵
215	午前三時の玩具	1987	木(ホオ、クルミ)	35.0×36.5×21.5	個人蔵
216	午前三時の玩具	制作年不詳	木	21.0×26.5×8.0	個人蔵
217	午前三時の玩具	制作年不詳	木	26.0×30.0×18.0	三浦修嗣氏蔵
218	〈女性〉	1973	鉛筆、水彩・紙	17.5×23.5	個人蔵
219	作品名不詳	1979	鉛筆、水彩・紙	50.5×39.3	個人蔵
220	鳥葬②	1982	鉛筆、水彩・紙	32.2×50.8	個人蔵
221	鳥葬③	1982	鉛筆、水彩・紙	32.8×50.8	個人蔵
222	抱卵	1982	鉛筆、コンテ、水彩・紙	55.0×33.3	個人蔵
223	作品名不詳	1982	コンテ、水彩・紙	50.8×33.4	個人蔵
224	留鳥②	1982	鉛筆、水彩・紙	50.5×32.5	個人蔵
225	作品名不詳	1982	鉛筆、水彩・紙	54.5×39.4	個人蔵
226	鳥葬ヨリ	1982	水彩・紙	49.9×35.0	個人蔵
227	鳥女	1982	鉛筆、水彩・紙	43.5×36.0	個人蔵
228	鳥女	1982	水彩、グワッシュ・紙	48.4×62.4	個人蔵
229	鳥女②	1982	水彩、グワッシュ・紙	64.8×50.4	個人蔵
230	鳥女③	1982	水彩、グワッシュ・紙	62.6×47.0	個人蔵
231	鳥女④	1982	水彩・紙	64.2×50.3	個人蔵
232	風呂に入っている鳥	1982	水彩、グワッシュ・紙	62.3×43.5	個人蔵
233	作品名不詳	制作年不詳	アクリル・紙	61.5×45.2	個人蔵
234	鳥女	1982	水彩・紙	50.3×64.6	個人蔵
235	作品名不詳	1983	鉛筆、水彩・紙	38.0×55.5	個人蔵
236	TOH	1984	鉛筆、水彩・紙	52.7×34.6	北海道立旭川美術館蔵
237	〈風に聴く〉	1986	水彩・紙	41.0×33.0	能藤玲子氏蔵
238	作品名不詳	1986	コンテ、グワッシュ・紙	101.0×68.0	個人蔵
239	作品名不詳	制作年不詳	鉛筆、水彩・紙	54.0×38.0	個人蔵
240	作品名不詳	制作年不詳	鉛筆、水彩・紙	38.0×54.0	個人蔵
241	作品名不詳	制作年不詳	グワッシュ・紙	54.0×39.3	個人蔵
242	作品名不詳	制作年不詳	グワッシュ・紙	54.0×39.3	個人蔵
243	作品名不詳	制作年不詳	グワッシュ・紙	45.5×39.1	個人蔵
244	〈ジャズトリオ〉	1965頃	木(ヒカツラ)	19.0（台含む）×10.0×10.0	個人蔵
245	〈ジャズトリオ〉	1965頃	木(アオカツラ)	27.0（台含む）×11.5×9.0	個人蔵
246	〈ジャズトリオ〉	1965頃	木	22.5（台含む）×10.0×12.0	個人蔵
247	〈樹鈴〉	1960代	木	9.0×2.5×3.0	個人蔵
248	〈スコップ入れ〉	制作年不詳	木	25.0×10.5×4.3	個人蔵
249	〈バターナイフ〉	制作年不詳	木	10.0×2.0×0.8	個人蔵
250	シガーケース	1970	木	14.0×8.0×13.0	三浦修嗣氏蔵
251	〈燭台〉	1970	木	46.0×42.5×27.5	個人蔵
252	背負いエカシ	1972	木	41.0×16.0×21.0	三浦修嗣氏蔵
253	〈シュガーポット〉	1979	木	24.0×11.0×14.0	個人蔵
254	〈掛時計〉	1980	木	57.5×107.5×18.0	個人蔵
255	樹鷲鏡	1980	木	110.0×60.0×26.5	三浦修嗣氏蔵

256	樹鶴鏡	1980	木	115.0×59.0×32.0	三浦修嗣氏蔵
257	丸木舟	1980	木	60.0×210.0×50.0	レストラン北峯舎蔵
258	夜行列車	1980	木	30.0×70.0×254.0	三浦修嗣氏蔵
259	とまり木	制作年不詳	木	44.0×200.0×52.0	三浦修嗣氏蔵
260	鳥の巣(椅子)	1980	木(カツラ、タモ)	186.0×97.0×73.0	北海道立旭川美術館蔵
261	パンドラA	1981	木(カツラ、クルミ)	72.5×52.0×25.0	個人蔵
262	かみさんの椅子	1981	木	83.0×102.0×60.0	個人蔵
263	〈椅子〉	1981頃	木	106.5×57.0×48.0	個人蔵
264	丹頂鶴(読書のための椅子)	1982	木	135.0×182.0×48.0	個人蔵
265	樹河豚函	1982	木	33.0×25.5×22.5	三浦修嗣氏蔵
266	〈樹卓〉	制作年不詳	木	56.0×径100.0	個人蔵
267	東北、車中風景	1982	鉛筆、水彩・紙	37.6×28.7	個人蔵
268	夜歩く鳥	1982	鉛筆、水彩・紙	38.0×29.0	個人蔵
269	作品名不詳	1982	鉛筆、水彩・紙	29.2×37.8	個人蔵
270	鳥葬	1982	水彩、グワッシュ・紙	52.0×36.0	個人蔵
271	作品名不詳	1982	鉛筆、水彩・紙	54.2×38.2	個人蔵
272	作品名不詳	制作年不詳	木版・紙	34.0×50.2	個人蔵
273	作品名不詳	制作年不詳	木版・紙	46.0×25.0	個人蔵
274	〈裸婦〉	1970	木	29.5×7.5×6.5	個人蔵
275	〈裸婦〉	1971	木	29.5×7.0×9.0	個人蔵
276	〈裸婦〉	1972	木	28.0×8.5×7.5	個人蔵
277	〈裸婦〉	1973	木	29.5×7.5×7.5	個人蔵
278	樹華	1983	木(ヤナギ)	212.0×140.0×140.0	北海道立近代美術館蔵
終章　祈					
279	〈祈〉	1989	墨・紙	48.0×61.7	個人蔵
280	〈祈〉	1989	墨・紙	48.3×62.4	個人蔵

渥美顯二「ビッキを撮る」

渥美顯二氏は、富良野をはじめ国内外の風景写真で知られる写真家。1982年からビッキと交流し、制作の様子や作品をカメラに収めてきました。

秘蔵ライブラリーから40点を厳選してご紹介します。

3-3　展覧会③ 貸館

◆貸館一覧

当館では貸館事業として道内・外の公募団体、報道機関等に対し特別展示室及び講堂等の会場提供を行っており、公募展や全国組織による道内巡回展、また文化芸術に関わる催しに利用されている。

本年度は、展示室 B については年間開催日数 190 日間のうち 102 日間（53.6%）を、主催者の希望する開催時期にあわせて調整のうえ貸し出した。その利用状況は次のとおりとなっている。また、講堂については 5 件の催しに対し 5 日間会場を貸し出した。

展覧会名	主催者名	会期	開催日数	観覧者数	1 日平均観覧者数
草心会北海道支部創立 30 周年記念　山口南艸の書とわか葉会門流展	書道わか葉会	3 月 26 日(土) ～4 月 3 日(日)	8 (うち年度内 3 日)	910 (年度内のみ)	303 (年度内のみ)
ドレスデン国立古典絵画館所蔵　フェルメールと１７世紀オランダ絵画展	北海道文化放送（uhb）	4 月 22 日(金) ～6 月 26 日(日)	57	103,291	1,812
サンリオ展　ニッポンのカワイイ文化 60 年史	札幌テレビ放送(STV)	令和 5 年 2 月 11 日(土) ～4 月 2 日(日)	42 (うち年度内 42 日)	70,739 (年度内のみ)	1,684 (年度内のみ)
		合計			

※「草心会北海道支部創立 30 周年記念　山口南艸の書とわか葉会門流展」及び「サンリオ展　ニッポンのカワイイ文化　60 年史」は当館名義共催によって開催した

4　教育普及関係

1　移動美術館

移動美術館 2022　ヨーロッパ近代美術の名品

北海道には現在、北海道立近代美術館・三岸好太郎美術館のある札幌をはじめとして、旭川・函館・帯広・釧路の各地に計 6 つの道立美術館・芸術館がある。これらの館は、それぞれが特色あるコレクションを持ち、地域に根ざしたさまざまな活動を展開している。それでもなお広域な本道における地理的条件等により、美術館来館の機会の少ない地域の人々に道立美術館の作品鑑賞の機会を提供し、美術への理解と関心を深めることを目的として、北海道内各地で移動美術館(ぐるっと美術館地域推進事業)を毎年実施している。作品展示の他、教育普及事業も行っている。

令和 4 年度は、道立近代美術館の所蔵作品の計 35 点を、道東の標茶町で展示した。コレクションの柱である「エコール・ド・パリ」「ガラス工芸」「北海道の美術」を中心に、海外・現代の美術もあわせて紹介した。会場では展示作品に関する子ども向けのワークシートを配布し、鑑賞の一助とした。

ただし、前年度と同様、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を十分配慮した実施となり、会場への入場や滞留状況にも留意してもらい、関連事業等も密集や近接を避けて行った。また、令和元年度まで実施していた映像プログラムの上映及び、美術関連図書コーナーの設置は割愛した。

●会場、会期、主催・後援、入場者数

［標茶会場］

会　　場：標茶町博物館ニタイ・ト
会　　期：9 月 23 日(土)～10 月 2 日(日)　9 時～19 時
主　　催：標茶町教育委員会、北海道立近代美術館
入場者数：580 名

●関連事業

［作品解説］

標茶会場では、講座等で使用する多目的室が展覧会場の一部となったため、美術講座を行わず、初日と最終日に、会場内で学芸員による作品解説を随時行った。

日　　時：9 月 23 日(金)　開館時間中 6 回
聴講者数：123 名
解　　説：久米淳之(当館上席専門員)

日　　時：10 月 2 日(土)　開館時間中 6 回
聴講者数：115 名
解　　説：竹中七帆(当館学芸員)

出品目録

	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)
油彩					
1	キース・ヴァン・ドンゲン	ボドリ・ダッソン侯爵夫人	1919	油彩・キャンバス	130.5×97.5
2	ジュル・パスキン	白いリボンの少女	1928	油彩・キャンバス	92.0×73.0
3	ジュル・パスキン	花束をもつ少女	1925-26	油彩・キャンバス	80.0×64.0
4	モーリス・ユトリロ	モンルージュの通り(セーヌ)	1910 頃	油彩・キャンバス	57.5×79.3
5	モーリス・ユトリロ	シセイ・アン・モルヴァン	1914 頃	油彩・ボード	46.0×60.0
6	モーリス・ド・ヴラマンク	村	1950 代	油彩・キャンバス	48.4×59.5
7	キスリング	オランダの娘	1928	油彩・キャンバス	100.4×73.4
8	キスリング	魚の静物	1924	油彩・キャンバス	81.0×100.0
9	アンドレ・ドラン	マルティグ風景	1908	油彩・キャンバス	100.0×81.0
10	エルミーヌ・ダヴィッド	ロンシャン競馬場でのゴールイン	1932	油彩・キャンバス	73.0×92.0

版画					
11	ジョン・マーティン	『失楽園』神の声を聞くアダム	1826 頃	メゾチント・紙	13.8×20.2
12	ジョン・マーティン	『失楽園』エヴァを誘惑するサタン	1826 頃	メゾチント・紙	14.3×20.1
13	フランシスコ・ゴヤ	『戦争への惨禍』来るべきものへの悲しき予感	1810-20 頃	エッチング、ビュラン、ドライポイント、バーニッシャー、紙	17.7×22.0
14	ウィリアム・ブレイク	『ヨブ記』第 2 図	1823-26	エングレーヴィング・紙	19.6×15.0
15	ウィリアム・ブレイク	『ヨブ記』第 16 図	1823-26	エングレーヴィング・紙	18.6×14.7
16	ウィリアム・ブレイク	『ヨブ記』第 17 図	1823-26	エングレーヴィング・紙	19.7×14.8
17	ウィリアム・ブレイク	『ヨブ記』第 18 図	1823-26	エングレーヴィング・紙	19.6×14.8
18	ジャン=フランソワ・ミレー	粥	1861	エッチング・紙	15.0×13.0
19	ジャン=フランソワ・ミレー	母親の用心	1862 (刊行: 1921)	クリシェ=ヴェール・紙	29.3×23.0
20	ジャン=バティスト=カミーユ・コロー	森の入口に立つ若い母親	1856 (刊行: 1921)	クリシェ=ヴェール・紙	33.8×25.5
21	マックス・クリンガー	『ツェルト(天幕)』大女神	1915	エッチング、アクアチント・紙	21.4×16.4
22	マックス・クリンガー	『手袋』行為	1881	エッチング・紙	25.0×18.8
23	エドワルド・ムンク	月光	1895	ドライポイント、アクアチント・紙	31.0×25.3
24	エドワルド・ムンク	クリスティアニア・ボヘームⅠ	1895	エッチング、ドライポイント・紙	21.9×29.8
25	サルヴァドール・ダリ	『カサノヴァ』(1)	刊行:1967	リトグラフ・紙(14 点組)	37.6×27.8
26	ルネ・マグリット	『マグリットの落とし子たち』マ・メール・ロワ(マザー・グース)	刊行:1968	リトグラフ・紙	44.5×60.0
27	パブロ・ピカソ	夜、少女に導かれる盲目のミノタウロス	1934	アクアチント、スクレーパー、ドライポイント、エングレーヴィング・紙	24.7×34.7
ガラス工芸					
28	ガレ工房	プラム文花器	1925-30	ガラス：被せガラス、型吹き、エッチング	27.2×32.5
29	ガレ工房	木の実文花器	1920 代	ガラス：被せガラス、エッチング	25.8×18.3
30	ガレ工房	風景文舟形花器	1918-31	ガラス：被せガラス、エッチング	7.0×18.0×13.5
31	ガレ工房	こぶし文扁壺	1904-14	ガラス：被せガラス、エッチング	19.5×34.0×43.0
32	ドーム	鹿文花器	1925-30	ガラス：被せガラス、型吹き、エッチング	33.0×39.5
33	ドーム	樹木文花器	1935	ガラス:型吹き、エッチング	27.0×27.0
34	ルネ・ラリック	花器・いんこ	1919	ガラス：型吹き	24.8×25.6
35	オレフォッシュ社／エードヴァルド・ハルド	鉢・雷雨	デザイン: 1922 制作:1953	ガラス:被せガラス、型吹き、エングレーヴィング	14.4×11.2

※寸法は、平面作品では縦×横、立体作品では奥行×幅×高さ、または直径×高さ

2　ワークショップ

1　アートギャラリー北海道／みんなのアートプロジェクト
夏休みこどもワークショップ 2022「紙粘土で彫刻を作ろう」

　アートギャラリー北海道連携館である「旭川市彫刻美術館」と連携して開催する「没後 100 年　中原悌二郎展」に関連して、小学生とその保護者を対象に、「夏休みこどもワークショップ」をアートギャラリー北海道の事業として開催した。美術及び美術館に親しむことを目的として、彫刻作品の鑑賞と造形を楽しんだ。

日　　時：8 月 6 日(土)、7 日(日)　　10 時～12 時
会　　場：当館展示室 A、造形室
参 加 者：小学生とその保護者各日 5 組　計 21 名
講　　師：当館学芸員
参 加 料：無料(保護者の方は要観覧券)
内　　容：参加者は学芸員や博物館実習生と共に「没後 100 年　中原悌二郎展」の彫刻作品を鑑賞し、造形室にて紙粘土を用いて頭像作品を制作した。親子で彫刻作品の鑑賞と造形を楽しみ、最後には完成した作品を撮影した。鑑賞の様子を記録した写真を貼り付け、博物館実習生がコメント等を記入した鑑賞カードをプレゼントした。後日、アンケート用紙と同封して作品の写真も送付した。

3　解説活動

1　ミュージアム・トーク

近美コレクション開催時の毎週日曜日、展覧会会場にて、学芸員が、主に同展出品作品に関連した講話を、スライドを交えて行っている。

※時間はいずれも 14 時～、30 分程度
※令和 4 年度は、「日本画家　羽生輝展」（4 月 16 日～6 月 26 日）、および「砂澤ビッキ展」（11 月 22 日～1 月 22 日）を展示室 A で開催したため、同時期の回を中止した。

タイトル	日時	場所	講師	人数
「中原悌二郎と荻原守衛」	7 月 24 日（日）	展示室 A	瀬戸厚志（当館学芸員）	12
「時間をめぐってークリスチャン・ボルタンスキー、宮島達男を中心に」	7 月 31 日（日）	展示室 A	敷田弘子(当館学芸員)	7
友田多喜雄　詩と版画コレクション	8 月 14 日（日）	展示室 A	大下智一（当館リサーチ推進課長）	5
中原悌二郎と荻原守衛	8 月 21 日(日)	展示室 A	瀬戸厚志（当館学芸員）	8
塩谷直美－詩と作品	9 月 4 日(日)	展示室 A	瀬戸厚志（当館学芸員）	16
現代ガラスの魅力－家住利男を中心に	9 月 11 日(日)	展示室 A	門間仁史（当館主任学芸員）	8
《室内風景》にいたるまで	9 月 18 日(日)	展示室 A	野田佳奈子(当館学芸員)	15
高橋禎彦のガラス－花のような	9 月 25 日(日)	展示室 A	大石智子(当館学芸員)	3
現代ガラスの魅力－家住利男を中心に	10 月 9 日(日)	展示室 A	門間仁史（当館主任学芸員）	22
戦時下の北海道美術	2 月 19 日（日）	展示室 A	田中駿一朗（当館学芸員）	14
シャガール・イン・プリントー美しき挿絵本の世界	2 月 26 日(日)	展示室 A	大石智子(当館学芸員)	21
シャガールの『死せる魂』を読みましょう。	3 月 5 日(日)	展示室 A	中村聖司(当館学芸副館長)	17
第二次世界大戦前後の田辺三重松の制作をめぐって	3 月 12 日(日)	展示室 A	星野靖隆(当館学芸員)	11
伊藤隆介の「Realistic Virtuality」について	3 月 19 日(日)	展示室 A	久米淳之（当館上席専門員）	11
走る男－大月源二の世界	3 月 26 日(日)	展示室 A	大下智一（当館リサーチ推進課長）	14
中原悌二郎と荻原守衛	8 月 21 日(日)	展示室 A	瀬戸厚志（当館学芸員）	14

計　15 回　184 名

2　特別オリエンテーション

　近美コレクションを観覧する団体に対して、学芸員が展覧会の概要と見所を紹介した。

日　　時：展覧会等開催期間
会　　場：当館講堂
講　　師：各展覧会担当学芸員
実施回数：5 回
参加人数：計 406 名

4　博物館実習【館園実習】

各大学の依頼により学生を受け入れ、学芸員資格取得のための博物館実習【館園実習】を行った。なお、新型コロナウイルス感染症対策のため、一部プログラムで実習生をＡ、Ｂの２グループに分けて実施した。

実 施 日：8 月 2 日(火)～8 月 10 日(水)
8 月 8 日(月)を除く 8 日間
各日とも 10 時～17 時(昼食休憩１時間を除く６時間)
講　　師：当館学芸員

実 習 生：19 名(秋田公立美術大学１名、金沢美術工芸大学１名、札幌大学１名、多摩美術大学１名、都留文科大学１名、北海道教育大学岩見沢校７名、北海道大学６名、龍谷大学１名)

月日	実習内容				
	午前		午後		
8 月 2 日(火)	ガイダンス	【講義】近代美術館って何？	【講義】近代美術館の活動① 展覧会の企画と運営	【見学】近代美術館の施設	【見学】近美コレクション観覧
8 月 3 日(水)	【講義】近代美術館の活動② 教育普及活動		【見学】三岸好太郎美術館の施設・展覧会見学	【講義】近代美術館の活動③ コレクションの収集･管理および調査研究	
8 月 4 日(木) A グループ	【実務】作品取扱実習① 日本画		【実務】作品取扱実習② 油彩・工芸	【実務】ワークショップ打合せ・準備	
8 月 5 日(金) B グループ	【実務】作品取扱実習① 日本画		【実務】作品取扱実習② 油彩・工芸	【実務】ワークショップ打合せ・準備	
8 月 6 日(土) A グループ	【実務】ワークショップの運営		【実務】ワークショップの反省・準備	【聴講】ボランティアの解説聴講	
8 月 6 日(土) B グループ	【実務】オンラインプログラムについて／オンラインプログラムの作成		【実務】オンラインプログラムの作成		
8 月 7 日(日) A グループ	【実務】オンラインプログラムについて／オンラインプログラムの作成		【実務】オンラインプログラムの作成		
8 月 7 日(日) B グループ	【実務】ワークショップの運営		【実務】ワークショップの反省・片付け	【聴講】ボランティアの解説聴講	
8 月 8 日(月)	休　　講				
8 月 9 日(火)	【実習】オンラインプログラム発表･講評		【講義】近代美術館の活動④ 施設管理と事業予算	【実務】野外彫刻の保存管理	
8 月 10 日(水)	【実習】展示･保存環境の整備と管理		【講義】近代美術館の活動⑤ ボランティアの活動	【研究】館園実習を振り返って	

5　近代美術館・三岸美術館・知事公館ぐるっと三館鑑賞ツアー

平成 23 年 4 月より北海道立近代美術館と北海道立三岸好太郎美術館の運営が一体化され、両館の常設展示の共通観覧料が新たに設定された。これを記念するとともに、この地域の魅力を広く道民にアピールするために、近代美術館～三岸美術館～知事公館の美術鑑賞ツアーを実施している。本年は夏の混雑期を避け 10 月の第 2 週目を実施時期とした。

日　　時：10 月 12 日(水)、13 日(木)
　　各日 10 時～12 時 10 分(全 2 回)
主　　催:北海道立近代美術館、北海道立三岸好太郎美術館、
　　一般社団法人北海道美術館協力会
協　　力：北海道知事公館
参 加 費：一般 670 円、高大生 270 円、中学生以下 65 歳以上無料(近美コレクションと三岸好太郎美術館共通券料金　団体料金適用)
　　※近代美術館内カフェ「nicojica」および三岸好太郎美術館内カフェ「きねずみ」のドリンクメニュー割引券含む
場所・内容：
　10 時～10 時 33 分 近代美術館「近美コレクション」観覧(解説：美術館協力会ボランティア)
　10 時 40 分～11 時 16 分 知事公館内外観覧(解説：知事公館館長、近代美術館学芸員)
　11 時 25 分～12 時 三岸好太郎美術館長ウェルカムトーク、所蔵品展自由観覧。
参加者数：10 月 12 日／7 名、13 日／10 名
　　総参加者数／17 名

6　オンラインアート教室

道立美術館等の教育機能や所蔵品を活用し、美術作品にふれる機会の少ない地域等における鑑賞機会の充実や子ども達の美術作品への理解促進を図るため、道立美術館と公立学校をオンラインで結び、学芸員が児童・生徒を対象に、わかりやすく鑑賞の手ほどきや美術作品に関する講義を行った。授業内容の詳細は各実施校の担当教諭と相談して組み上げるなど、美術館と学校とが連携して取り組む事業でもある。

本事業は学校に作品を搬送して鑑賞授業を行う事業として、アート＆トーク・デリバリーの名称で平成23年度に当館で試行的に実施を始め、翌平成24年度から令和3年度まで「出張アート教室」として実施。本年度からオンラインでの開催となった。道立美術館・芸術館6館全体の取り組みとして、北海道各地で実施している。

本年度は、全体で14校において実施。そのうち当館および三岸好太郎美術館では、後志・空知・日高管内の計7校で実施した。

実施校数：7校（小学校2校、中学校1校、高校1校、養護学校3校）
実施回数：12回
受講者数：計308名

テーマと作品	学校	日程	対象
「地域をみつめて　画家・木田金次郎」 内 容：岩内町に生まれ育ち、この地を離れることなく制作をつづけた木田金次郎は、奔放な筆致と深い色彩で、移ろいゆく自然の実相を写し取ろうと研究を重ねた。その作家の視点と描法を解説する。 作 品：木田金次郎《秋のモイワ》 担 当：野田佳奈子（当館学芸員）	月形町立月形中学校	11月4日（金） 13時15分～14時5分	53名 1年生/22名、2年生/13名、3年生/18名
「前進！　前進！　前進！―三岸好太郎の生涯と作品」 内 容：札幌に生まれ、日本近代洋画史に輝かしい足跡を残した画家・三岸好太郎（1903～1934年）の画業について学ぶ。短い活動期間の中で、さまざまに画風を変え続けながら新しい表現を試みた挑戦の軌跡を、美術館の展示作品を通して紹介。その造形の面白さや独特の技法などに触れながら、作品を鑑賞する。 作 品：三岸好太郎《檸檬持てる少女》《道化役者》《飛ぶ蝶》など 担 当：地家光二（三岸好太郎美術館上席専門員）	北海道札幌西高等学校	11月9日（水） 10時40分～11時30分、14時10分～15時 11月10日（木）10時40分～11時30分、13時15分～14時5分	65名 1年生／15名、16名、16名、18名
「動物たちのもふもふ」 内 容：動物を描いた作品を鑑賞する。どのように姿かたちや体毛の表現をしているかを考え、日本の伝統絵画の理解を深める。 作 品：竹内栖鳳《家兎》 担 当：門間仁史（当館主任学芸員）	長沼町立長沼小学校	11月15日（火） 13時20分～14時5分、14時10分～14時55分	70名 6年生／35名、35名
「街をまるごと版画にする？！」 内 容：都市の壁や道路をフロッタージュ（擦り取り）して、人間の生活や負の歴史を浮かび上がらせる北海道の作家・岡部昌生について紹介。 作 品：岡部昌生《#165 le 26 septembre 1979 à rue Pasteur》 担 当：瀬戸厚志（当館学芸員）	北海道余市養護学校	11月17日（木） 13時10分～14時	9名 高等部3年生
「街をまるごと版画にする？！」 内 容：都市の壁や道路をフロッタージュ（擦り取り）して、人間の生活や負の歴史を浮かび上がらせる北海道の作家・岡部昌生について紹介。 作 品：岡部昌生《#165 le 26 septembre 1979 à rue Pasteur》 担 当：瀬戸厚志（当館学芸員）	北海道札幌高等養護学校	12月6日（火） 13時15分～14時、14時5分～14時50分	50名 1学年7クラス
「動物たちのもふもふ」 内 容：動物を描いた作品を鑑賞する。どのように姿かたちや体毛の表現をしているかを考え、日本の伝統絵画の理解を深める。	北海道手稲養護学校三角山分校	12月7日（水） 9時50分～10時40分	9名 中学部3年生～高等部3年生

作 品：竹内栖鳳《家兎》 担 当：星野靖隆(当館学芸員)			
「動物たちのもふもふ」 内 容：動物を描いた作品を鑑賞する。どのように姿かたちや体毛の表現をしているかを考え、日本の伝統絵画の理解を深める。 作 品：竹内栖鳳《家兎》 担 当：星野靖隆(当館学芸員)	札幌市立栄緑小学校	12 月 20 日(火) 14 時 25 分～15 時 10 分	52 名 6 年生

7　ボランティアの活動

昭和 52(1977)年、北海道立近代美術館開館の年に任意団体として美術館協力会(2 年後に社団法人化)が発足した。そのもとで始められたボランティア活動は、当初、売店部門のみであったが、翌年に解説部門、その 10 年後に資料部門が加わり、さらには平成 6(1994)年の組織改編を経て、現在の 7 部体制となった。ボランティア活動員数も、発足当時の 10 数名から、令和 4(2022)年度当初には 169 名まで拡大している。

7 部の主な活動内容と令和 3 年度実績

名称	内容
事業部	○美術研修旅行の企画・実施 国内美術研修旅行(新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止) 海外美術研修旅行(新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止) ○協力会員の親睦会「つどい」2022 の企画・実施(新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止) ○美術館所蔵野外彫刻の清掃の実施
広報部	○会報『アルテピア』の編集・発行(年 2 回発行) ○部内報『あんてな』の編集・発行(年 3 回発行) ○ミュージアム・カレンダー、ポスター等印刷物の配布
売店部	○ミュージアム・グッズの開発・仕入・管理 ○ミュージアム・ショップでの販売活動 ○特設売店の設営 ○協力会員の入退会手続き事務
解説部	○近美コレクションでのギャラリー・ツアーの実施 (火～土：11 時 30 分、13 時、14 時　各回約 30 分) 実施回数：294 回、　参加者数：1,427 名 ○近美コレクションでの団体ギャラリー・ツアーの実施 実施団体数：2 団体、参加者数：13 名 ○アート・レファレンス・サービス(ARS)への対応 (質問コーナー、図書閲覧コーナー、ビデオ・ライブラリー　利用件数：7,986 件) ○道立三岸好太郎美術館でのギャラリー・ツアーの実施 (7 月 15 日～　火～土：13 時～15 時　参加人数：288 名) ○ぐるっと三館鑑賞ツアーの共催 近代美術館・三岸好太郎美術館での解説 (10 月 12 日、13 日)　参加人数：17 名
資料部	○新聞資料のファイリングおよび検索カードの作成 ○美術情報文書の分類、回覧、配架 ○図書資料の整理および検索カードの作成
研修部	○美術講座の企画・立案・実施(5 月 19 日～8 月 4 日　受講者数：778 名) ○美術講座プレミアムの開催(9 月 29 日～10 月 27 日　受講者数：277 名) ○ボランティア活動員養成研修の企画・立案 ○ボランティア活動員に対する研修の企画・立案(全体研修、特別オリエンテーションなど)
特別活動部	○館外活動「美術への誘い」(美術館、展覧会の紹介)の企画・実施 会　　場：区民センター、地区センター 実施回数：15 回、参加者数：209 名 ○小中学生から一般を対象としたワークショップの企画・実施

8　協力事業

1　一般社団法人 北海道美術館協力会との連携・協力事業

●美術講座 2022「日本・西洋の美術シリーズ」
美術に関する基礎知識を学ぶ連続講座に協力し、講師の派遣を行った。
日　　時：5 月 19 日(木)～8 月 4 日(木)に 10 回実施
各回木曜日、10 時～11 時 30 分
会　　場：当館講堂
受講者数：778 名(10 回累計・事前募集制)

［開催日／講座名／講師］
①5 月 19 日(木)
「ガイダンス、家老にして画家、風雅の人　蠣崎波響」
五十嵐聡美(当館学芸部長)
②5 月 26 日(木)
「長谷潾二郎　函館発　モダニズムから孤高へ」
大下智一(当館リサーチ推進課長)
③6 月 2 日(木)
「風刺と諧謔の人間観察　ウィリアム・ホガース」
地家光二(道立三岸好太郎美術館上席専門員)
④6 月 9 日(木)
「羽生輝展への招待」
瀬戸厚志(当館学芸員)
⑤6 月 16 日(木)
「ロダンとガウディ　神々の黄昏－彫刻と伝統」
寺嶋弘道(有島記念館長、前・札幌彫刻美術館長)
⑥6 月 23 日(木)
「片岡球子　尽きない創作への情熱」
土岐美由紀(当館学芸統括官)
⑦7 月 14 日(木)
「歌川広重　「東海道五拾三次」をめぐって」
門間仁史(当館主任学芸員)
⑧7 月 21 日(木)
「パリのカフェテラス　革命はカフェから始まる」
柴勤(前・小川原脩記念美術館長)
⑨7 月 28 日(木)
「安田侃　天と地をつなぐ」
久米淳之(当館上席専門員)
⑩8 月 4 日(木)
「ムンクと 19 世紀北欧の画家たち」
中村聖司(当館学芸副館長)

●美術講座プレミアム
美術に関する専門的・個別的知識を学ぶ連続講座に協力した。
日　　時：9 月 29 日(木)～10 月 27 日(木)に 5 回実施
各回木曜日、10 時～11 時 30 分
会　　場：当館講堂
受講者数：277 名(5 回累計・事前募集制)

［開催日／講座名／講師］
①9 月 29 日(木)
「没後 100 年　中原悌二郎と中原悌二郎賞受賞の作家たち」
山腋雄一(中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館長)
②10 月 6 日(木)
「イサム・ノグチとモエレ沼」
宮井和美(モエレ沼公園学芸員)
③10 月 13 日(木)
「アイヌ工芸の魅力」
山崎幸治(北海道大学アイヌ･先住民研究センター准教授)
④10 月 20 日(木)
「日常に注ぐまなざし～写真がもたらす出会い」
渡邉真弓(写真家、北海道カメラ女子の会代表)
⑤10 月 27 日(木)
「見えないものを描く」
舩岳紘行(画家、北海道教育大学岩見沢校准教授)

●アート・クラブ／ジュニア・アート・クラブ
美術への関心を高めるため一般・小学生を対象に行う制作体験事業に協力した。
日　　時：10 月 1 日(土)14 時～15 時、10 月 22 日(土)
14 時～15 時、11 月 5 日(土)11 時～12 時
※ 3 回連続講座)
会　　場：オンライン、当館展示室 A
参加人数：11 名

●ボランティア養成研修(共通研修)
北海道美術館協力会ボランティアの新人養成研修に講師を派遣した。
日　　時:8 月 18 日(木)～令和 4 年 1 月 19 日(木)に 5 回実施
各回木曜日、10 時～11 時 30 分
会　　場：当館映像室、講堂
受講者数：91 名

［開催日／講座名／講師］
①8 月 18 日(木)
「美術館ボランティアとその学び」
木村純(北海道大学名誉教授)
②9 月 15 日(木)
「近代美術館って何？」
中村聖司(当館学芸副館長)
③11 月 24 日(木)
「近代美術館の活動(1)作品の収集・保管、(2)調査研究」
大下智一(当館リサーチ推進課長)
④12 月 8 日(木)
「近代美術館の活動(3)展覧会の企画と運営」
五十嵐聡美(当館学芸部長)
⑤1 月 19 日(木)
「近代美術館の活動(4)教育普及」
土岐美由紀(当館学芸統括官)

●ボランティア専門研修
北海道美術館協力会ボランティアの専門研修に講師を派遣した。
日　　時：10 月 5 日(水)10 時 30 分～11 時 30 分
会　　場：当館映像室
受講者数：17 名
講　　師：門間仁史(当館主任学芸員)、米田瑞穂(当館学芸員)

２　学校教育との連携・協力事業

●博物館実習（見学実習）
学芸員資格取得課程を開講している大学からの依頼により、美術館の見学実習を受け入れた。

日時	大学名	人数
10 月 14 日（金）	東海大学	13 名
11 月 25 日（金）	北海道大学	8 名

場　　所：当館展示室、収蔵庫ほか
対　　応：当館学芸員
人　　数：計 21 名

●博物館実習（館園実習）
学芸員資格取得課程を開講している大学からの依頼により、美術館の館園実習を受け入れた（詳細は p.　60 参照）。

●オンライン・アート教室
道立美術館等の教育機能や所蔵品を活用し、美術作品にふれる機会の少ない地域等における鑑賞機会の充実や子ども達の美術作品への理解促進を図るため、道立美術館と公立学校をオンラインで結び、学芸員が児童・生徒を対象に、美術作品に関する講義を行った（詳細は pp.　62～63 参照）。

●道立美術館等活用学習充実のための指導者研修
長期休業期間中、道内の学校教員を対象に、美術館の活動と活用方法についての研修を実施した。
日　　時：7 月 27 日（水）12 時 45 分～16 時 45 分
　　1 月 11 日（水）12 時 45 分～16 時 45 分
会　　場：当館映像室
対　　応：竹中七帆（当館学芸員）、門間仁史（当館主任学芸員）
人　　数：各 1 名（道内中学校、小学校）

●鑑賞学習支援ツールの貸出
道立美術館・芸術館の所蔵品のうち 64 点をはがき大のカードに掲載した「アートカード」、北海道の自然をモティーフにした絵巻形式の大作・岩橋英遠《道産子追憶之巻》（当館蔵）を 32 枚のシートに複製した「〈道産子追憶之巻〉複製シート」、および「〈道産子追憶之巻〉 複製巻子」を、教材として道内の各種学校に貸し出した。

	小学校	中学校	高校	大学	特別支援	その他
アートカード	1	3	1	2	1	0
複製シート	0	0	0	1	0	0
複製巻子	0	0	0	0	0	0

●職場体験等の受け入れ
学校からの依頼により、職場体験学習として美術館での業務を希望する生徒を受け入れた。

日時	学校名	人数
10 月 26 日（火）、27 日（水）	星槎国際高等学校	2 名

場　　所：当館内各室
対　　応：当館学芸員
人　　数：計 2 名

●自主研修等の受け入れ
修学旅行や研修旅行、総合的な学習の時間などの一環として当館を訪問する児童・生徒に対して、美術館活動の説明・質問への回答・施設見学などを行った。

日時	学校名	人数
5 月 15 日（日）	北海道札幌西高等学校	17
5 月 25 日（水）	小樽市立朝里中学校	95
6 月 3 日（金）	札幌市立新陵中学校	37
6 月 3 日（金）	札幌市立明園中学校	7
6 月 3 日（金）	札幌市立北陽中学校	14
6 月 9 日（木）	別海町立中西別中学校	7
7 月 12 日（火）	江別市立江別第一中学校	5
8 月 17 日（水）	市立札幌大通高等学校	14
9 月 27 日（火）	札幌市立藤野中学校	16
9 月 28 日（水）	札幌光星中学校	56
10 月 13 日（木）	札幌市立手稲西中学校	2
10 月 13 日（木）	札幌龍谷学園高等学校	5
10 月 25 日（火）	北嶺中学校	139
11 月 2 日（水）	北海道武蔵女子短期大学	14
11 月 22 日（火）	酪農学園大学附属とわの森三愛高等学校	58
12 月 21 日（水）	市立札幌大通高等学校	35
12 月 21 日（水）	立命館慶祥中学校・高等学校	13
3 月 24 日（金）	北海道札幌西高等学校	21

場　　所：当館展示室、美術情報コーナー（アート・レファレンス・サービス ARS）
対　　応：当館学芸員、北海道美術館協力会ボランティア解説部
人　　数：計 555 名

３　その他の連携・協力事業

●北海道立図書館との連携展示
各特別展の会期中、北海道立図書館から、展覧会の内容に関連する図書を借用し、特設コーナーを設けて、来館者の理解と関心を深めることを図った。

9　その他

1　芸術週間

例年、芸術に親しむ機運の醸成を図ることを目的に、文化の日を含む 11 月 1 日から 11 月 7 日までの 1 週間を「芸術週間」として設定している。令和 4 年度も、常設展示「近美コレクション」の観覧料を無料とし、11 月 7 日(月)は特別開館した。

2　カルチャーナイト

地域文化への関心を高め、北海道ならではの地域文化の創造と発展に寄与することを目的に、札幌市内の公共施設や文化施設、民間施設等を夜間開館して実施される「カルチャーナイト」に参加している。当館では、令和 4 年度は 7 月 22 日(金)17 時から 21 時まで夜間開館を実施した。

3　北海道立近代美術館学芸員インターンシップ

当館では美術館学芸員を志す者を、インターン(実務研修生)として受け入れ、今後の美術館活動を担う人材の育成を行っている。展覧会活動、教育普及活動、情報関連活動のいずれかを選択し、当館職員による指導のもと研修を実施しており、令和 4 年度は 1 名を受け入れた。

［研修期間／研修内容］

2 月 15 日(水)～3 月 16 日(木)、5 週のうち 18 日間　合計 90 時間

作品管理業務の補助、教育普及業務の補助および令和 5 年度の展覧会準備の補助

4　北海道リモート・ミュージアム

コロナ禍における休館中に美術館を身近に感じてもらおうと、展覧会やコレクション等を学芸員が紹介・解説する動画の WEB 配信を令和 2 年度より開始し、令和 4 年度も展示の記録映像としての意味合いも含めつつ、展覧会広報・鑑賞補助ツールの一つとして制作を続けている。

［公開日／タイトル／時間］

① 5 月 23 日(月)　「日本画家　羽生輝展　悠久の岬を望む」3 分 46 秒
② 7 月 28 日(木)　「近美コレクション　没後 100 年　中原悌二郎展」3 分 17 秒
③ 10 月 7 日(金)　「『北の美のこころ』を携えて」3 分 3 秒
④ 10 月 27 日(木)　「『北の美のこころ』を携えて展　岩橋英遠《道産子追憶之巻》」3 分 29 秒
⑤ 1 月 20 日(金)　「砂澤ビッキ展」3 分 3 秒

5　資料・情報関係

1　刊行物

種別	刊行物名	規格（cm）	頁数	発行
年報	令和3年度北海道立近代美術館年報(PDF版)		99	北海道立近代美術館
図録	日本画家　羽生輝　悠久の岬を望む	25.8×18.7	120	藤田印刷エクセレントブックス
図録	ドレスデン国立古典絵画館所蔵 フェルメールと17世紀オランダ絵画展	29.8×20.5	264	産経新聞社、フジテレビジョン
図録	ライデン国立古代博物館所蔵　古代エジプト展	29.0×22.7	208	東京新聞、中日新聞社、フジテレビジョン
図録	聖徳太子1400年御遠忌記念　国宝・法隆寺展	28.2×13.3	48	日本経済新聞社
作品集	砂澤ビッキ作品集　終わりのない迷宮	29.8×21.3	288	北海道新聞社
紀要	北海道立美術館・芸術館紀要　第32号　2023	29.7×21.0	56	北海道立近代美術館、北海道立旭川美術館、北海道立函館美術館、北海道立帯広美術館、北海道立釧路芸術館、北海道立三岸好太郎美術館

※ポスター等は除いた。

2　特別観覧

	撮影	模写	熟覧	写真原版の使用	デジタルデータの使用	その他（転載等掲載許可等）	合計
研究			2		4	2	8
展示	1		2		2		5
出版				7	28	3	38
放送	1				2		3
上映							0
配信（インターネット等）						1	1
合計	2	0	4	7	36	6	55

※うち 4 件は重複

主な申請者
［撮影］大日本印刷株式会社、札幌駅総合開発(株)
［熟覧］札幌芸術の森美術館、作家遺族
［写真原版またはデジタルデータの使用］北海道新聞社、美術年鑑社、求龍堂、集英社、(公財)札幌交響楽団、京都芸術大学ほか

3　情報資料

1　ウェブサイト

平成 11(1999)年 4 月 1 日　開設
平成 26 年 12 月 20 日　全面リニューアル
令和 3(2021)年 7 月 1 日　全面リニューアル

［構成(リニューアル後)］
トップページ／展覧会／イベント／コレクション／教育プログラム／調査研究／美術館について／ご利用案内／アクセス／お知らせ／お問い合わせ／スケジュールカレンダー／新型コロナウイルス感染症対策の基本方針／アートギャラリー北海道／北海道リモート・ミュージアム／ミュージアム・ビュー／関連リンク

［アドレス］
http://www.aurora-net.or.jp/art/dokinbi(平成 26 年 12 月 19 日まで)
http://www.dokyoi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/knb(平 成 26 年 12 月 20 日より)
https://artmuseum.pref.hokkaido.lg.jp/knb (令和 3 年 7 月 1 日より)

令和 4 年度アクセス件数(トップページ)：977,098 件
開設以来のアクセス件数：5,616,117 件

2　所蔵作品データベース

当館では平成 13 年度から所蔵品管理システム I.B.MUSEUM(早稲田システム開発株式会社制作)により所蔵作品データベースの構築を図り、平成 24 年度 4 月からは I.B.MUSEUM SaaS(同社)へ移行して、このシステムにより北海道立美術館・芸術館 6 館の間での共同運用と整備を進めている。
令和 4 年度は、追加更新作業として令和 3 年度の新収蔵作品 221 点(油彩 7、日本画 1、水彩・素描 4、版画 206、彫刻 1、工芸 2)の登録作業を進めた。

［データ項目］
所蔵品番号、所蔵館区分、作品分類、作品名、作家名、数量、制作年、技法・材質、寸法各種、取得年、取得種別、取得先名、取得額、取得時評価額、情報提供者、作品の証明、署名・落款・表書、額装状態、来歴、解説、貸出可否、公開可否、HP 公開可否、初出年、初出展覧会、展覧会場、受賞内容、作品選定の理由、収集の理由、調査結果、作品の状態、作品情報、収集の特色、登録日、更新日など

［画像ファイル］
1,024×768 ピクセル・JPEG 形式(平成 12 年度までの収蔵作品)／1,280×960 ピクセル・JPEG 形式(平成 13 年度以降の収蔵作品)

※作品登録件数(当館分、令和 4 年度末現在)：全 5,881 点［絵画 1,480(油彩 829、日本画 282、水彩・素描 369)、版画 2,286、彫刻 113、工芸 1,720、デザイン 231、写真 51］

3　所蔵作品データ公開

○所蔵作品データベースを活用した公開
上記 2 の I.B.MUSEUM SaaS を活用し、平成 30 年 10 月 10 日より、当館の所蔵作品全 5,393 点［絵画 1,459(油彩 822、日本画 2、水彩・素描 364)、版画 1,822、彫刻 112、工芸 1,718、デザイン 231、写真 51］のデータを公開していた。
上記 1 のウェブサイトリニューアルに合わせ、「北海道立美術館等所蔵作品データベース」を開設した。令和 4 年 1 月 7 日より、北海道立美術館および芸術館が令和 2 年度末に所蔵している全作品 ［うち当館：絵画 1,480(油彩 829、日本画 282、水彩・素描 369)、版画 2,286、彫刻 113、工芸 1,720、デザイン 231、写真 51］の基本情報ならびにサムネイル画像を公開している。

○館内ビデオ・ライブラリーにおける公開
平成 21 年度に ARS に導入した新しいビデオ・ライブラリーにおいて、当館の代表的な作品 70 点の画像、データ、解説を公開している。平成 22 年 9 月 11 日から運用開始。
新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和 4 年度は前年度に引き続き運用を中止した。

4　ソーシャルメディア

フェイスブック及びツイッターを活用して、逐次的な情報公開と広報活動に取り組んだ。

○フェイスブックへの投稿数：120 回
令和 4 年度末現在のフェイスブックのいいね数(定期通知者数)：5,817 名

○ツイッターへの投稿数：135 回
令和 4 年度末現在のツイッターのフォロワー数(定期通知者数)：11,780 名

6　美術作品の貸出と保存・修復

1　美術作品の貸出

	貸出先	会期	作品	目的(会場)
1	北海道立旭川美術館	4 月 23 日～6 月 26 日	木田金次郎《青い太陽》他 計 8 点	「美術館に行こう!ディック・ブルーナに学ぶモダン・アートの楽しみ方」展のため(北海道立旭川美術館)
2	本郷新記念札幌彫刻美術館	6 月 11 日～8 月 31 日	藤川叢三《立像 15》他 計 2 点	「生誕 100 年　藤川叢三展」のため(本郷新記念札幌彫刻美術館)
3	木田金次郎美術館	7 月 1 日～11 月 6 日	木田金次郎《台風の朝》他 計 4 点	「帰ってきた木田金次郎」展のため(木田金次郎美術館)
4	北海道立釧路芸術館	7 月 9 日～9 月 4 日	ジョルジュ・ルオー《ミセレーレ》他 計 326 点	「ヨーロッパ版画の花束」展のため(北海道立釧路芸術館)
5	北海道立三岸好太郎美術館	7 月 16 日～9 月 25 日	国吉康雄《横たわる裸婦》他 計 29 点	「1920’s-1930’s 三岸好太郎が生きた時代」展のため(北海道立三岸好太郎美術館)
6	北海道庁舎内知事室等	7 月 23 日～令和 5 年 7 月 9 日	木田金次郎《バラ》他 計 6 点	知事室および知事公館で展示するため
7	北海道立三岸好太郎美術館	10 月 8 日～12 月 4 日	国松登《夕凪》他 計 9 点	「蝶を追いかけて」展のため(北海道立三岸好太郎美術館)
8	北海道立旭川美術館	12 月 17 日～令和 5 年 3 月 12 日	ジュル・パスキン《花束をもつ少女》他 計 103 点	「モダンの芸術―100 年前のヨーロッパ、日本、旭川」展のため(北海道立旭川美術館)
9	そごう美術館、北九州市立美術館分館、岩手県立美術館	令和 5 年 1 月 1 日～1 月 29 日、4 月 8 日～5 月 21 日、6 月 3 日～7 月 17 日	片岡球子《面構　葛飾北斎》他 計 7 点	「面構　片岡球子展」のため(そごう美術館、北九州市立美術館分館、岩手県立美術館)
10	北網圏北見文化センター	令和 5 年 1 月 14 日～3 月 12 日	エミール・ガレ《雪中竹に鷹文花器》他 計 43 点	「描かれた“北”　―北海道立近代美術館コレクションから―」展のため(北網圏北見文化センター)
11	札幌芸術の森美術館	令和 5 年 4 月 15 日～6 月 11 日	艾沢詳子《種　Ⅰ》他 計 5 点	「札幌美術展　艾沢詳子」のため(札幌芸術の森美術館)

2　美術作品の保存・修復

1　修復

分野：彫刻
作家名：新宮晋
作品名：風の対話
制作年：1998(平成 10)年
寸法(径×高さ)：520.0×185.0cm(2 点組)
技法・材質：ステンレススチール、テフロン･シート

修復年月日：令和 4 年 5 月 23 日(月)～8 月 23 日(火)
修復者：東興株式会社
修復状況：
　本作品は、野外彫刻として当館前庭に設置されている。経年劣化により、表面に汚れが出ているほか、回転部分の動きが鈍くなったために風を受ける帆へ負荷がかかり、生地に破れが生じるなど、作品本来の姿が損なわれていた。
　処置にあたっては、作品全体を工場に引き下げて作業を行った。ベアリングやオイルシール、オイルニップル、ビス等を新規交換するとともに、ステンレススチール部分を研磨して美装した。また帆を全て張り替えた。

分野：彫刻
作家名：クリスチャン・ボルタンスキー
作品名：モニュメント：ディジョンの子どもたち
制作年：1987 年
寸法(奥行×幅×高さ)： 7.2×75.0×164.0cm
技法・材質：写真、メタルフレーム、ガラス、電球、電線

修復年月日：令和 4 年 6 月 26 日(日)～28 日(火)
修復者：有限会社修復研究所 21
修復状況：
　本作品は、経年劣化により、メタルフレーム側面に貼られたオリジナルの粘着テープがはがれたために、その上に貼られた製本テープの一部が剥離していた(2008 年の修復の際、メタルフレームに裏蓋を取り付けており、接着に製本テープが用いられていた)。
　処置に当たっては、まずピンセットを用いて製本テープを全て除去した。オリジナルの粘着テープについては､メタルフレーム側面にはみ出た部分のみ除去し、フレームに残った接着剤は、溶剤を含ませた綿棒で取り除いた。その後、フレームシーリングテープによってメタルフレーム側面部と裏蓋を接着した。また、作品裏面に展示用のマジックテープを両面テープで取り付けた。

分野：日本画
作家名：蠣崎波響
作品名：蜂巣ト猿
制作年：1818－1826 年(文政年間)
寸法(縦×横)：94.0×30.5cm
技法・材質：絹本彩色

修復年月日：令和 4 年 9 月 22 日(木)～27 日(火)
修復者：株式会社かみ屋
修復状況：
　本作品は、経年劣化により、両脇の軸棒付根の裂が断裂していたほか、八双を巻き込む裂が断裂して浮きが生じていた。また、風帯の露糸が汚れ、一部欠失していた。
　処置にあたっては､まず刷毛やクリーニングクロス、プラスチック消しゴムによって、裂に付着した塵埃や軸首の汚れを除去した。次に、楮紙を使用して断裂箇所を繕い、露糸を付け替えた。

分野：版画
作家名：小川原脩
作品名：華麗なる風景　華麗なる風景 C
制作年：1936(昭和 11)年
寸法(縦×横)：38.0×59.0cm
技法・材質：リトグラフ・紙

修復年月日：令和 4 年 9 月 26 日(月)
修復者：株式会社かみ屋
修復状況：
　本作品は、画面右下に染みが付着していた。
　処置にあたっては、針の先端で染みの塊を少しずつ崩しながら除去した。ルーペで確認しながら、本紙に傷が付かない程度まで作業を行い、可能な限り取り除いた。

分野：日本画
作家名：蠣崎波響
作品名：狆鉄線花図
制作年：1813(文化 10)年頃
寸法(縦×横)：44.3×65.6cm
技法・材質：絹本彩色

修復年月日：令和 5 年 1 月 25 日(水)～2 月 23 日(木)
修復者：株式会社かみ屋
修復状況：
　本作品は、経年劣化により、全体的に折れや波打ちが生じているほか､虫損や亀裂が多数見られた｡また、上下の裂が脆弱化して擦れが生じており、裏打紙が露出している箇所があった。このほか、掛軸の大きさに

対して軸棒が細く、巻きがきつくなっていた。
　処置にあたっては、まず水による滲みが生じるか確認したのち、それぞれのパーツに解装した。その後、旧裏打紙を除去し、肌裏打を行った状態で本紙と裂の洗浄を行った。そして増裏打を行って乾燥させた後、本紙と新調した裂を継ぎ直すとともに、同じく新調した軸袋と八双袋を取り付けた。厚手の手漉き楮紙を使用して全体の総裏打ちを行い、十分に乾燥させ、新調した軸棒と八双を取り付けた。軸首は元々七分半のものが使われていたが、九分のものに変更した。そして風帯は旧態と同様に付け直し、金具と紐は、旧態と似寄りのものを取り付けた。

分野：日本画
作家名：蠣崎波響
作品名：冨嶺江春寒之図
制作年：1826(文政 9)年
寸法(縦×横)：40.0×58.0cm
技法・材質：絹本著色

修復年月日：令和 5 年 1 月 25 日(水)～2 月 23 日(木)
修復者：株式会社かみ屋
修復状況：
　本作品は、経年劣化により、全体的に汚損や折れ、波打ち、染みが目立つ状態になっていた。また、裏打紙にも染みが生じているほか、折れや糊浮きが生じていた。軸首にも汚れが見られた。
　処置にあたっては、まずそれぞれのパーツに解装し、本紙と裂の裏打紙を除去した。本紙の補修として、亀裂に伴い絹糸が欠失している箇所には、本紙の下部から微量な絹を採取し補った。その後、本紙と裂の裏打を行い、乾燥させたあと、旧態と同様に継ぎ直した。本紙の折れや亀裂箇所には折れ伏せを入れるとともに、厚めの手漉き楮紙で全体の総裏打ちを行った。仕立てにおいては、軸棒と八双、金具と紐を新調して取り付けた。軸首はクリーニングして再度取り付けた。また風帯は旧態と同様に付け直した。箱については、破損箇所を修理するとともに、軸枕を新調した。

7　調査研究

1　学芸員の調査研究活動

当館は、地域の研究機関としての役割を果たし、美術に関する総合的な調査・研究を行って、その成果を展覧会や普及事業、教育支援等、広く美術館活動に反映させるとともに地域社会に還元している。

とくにコレクションの柱である北海道の美術、ガラス、エコール・ド・パリ関係については重点的に調査研究を推進するよう努めているほか、各学芸員はそれぞれコレクションの各分野、所蔵品特別研究、展覧会（特別展・コレクション展・その他プロジェクト）、教育支援、美術館学、地域文化振興等を担当して関連する調査研究、また個別的研究課題や重点分野に関して継続的な調査研究を行っている。

本項には、各員ごとの担当および研究成果等を記した（なお、コレクション分野のうち、北海道の美術、ガラス、エコール・ド・パリについては、担当者以外にも全員が調査研究対象とすることとしている）。

令和４年度においては、新型コロナウイルス感染症による影響が薄まり、調査研究やその成果発表の機会が回復した。

○五十嵐聡美（学芸部長）

［担当分野（コレクション）］
・日本画
・彫刻
・書
・三岸好太郎

［担当展覧会］
・古代エジプト展
・砂澤ビッキ展

［教育支援・美術館学］
・美術館教育、鑑賞教育、利用者支援
・博物館学・美術館学、アート・マネージメント

［地域文化の振興］
・地域の美術活動の現況調査
・外部機関・組織との相互協力・研究支援等

［重点研究分野・個別研究課題・継続的テーマ等］
・アイヌ絵（小玉貞良、蠣崎波響、平澤屏山）
・アイヌの工芸
・北海道の木彫（藤戸竹喜、瀧口政満、岡沼淳一、砂澤ビッキ）

［研究成果・発表活動］

＜講演・講座・トーク等＞
・［講座］「家老にして画家、風雅の人　蠣崎波響」（令和 4/5/19　北海道美術館協力会美術講座 2022）
・［講演］「家老にして画家、風雅の人　蠣崎波響」（令和 4/5/28　松前町歴史講演会）
・［講話］砂澤ビッキ展　ギャラリー・ツアー（令和 4/11/26, 12/3, 12/10, 12/17）
・［講座］「近代美術館の活動（３）展覧会の企画と運営」（令和 4/12/8 北海道美術館協力会ボランティア研修部共通研修）

＜執筆・発表＞
・「岡沼淳一の 75 年」『岡沼淳一彫刻作品集』岡沼淳一彫刻作品集刊行会　令和 4/4/1
・書評「もっと知りたいアイヌの美術」『北海道新聞』　令和 4/6/12
・「アンカン　ル　ピッカ　アイヌの美　藤戸康平シリーズ　①　はじまりは、妻の時計の木製ベルト」『朝日新聞』　令和 4/9/7
・「アンカン　ル　ピッカ　アイヌの美　藤戸康平シリーズ　②　人生の伴侶になる木製メガネを」『朝日新聞』　令和 4/9/14
・「アンカン　ル　ピッカ　アイヌの美　藤戸康平シリーズ　③　表紙を飾った祭具　神聖な空気感」『朝日新聞』　令和 4/9/21
・「アンカン　ル　ピッカ　アイヌの美　藤戸康平シリーズ　④　渦巻き文様の大作　海の向こうで」『朝日新聞』　令和 4/9/28
・書評「風雪という名の鑿」『北海道新聞』　令和 4/11/6
・「新鮮ナ太陽ヲ見ルービッキの作業日誌から」、テーマ解説、作品解説、年譜『砂澤ビッキ作品集　終わりのない迷宮』北海道新聞社　令和 4/11/22

＜展示＞
・砂澤ビッキ展展示構成・解説

＜調査活動＞
・砂澤ビッキ作品調査
・藤戸竹喜作品調査
・アイヌアート作品調査

＜社会貢献活動＞
・札幌大学非常勤講師（アイヌ工芸Ｂ1）
・市立小樽美術館協議会委員
・市立小樽美術館資料収蔵委員会委員
・小樽市総合博物館協議会委員
・公益財団法人アイヌ民族文化財団令和４年度助成事業審査委員
・公益財団法人アイヌ民族文化財団令和４年度アイヌ工芸品展中長期計画策定委員
・公益財団法人アイヌ民族文化財団令和４年度アイヌ関係資料評価委員会委員
・国立アイヌ民族博物館令和４年度運営会議研究推進ワーキング会議構成員
・国立アイヌ民族博物館令和４年度文化財買取評価委員
・令和４年度札幌芸術の森収蔵作品選定委員
・札幌市令和４年度「アイヌ工芸品等販売」検討会議委員

○大石智子（臨時学芸員）

［担当分野（コレクション）］
・日本画
・ガラス
・工芸（陶磁・染織）

［担当展覧会］
・シャガール・イン・プリント
・フェルメールと 17 世紀オランダ絵画展（貸館）
・国宝・法隆寺展

［教育支援・美術館学］
・美術館教育、鑑賞教育、利用者支援
・博物館学・美術館学、アート・マネージメント

［地域文化の振興］
・地域の美術活動の現況調査
・外部機関・組織との相互協力・研究支援等

[重点研究分野・個別研究課題・継続的テーマ等]
・日本近代美術
・ガラス工芸
・美術作品の情報管理
・山内壮夫
[研究成果・発表活動]
＜講演・講座・トーク等＞
・[講話]「高橋禎彦―花のような」(令和 4/9/25　近美コレクション・ミュージアム・トーク)
・[講話]「シャガール・イン・プリント―美しき挿絵本の世界」(令和 5/2/26　近美コレクション・ミュージアム・トーク)
＜展示＞
・シャガール・イン・プリント展示構成・解説

○大下智一(リサーチ推進課長)

[担当分野(コレクション)]
・油彩
・版画
・工芸(陶磁・染織)
・映像・写真
・三岸好太郎
[担当展覧会]
・戦時下の北海道美術(近美コレクション)
・フェルメールと 17 世紀オランダ絵画展(貸館)
・＃みまのめ VOL.8 (三岸好太郎美術館)
[教育支援・美術館学]
・美術館教育、鑑賞教育、利用者支援
・博物館学・美術館学、アート・マネージメント
[地域文化の振興]
・地域の美術活動の現況調査
・外部機関・組織との相互協力・研究支援等
[重点研究分野・個別研究課題・継続的テーマ等]
・日本写真史(幕末～明治期の写真)
・日本近代洋画
・山下りん(作家作品研究)
・田本研造(写真史研究)
・道南美術史
・長谷川潾二郎(作家作品研究)
[研究成果・発表活動]
＜講演・講座・トーク等＞
・[講座]「長谷川潾二郎　函館発　モダニズムから孤高へ」(令和 4/5/26　北海道美術館協力会美術講座 2022)
・[出演]「“開拓写真”北海道の歴史を読み解く」(初回放送日:令和 4/6/17　NHK 札幌放送局)
・[講座]「近代美術館の活動(1)作品の収集・保管、(2)調査研究」(令和 4/8/3 博物館実習講義)
・[講話]「友田多喜雄　詩と版画コレクション」(令和 4/8/14　近美コレクション・ミュージアム・トーク)
・[講座]「近代美術館の活動(1)作品の収集・保管、(2)調査研究」(令和 4/11/24 北海道美術館協力会ボランティア研修部共通研修)
・[講座]「夜の博物館　第 2 回　イコン画家山下りんの生涯」(令和 5/1/11 七飯町歴史館)
・[講座]「戦後道南美術の展開」(令和 5/3/4　北海道立函館美術館)
・[講話]「はこだてトリエンナーレ 2023　オープニング トークイベント」(令和 5/3/11　函館コミュニティプラザ G)
・[講話]「走る男―大月源二の世界」(令和 5/3/26　近美コレクション・ミュージアム・トーク)
＜執筆・発表＞
・「石川潤」「安田祐子」『＃みまのめ VOL.8』展リーフレット(北海道立三岸好太郎美術館 令和 4/10)
・「第 96 回「道展」評」『道展ニュース　№150』(北海道美術協会　令和 4/12)
＜展示＞
・フェルメールと 17 世紀オランダ絵画展展示構成
・友田コレクションの精華　魅惑の版画と詩(R5 年度)
＜調査活動＞
・『北海道史 資料編』のための調査
＜社会貢献活動＞
・北海道史編纂委員会専門委員
・「倫雅美術奨励賞」候補者推薦委員
・はこだてトリエンナーレ 2023 監修

○久米淳之(上席専門員)

[担当分野(コレクション)]
・彫刻
・現代美術
・映像･写真
[所蔵品特別研究(この 1 点を見てほしい。)]
・伊藤隆介《こんなことは無かった》
[担当展覧会]
・砂澤ビッキ展
[教育支援・美術館学]
・美術館教育、鑑賞教育、利用者支援
・博物館学・美術館学、アート・マネージメント
[地域文化の振興]
・地域の美術活動の現況調査
・外部機関・組織との相互協力・研究支援等
[重点研究分野・個別研究課題・継続的テーマ等]
・近代美術
・彫刻
・北海道の美術
・安田侃(作家作品研究)
・北海道の彫刻庭園調査
[研究成果・発表活動]
＜講演・講座・トーク等＞
・[講座]「安田侃　天と地をつなぐ」(令和 4/6/23　北海道美術館協力会美術講座 2022)
・[講座] 移動美術館 2022 in しべちゃ　作品解説(令和 4/9/23　標茶町博物館)
・[講話]「伊藤隆介の『Realistic Virtuality』について」(令和　5/3/19　近美コレクション・ミュージアム・トーク)
＜執筆・発表＞
・「砂澤ビッキの造形　迷宮の系譜」『砂澤ビッキ作品集　終わりのない迷宮』北海道新聞社　令和 4/11/22
＜展示＞
・この 1 点を見てほしい。(伊藤隆介《こんなことは無かった》)展示構成・解説
＜調査活動＞
・砂澤ビッキアーカイヴ調査(札幌)
＜社会貢献活動＞
・第 73 回さっぽろ雪まつりスノーオブジェコンテスト審査

員(令和 4/2/3)
・JR タワー・アートプラネッツ・ラスト展実行委員会委員

○敷田弘子(学芸員)

[担当分野(コレクション)]
・デザイン
・ガラス
・工芸(陶磁・染織)

[担当展覧会]
・時間をめぐって(近美コレクション)
・サンリオ展　ニッポンのカワイイ文化 60 年史(貸館)

[教育支援・美術館学]
・美術館教育、鑑賞教育、利用者支援
・博物館学・美術館学、アート・マネージメント

[地域文化の振興]
・地域の美術活動の現況調査
・外部機関・組織との相互協力・研究支援等

[重点研究分野・個別研究課題・継続的テーマ等]
・近代日本美術史
・デザイン、建築史
・工芸史
・戦前戦後日本のプロダクトデザインの動向について

[研究成果・発表活動]

＜講演・講座・トーク等＞
・[講座]「時間をめぐって」展 見どころ解説(令和 4/7/22 カルチャー・ナイト)
・[講話]「時間をめぐって－クリスチャン・ボルタンスキー、宮島達男を中心に」(令和 4/7/31　近美コレクション・ミュージアム・トーク)

＜展示＞
・時間をめぐって展示構成・解説
・[講座]「羽生輝展」見どころ解説(令和 4/5/5, 5/29)
・[講座]「『羽生輝展』 への招待」(令和 4/6/9　北海道美術館協力会美術講座 2022)
・[講話]「中原悌二郎と荻原守衛」(令和 4/7/24, 8/21　近美コレクション・ミュージアム・トーク)
・[講話]「塩谷直美－詩と作品」(令和 4/9/4　近美コレクション・ミュージアム・トーク)
・[講話]「描かれた北」(令和 5/1/21　北網圏北見文化センター・ギャラリーツアー)
・[講座]「描かれた北を巡って」(令和 5/1/22　北網圏北見文化センター・美術講座)
・[講話]「オンラインアート教室の実践」(令和 5/3/3　北海道美術館学芸員研究協議会)

＜執筆・発表＞
・「小林龍一」「仲村うてな」『＃みまのめ VOL.8』展リーフレット(北海道立三岸好太郎美術館 令和 4/10)

＜展示＞
・没後 100 年　中原悌二郎展展示構成・解説
・羽生輝展展示構成・解説
・＃みまのめ VOL.8 展示構成・解説

＜教育支援＞
・「紙粘土で彫刻を作ろう」(令和 4/8/6, 8/7　夏休みこどもワークショップ 2022)
・オンライン・アート教室(令和 4/11/17　北海道余市養護学校)
・オンライン・アート教室(令和 4/12/20　札幌市立栄緑小学校)

＜調査活動＞
・羽生輝作品調査(札幌、釧路)
・中原悌二郎作品調査(旭川市彫刻美術館)
・現代作家作品調査(札幌)

＜社会貢献活動＞
・北海道教育大学釧路校非常勤講師(美術史、釧路の美術ほか)

○瀬戸厚志(学芸員)

[担当分野(コレクション)]
・ガラス
・工芸(陶磁･染織)

[担当展覧会]
・没後 100 年　中原悌二郎展[アートギャラリー北海道](近美コレクション)
・羽生輝展
・＃みまのめ VOL.8

[教育支援・美術館学]
・美術館教育、鑑賞教育、利用者支援
・博物館学・美術館学、アート・マネージメント

[地域文化の振興]
・地域の美術活動の現況調査
・外部機関・組織との相互協力・研究支援等

[重点研究分野・個別研究課題・継続的テーマ等]
・近代日本美術
・陶磁
・北海道の野外彫刻(作品調査)
・アイヌ民族の木彫(作家作品研究)
・北海道各地域の公募展史
・羽生輝(作家作品研究)

[研究成果・発表活動]

＜講演・講座・トーク等＞

○竹中七帆(臨時学芸員)

[担当分野(コレクション)]
・油彩
・版画
・エコール・ド・パリ
・浮世絵

[担当展覧会]
・新収蔵品展(近美コレクション)
・砂澤ビッキ展(ラーニングプログラム)

[教育支援・美術館学]
・美術館教育、鑑賞教育、利用者支援
・博物館学・美術館学、アート・マネージメント

[地域文化の振興]
・地域の美術活動の現況調査
・外部機関・組織との相互協力・研究支援等

[重点研究分野・個別研究課題・継続的テーマ等]
・教育普及・ワークショップ

[研究成果・発表活動]

＜講演・講座・トーク等＞
・[講話]ぐるっと三館鑑賞ツアー(令和 4/10/12, 10/13)
・[講座] 移動美術館 2022 in しべちゃ　作品解説(令和 4/10/2　標茶町博物館)

＜展示＞

・昭和のガラス造形(R5 年度)
＜教育支援＞
・「紙粘土で彫刻を作ろう」(令和 4/8/6, 8/7 夏休みこどもワークショップ 2022)
・「文様の魅力・再発見～ふれるかたちスペシャル～」(令和 4/11/22, 12/6, 12/9, 12/13, 12/16, 12/20, 令和 5/1/20, 2/3 砂澤ビッキ展ラーニングプログラム 特別支援学校連携プログラム)
・「文様の魅力・再発見～オリジナル文様のお皿を作ろう」(令和4/12/24, 12/25 砂澤ビッキ展ラーニングプログラム 参加者公募型プログラム)
・「文様の魅力・再発見～文様ステンシル～」(令和 4/12/24～令和 5/1/17 砂澤ビッキ展ラーニングプログラム 来館者向けプログラム)

○田中駿一朗(臨時学芸員)
[担当分野(コレクション)]
・油彩(水彩・素描含む)
・日本画
[担当展覧会]
・『北の美のこころ』を携えて
・戦時下の北海道美術－画家たちは戦地で何を見たのか－(近美コレクション)
[教育支援・美術館学]
・美術館教育、鑑賞教育、利用者支援
・博物館学・美術館学
[地域文化の振興]
・地域の美術活動の現況調査
・外部機関・組織との相互協力・研究支援等
[重点研究分野・個別研究課題・継続的テーマ等]
・北海道の美術
・ボブ・ディラン
・須田国太郎
[研究成果・発表活動]
＜講演・講座・トーク等＞
・[講話]「戦時下の北海道美術」(令和 5/2/19 近美コレクション・ミュージアム・トーク)
・[講座]「〈戦争〉を描く－『戦時下の北海道美術』展出品作品から」(令和 5/3/24 近美コレクション 北海道札幌西高等学校連携事業)
＜展示＞
・「『北の美のこころ』を携えて」解説
・「戦時下の北海道美術－画家たちは戦地で何を見たのか－」解説

○土岐美由紀(学芸統括官 兼 企画推進課長)
[担当分野(コレクション)]
・日本画
・浮世絵
[担当展覧会]
・新収蔵品展(近美コレクション)
・国宝・法隆寺展
[教育支援・美術館学]
・美術館教育、鑑賞教育、利用者支援
・博物館学・美術館学、アート・マネージメント
[地域文化の振興]
・地域の美術活動の現況調査
・外部機関・組織との相互協力・研究支援等
[重点研究分野・個別研究課題・継続的テーマ等]
・北海道の美術
・近現代日本画
・片岡球子、岩橋英遠、福井爽人
[研究成果・発表活動]
＜講演・講座・トーク等＞
・[講座]「片岡球子 尽きない創作への情熱」(令和 4/7/28 北海道美術館協力会美術講座 2022)
・[講座]「近代美術館の活動(４)教育普及」(令和 5/1/19 北海道美術館協力会ボランティア研修部共通研修)
＜執筆・発表＞
・「『面構』創造の現場―小下絵・資料から」『面構 片岡球子展 たちむかう絵画』(求龍堂 令和 5/1/1)
＜展示＞
・国宝・法隆寺展展示構成
＜教育支援＞
・[講話]「美術館の教育普及活動」(令和 4 年度道立近代美術館活用学習のための指導者研修 令和 4/7/27, 令和 5/1/11)
＜調査活動＞
・片岡球子展作品、下絵調査
・豊橋市美術博物館日本画コレクション調査
＜社会貢献活動＞
・札幌市 500m美術館専門委員会委員
・道銀芸術文化奨励賞選考委員

中村聖司(学芸副館長)
[担当分野(コレクション)]
・版画
・デザイン
・エコール・ド・パリ
[担当展覧会]
・『北の美のこころ』を携えて(近美コレクション)
・シャガール・イン・プリント(近美コレクション)
・サンリオ展 ニッポンのカワイイ文化 60 年史(貸館)
[教育支援・美術館学]
・美術館教育、鑑賞教育、利用者支援
・博物館学・美術館学、アート・マネージメント
[地域文化の振興]
・地域の美術活動の現況調査
・外部機関・組織との相互協力・研究支援等
[重点研究分野・個別研究課題・継続的テーマ等]
・近代美術
・北海道の美術
・現代美術論(アメリカの美術家たちによる 1960 年代の美術論)
・博物館学
[研究成果・発表活動]
＜講演・講座・トーク等＞
・[講座]「ムンクと 19 世紀北欧の画家たち」(令和 4/8/4 北海道美術館協力会美術講座 2022)
・[講座]「近代美術館って何？」(令和 4/9/15 北海道美術館協力会ボランティア研修部共通研修)
・[講話]「シャガールと『死せる魂』を読みましょう。」(令和 5/3/5 近美コレクション・ミュージアム・トーク)
＜執筆・発表＞

・「パブロ・ピカソを道しるべに、トリックとイリュージョンの世界へ！」『トリック×イリュージョン！』展図録(北海道新聞社　令和 5/4/22)

＜展示＞

・『北の美のこころ』を携えて展示構成
・シャガール・イン・プリント展示構成・解説執筆

＜教育支援＞

・SIAF ふむふむシリーズ「手話と日本語で楽しむ鑑賞会」企画・実施

＜調査活動＞

・札幌国際芸術祭 2024 出品候補作家等の調査
・小川待子、掛川源一郎に関する調査

＜社会貢献活動＞

・札幌大谷大学・大谷短期大学非常勤講師(北海道の美術)
・札幌芸術の森事業部美術館専門委員会委員
・北海道立釧路芸術館運営協議会委員
・神田日勝記念美術館運営協議会委員
・北海道博物館協会副会長
・道央地区博物館等連絡協議会監事
・北海道学芸員研究協議会副会長
・JR タワー・アートプラネッツ・ラスト展実行委員会委員

○野田佳奈子(学芸員)

[担当分野(コレクション)]

・油彩
・エコール・ド・パリ
・デザイン
・ガラス

[担当展覧会]

・砂澤ビッキ展

[教育支援・美術館学]

・美術館教育、鑑賞教育、利用者支援
・博物館学・美術館学、アート・マネージメント

[地域文化の振興]

・地域の美術活動の現況調査
・外部機関・組織との相互協力・研究支援等

[重点研究分野・個別研究課題・継続的テーマ等]

・近代美術
・近現代北海道美術史
・居串佳一
・美術館における教育普及活動

[研究成果・発表活動]

＜講演・講座・トーク等＞

・[講話]「《室内風景》にいたるまで」(令和 4/9/18　近美コレクション・ミュージアム・トーク)

＜執筆・発表＞

・「季評　４～６月　＜美術＞　『実物を間近で』　思い不変」『北海道新聞』　令和 4/7/20
・コーナー解説、作品解説、作家解説『トリック×イリュージョン！』展図録(北海道新聞社　令和 5/4/22)

＜教育支援＞

・オンライン・アート教室(令和 4/11/4　月形町立月形中学校)

＜調査活動＞

・砂澤ビッキ作品調査(札幌)
・現代作家調査(札幌、帯広)

○星野靖隆(学芸員)

[担当分野(コレクション)]

・日本画
・油彩
・ガラス
・浮世絵

[所蔵品特別研究(この１点を見てほしい。)]

・吉川霊華《太上老君》

[担当展覧会]

・国宝・法隆寺展

[教育支援・美術館学]

・美術館教育、鑑賞教育、利用者支援
・博物館学・美術館学、アート・マネージメント

[地域文化の振興]

・地域の美術活動の現況調査
・外部機関・組織との相互協力・研究支援等

[重点研究分野・個別研究課題・継続的テーマ等]

・近代日本画(とくに大正～昭和初期/京都画壇/金鈴社の作家たち)
・田辺三重松の作品と画業
・ガラス工芸

[研究成果・発表活動]

＜講演・講座・トーク等＞

・[講座]「国宝・法隆寺展」日経読者説明会(令和 4/10/1)
・[講座]「国宝・法隆寺展」見どころ解説(令和　4/10/2, 10/23)
・[講座]「国宝・法隆寺展」協賛社解説会(令和 4/10/15)
・[講話]「第二次世界大戦前後の田辺三重松の制作をめぐって」(令和 5/3/12　近美コレクション・ミュージアム・トーク)

＜執筆・発表＞

・「吉川霊華《太上老君》について」『北海道立美術館・芸術館紀要』第 32 号　北海道立近代美術館ほか　令和 5/3

＜展示＞

・この１点を見てほしい。(吉川霊華《太上老君》)展示構成・解説
・国宝・法隆寺展展示構成

＜教育支援＞

・オンライン・アート教室(令和 4/12/7　北海道手稲養護学校三角山分校、12/20　札幌市立栄緑小学校)

○門間仁史(主任学芸員)

[担当分野(コレクション)]

・日本画
・彫刻
・現代美術

[担当展覧会]

・現代ガラスの美(近美コレクション)
・古代エジプト展
・砂澤ビッキ展(ラーニングプログラム)

[教育支援・美術館学]

・美術館教育、鑑賞教育、利用者支援
・博物館学・美術館学、アート・マネージメント

[地域文化の振興]

・地域の美術活動の現況調査
・外部機関・組織との相互協力・研究支援等

[重点研究分野・個別研究課題・継続的テーマ等]

・日本画
・戦後の美術雑誌
・旭川の美術・日本美術
［研究成果・発表活動］
＜講演・講座・トーク等＞
・［講座］「歌川広重　『東海道五拾三次』をめぐって」（令和 4/7/14　北海道美術館協力会美術講座 2022）
・［講座］「古代エジプト展」見どころガイド（令和 4/7/17, 8/7）
・［講座］「古代エジプト展」見どころ解説（令和 4/7/22　カルチャーナイト）
・［講話］「現代ガラスの魅力－家住利男を中心に」（令和 4/9/11, 10/9　近美コレクション・ミュージアム・トーク）
・［講座］「二次資料の現状と今後の収集について」（令和 4/10/5 北海道美術館協力会ボランティア資料部専門研修）
・［講話］ぐるっと三館鑑賞ツアー（令和 4/10/12, 10/13）
＜執筆・発表＞
・「協働によるアウトリーチ活動　北海道立近代美術館の場合」『教育美術』N0.960 公益財団法人教育美術振興会　令和 4/6/1
・「遺物が語る美　古代エジプト展①　アメンヘテプ・フイの方形座像」『北海道新聞』　令和 4/8/2
・「遺物が語る美　古代エジプト展②　パディコンスの『死者の書』」『北海道新聞』　令和 4/8/3
・「遺物が語る美　古代エジプト展③　コンスウヘテプの内棺」『北海道新聞』　令和 4/8/5
・「遺物が語る美　古代エジプト展④　男性のミイラ」『北海道新聞』　令和 4/8/6
・「教美アートギャラリー　第７回　北海道立近代美術館」『教育美術』No.967　公益財団法人教育美術振興会　令和 5/1/1
＜展示＞
・現代ガラスの美展示構成・解説
・古代エジプト展展示構成
＜教育支援＞
・オンライン・アート教室（令和 4/11/15　長沼町立長沼小学校）
・「文様の魅力・再発見～ふれるかたちスペシャル～」（令和 4/11/22, 12/6, 12/9, 12/13, 12/16, 12/20, 令和 5/1/20, 2/3　砂澤ビッキ展ラーニングプログラム　特別支援学校連携プログラム）
・「文様の魅力・再発見～オリジナル文様のお皿を作ろう」（令和 4/12/24, 12/25 砂澤ビッキ展ラーニングプログラム　参加者公募型プログラム）
・「文様の魅力・再発見～文様ステンシル～」（令和 4/12/24～令和 5/1/17 砂澤ビッキ展ラーニングプログラム　来館者向けプログラム）
＜調査活動＞
・高山寺典籍文書綜合調査団調査外部参加（京都）
＜社会貢献活動＞
・北海道芸術学会委員

○米田瑞穂（臨時学芸員）
［担当分野（コレクション）］
・油彩
・版画
・ガラス
・工芸（陶磁・染織）
・映像・写真
［担当展覧会］
・古代エジプト展
・サンリオ展　ニッポンのカワイイ文化 60 年史（貸館）
［教育支援・美術館学］
・美術館教育、鑑賞教育、利用者支援
・博物館学・美術館学
［地域文化の振興］
・地域の美術活動の現況調査
・外部機関・組織との相互協力・研究支援等
［重点研究分野・個別研究課題・継続的テーマ等］
・映像
・アニメーション
［研究成果・発表活動］
＜講演・講座・トーク等＞
・［講座］「美術館における資料の収集と保存について」（令和 4/10/5　北海道美術館協力会ボランティア資料部専門研修）

8　名簿、沿革、観覧者等

1　名簿

北海道立近代美術館協議会委員名簿（令和 5 年 3 月 31 日現在）

氏　名	職　名
◎　北　村　清　彦	北海道大学名誉教授
○　吉　崎　元　章	本郷新記念札幌彫刻美術館長
東　　尚　典	北海道造形教育連盟会長（札幌市立旭小学校長）
飯　田　知　男	北海道高等学校文化連盟会長（北海道札幌丘珠高等学校長）
大　石　朋　生	北海道教育大学旭川校教授
霜　村　紀　子	国立アイヌ民族博物館研究学芸部研究交流室長
中　井　　令	イラストレーター
中　村　　智	（公社）北海道観光振興機構専務理事
三　澤　祥　子	北海道PTA連合会参与
湯　浅　万紀子	北海道大学総合博物館教授
若　原　勝　二	（一社）北海道美術館協力会ボランティア活動員（公募委員）

※任期：令和 3 年 6 月 1 日から令和 5 年 5 月 31 日まで
※◎は会長、○は副会長（敬称略）

収蔵作品選定評価協議会構成員名簿（令和 5 年 1 月 20 日開催）

氏　名	職　名
諸　山　正　則	元東京国立近代美術館　主任研究員
佐　藤　友　哉	札幌芸術の森美術館　館長
三　橋　純　予	北海道教育大学岩見沢校　教授

北海道立近代美術館職員名簿（令和5年3月31日現在）

職　名	氏　名	発令年月日	前　職　等
館　長（非）	立　川　宏	R1.7.1	
副　館　長	松　田　俊　也	R4.4.1	根室教育局長
学芸副館長	中　村　聖　司	R4.4.1	近代美術館学芸部長
総務企画部長（兼　事業課長）	豊　村　洋	R3.4.1	
学　芸　部　長	五十嵐　聡　美	R4.4.1	三岸好太郎美術館副館長
総務企画課長	今　村　ちぐさ	R2.11.1	
学芸統括官（兼　企画推進課長）	土　岐　美由紀	R4.4.1	生涯学習推進局文化財・博物館課主幹
主査（総括）	田母神　洋　堂	R4.4.1	根室教育局教育支援課教育支援係長
主　査	黒　岡　潤　子	R1.6.1	
専門主任	北　川　昌　亨	R2.4.1	
専門主任	矢　野　亜矢子	H31.4.1	
主　事	佐　藤　仁　美	R3.4.1	
主　事	杉　澤　陸　斗	R3.4.1	
主　事（非）	山　下　深　雪	H21.4.1	
〃	森　谷　玲　子	H3.4.1	
〃	佐々木　青	H21.4.1	
〃	三　浦　彰　子	H7.4.1	
〃	沼　澤　千佳子	H7.4.1	
〃	黒　川　亜　紀	H13.8.1	
〃	佐々木　絵梨子	H14.4.1	
〃	櫻　井　雅　子	R2.11.18	
〃	山　崎　理　生	R4.4.10	
〃	鈴　木　明　子	R4.4.10	
〃	田　中　緑	R2.4.1	
〃	齋　藤　千　春	R4.11.15	
リサーチ推進課長	大　下　智　一	R4.4.1	近代美術館学芸部学芸企画課長
主任学芸員	門　間　仁　史	R4.4.1	旭川美術館学芸課主任学芸員
学　芸　員	野　田　佳奈子	R2.4.1	
〃	星　野　靖　隆	R2.4.1	
〃	瀬　戸　厚　志	R2.4.1	
〃	敷　田　弘　子	R2.12.1	
上席専門員	久　米　淳　之	H30.4.1	
臨時学芸員	大　石　智　子	R3.12.1	
〃	米　田　瑞　穂	R4.4.1	新採用
〃	竹　中　七　帆	R4.4.1	新採用
〃	田　中　駿一朗	R4.4.1	新採用

※（非）は非常勤であることを示す

※発令年月日：職名の発令年月日

2　沿革

昭和 46 年 7 月　新北海道立美術館建設調査費計上

昭和 46 年 10 月　新北海道立美術館建設調査委員会、道外の美術館を調査

昭和 46 年 12 月　新北海道立美術館建設調査委員より、建設に対する意見と道外美術館調査報告を北海道教育委員会に提出

昭和 47 年 3 月　新北海道立美術館建設敷地、北 1 条西 17 丁目に決定

昭和 47 年 3 月　新北海道立美術館建設調査設計費計上

昭和 47 年 7 月　新美術館建設協議会発足

昭和 48 年 1 月　北海道教育庁内に新美術館建設準備室を設置

昭和 48 年 2 月　基本設計終了

昭和 48 年 10 月　実施設計終了

昭和 49 年 8 月　新美術館建設工事起工式

昭和 52 年 3 月　北海道立美術館条例一部改正、
新美術館の名称を「北海道立近代美術館」と決定

昭和 52 年 4 月　条例制定（常設展観覧料）

昭和 52 年 6 月　北海道立近代美術館建設工事完成

昭和 52 年 6 月　北海道立近代美術館職員の発令組織発足
北海道立近代美術館長（兼務）－気境公男教育長

昭和 52 年 7 月　北海道立近代美術館落成・開館記念式、一般公開

昭和 52 年 10 月　北海道立近代美術館長（兼務）－中川利若教育長

昭和 53 年 4 月　北海道立近代美術館長－倉田公裕

昭和 55 年 4 月　条例一部改正（常設展観覧料）

昭和 55 年 6 月　観覧者数 100 万人

昭和 58 年 4 月　機構改正（学芸部課名変更・主任学芸員新設）

昭和 59 年 4 月　条例一部改正（常設展観覧料）

昭和 59 年 8 月　観覧者数 200 万人

昭和 61 年　7 月　北海道立近代美術館長（兼務）－植村　敏教育長

昭和 62 年 3 月　第 2 収蔵庫工事完成

昭和 62 年 5 月　北海道立近代美術館長（兼務）－澤　宣彦教育長

昭和 62 年 7 月　北海道立近代美術館長－佐藤雅彦

昭和 62 年 8 月　開館 10 周年記念式

昭和 62 年 12 月　観覧者数 300 万人

昭和 63 年 5 月　北海道立近代美術館長－井関正昭

平成 2 年 4 月　機構改正（参事新設）

平成 6 年 4 月　北海道立近代美術館長（兼務）－阿部　茂教育長

平成 7 年 6 月　北海道立近代美術館長－阿部　茂

機構改正（学芸副館長新設）

平成 7 年 8 月　観覧者数 500 万人

平成 8 年 4 月　条例一部改正（常設展観覧料）

平成 9 年 4 月　北海道立近代美術館長（兼務）－南原一晴教育長

平成 9 年 7 月　開館 20 周年記念式

平成 11 年 4 月　北海道立近代美術館長（兼務）－鎌田昌市教育長

平成 11 年 5 月　観覧者数 600 万人

平成 11 年 7 月　北海道立近代美術館長－水上武夫

平成 12 年 4 月　条例一部改正（常設展観覧料）

平成 14 年 7 月　観覧者数 700 万人

平成 16 年 4 月　機構改正（学芸第三課新設）条例一部改正（常設展観覧料）

平成 17 年 7 月　観覧者数 800 万人

平成 18 年 7 月　北海道立近代美術館長－相馬秋夫

平成 19 年 10 月　開館 30 周年記念式

平成 20 年 4 月　条例一部改正（常設展観覧料）

平成 21 年 4 月　観覧者数 900 万人

平成 23 年 4 月　条例一部改正（三岸好太郎美術館を分館として設置・常設展共通観覧料新設）

平成 24 年 4 月　条例一部改正（年間観覧料追加）

平成 25 年 4 月　北海道立近代美術館長－髙橋教一

平成 25 年 7 月　観覧者数 1,000 万人

平成 26 年 4 月　機構改正（総務企画部 2 課を 1 課に統合、学芸部 3 課を 2 課に再編）

条例一部改正（常設展観覧料）

平成 27 年 4 月　北海道立近代美術館長（兼務）－立川　宏教育長

平成 27 年 6 月　北海道立近代美術館長（兼務）－山本広海教育部長

平成 27 年 7 月　北海道立近代美術館長－嵐田　昇

平成 28 年 4 月　条例一部改正（使用料）

平成 29 年 8 月　観覧者数 1,100 万人

開館 40 周年記念式

平成 30 年 4 月　機構改正（学芸部 2 課を 1 課に統合）

令和　元年 7 月　北海道立近代美術館長－立川　宏

令和　元年 10 月　条例一部改正（観覧料及び使用料）

令和　2 年　8 月　観覧者数 1,200 万人

令和　3 年　4 月　機構改正（総務企画部 1 課を 2 課に再編）

令和　4 年　4 月　機構改正（学芸部 1 課を 2 課に再編）

3　令和4年度観覧者数一覧

展示区分	展覧会区分		会期	開催日数	観覧者総数	一日当観覧者	有料													無料		
							個人			小計（C）	団体			小計（D）	共通券等			小計（E）	合計(C+D+E)	免除者(小中含む)	招待者	合計（F）
				(A)	(B)	(B/A)	a一般	b高大生	c小中生	(C/B)%	a一般	b高大生	c小中生	(D/B)%	a一般	b高大生	c小中生	(E/B)%	((C+D+E)/B)%			(F/B)%
	第Ⅰ期	時間をめぐって	7/10（日）～8/21（日）	38	7,542	198	846	157	－	1,003	140	143	－	283	1,070	168	－	1,238	2,524	4,592	426	5,018
		アートギャラリー北海道 没後100年　中原悌二郎展																				
		新収蔵品展																				
										13.3%				3.8%				16.4%	33.5%			66.5%
	第Ⅱ期	『北の美のこころ』を携えて	9/3（土）～11/7（月）	57	13,130	230	1,405	251	－	1,656	196	99	－	295	2,392	262	－	2,654	4,605	7,929	596	8,525
		現代ガラスの美																				
										12.6%				2.2%				20.2%	35.1%			64.9%
	第Ⅲ期	シャガール・イン・プリント	2/11（土）～4/9（日）	42	6,976	166	2,595	512	－	3,107	138	37	－	175	345	60	－	405	3,687	2,806	483	3,289
		戦時下の北海道美術																				
		この１点を見てほしい。								44.5%				2.5%				5.8%	52.9%			47.1%
	計			137	27,648	201	4,846	920	－	5,766 20.9%	474	279	－	753 2.7%	3,807	490	－	4,297 15.5%	10,816 39.1%	15,327	1,505	16,832 60.9%
特別展	日本画家　羽生輝展　悠久の岬を望む		4/16（土）～6/26（水）	62	8,761	141	4,505	288	68	4,861 55.5%	0	125	0	125 1.4%	0	0	－	0 0.0%	4,986 56.9%	2,462	1,313	3,775 43.1%
	ライデン国立古代博物館所蔵 古代エジプト展		7/10（日）～8/21（日）	38	108,196	2,847	76,458	6,098	3,405	85,961 79.4%	201	406	199	806 0.7%	1,034	155	－	1,189 1.1%	87,956 81.3%	16,211	4,029	20,240 18.7%
	聖徳太子1400年御遠忌記念 国宝　法隆寺展		9/3（土）～10/30（日）	50	90,127	1,802	66,546	2,135	896	69,577 77.2%	484	113	272	869 1.0%	2,307	259	－	2,566 2.8%	73,012 81.0%	10,749	6,366	17,115 19.0%
	砂澤ビッキ展		11/22（火）～1/22（日）	49	9,855	201	4,439	433	0	4,872 49.4%	79	142	0	221 2.2%	0	0	－	0 0.0%	5,093 51.7%	3,149	1,613	4,762 48.3%
	計			199	216,939	1,090	151,948	8,954	4,369	165,271 76.2%	764	786	471	2,021 0.9%	3,341	414	－	3,755 1.7%	171,047 78.8%	32,571	13,321	45,892 21.2%
貸館				102	174,940	1,715	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	147,576 84.4%	－	－	27,364 15.6%
合計				438	419,527	957	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	329,439 78.5%	－	－	90,088 21.5%

※貸館の観覧者数内訳は、p. 54を参照。

4　令和4年度教育普及活動一覧

①展覧会関連事業

展覧会ほか	タイトル・内容ほか	日時	会場	講師名ほか	人数	内訳ほか
羽生輝展 4月16日（土）～6月26日（日）	羽生輝・奥岡茂雄対談	4月17日（日）　14:00～15:30	講堂	出演／羽生輝氏（日本画家）、奥岡茂雄氏（美術評論家）	94	
	羽生輝展　見どころ解説	①5月5日（木）　14:00～15:00 ②5月29日（日）　14:00～15:00	講堂	講師／瀬戸厚志（当館学芸員）	42	①22 ②20
近美コレクション第Ⅰ期　時間をめぐって、没後100年中原悌二郎展、新収蔵作品展 7月10日（金）～8月21日（日）	カルチャーナイト　見どころ解説	7月22日(金)　18:30～18:45	講堂	講師／敷田弘子（当館学芸員）	30	
	中原悌二郎展ワークシート	7月10日（金）～8月21日（日）	展示室A・2階		549	配布数
ライデン国立古代博物館所蔵 古代エジプト展 7月10日（日）～8月21日（日）	オープン記念講演会「モエレ沼とライデン：ピラミッドから探る古代エジプト文明の美の世界」	7月10日（日）　11:00～12:30	講堂	講師／中野智章氏（監修者、中部大学教授）	100	
	展覧会見どころガイド	①7月17日（日）　14:30～15:00 ②8月7日（日）　14:30～15:00	講堂	講師／門間仁史（当館主任学芸員）	115	①52 ②63
	カルチャーナイト　見どころ解説	7月22日(金)　19:00～19:15	講堂	講師／門間仁史（当館主任学芸員）	80	
	特別講演会「棺を読む―かたちと装飾の移り変わり」	7月30日（土）　13:30～15:00	講堂	講師／和田浩一郎氏（國學院大學兼任講師）	100	
近美コレクション第Ⅱ期 『北の美のこころ』を携えて、現代ガラスの美 9月3日（土）～11月7日（日）	道銀文化財団Art Ensemble#15 北海道立近代美術館コンサート「ピアノで奏でる穏やかなハーモニー」	9月24日(土)　18:30～19:10	展示室A	演奏者／藤村美里氏（ピアノ）、越智美月氏（ピアノ）	103	
	道銀文化財団Art Ensemble#16 北海道立近代美術館コンサート「三輪一恭バリトンリサイタル歌で聴く日本の情景」	10月8日(土)　18:30～19:10	展示室A	演奏者／三輪主恭氏（バリトン）、三輪栞氏（ピアノ）	89	
北海道新聞創刊80周年　聖徳太子1400年御遠忌記念　国宝・法隆寺展 9月3日（土）～10月30日（日）	講演会	9月3日（土）　10:30～11:00	講堂	講師／古谷正覚氏（聖徳宗第七代管長、法隆寺第百三十世住職）	126	
	講演会	9月3日（土）　11:15～11:45	講堂	講師／三好和義氏（写真家）	105	
	講演会	9月3日（土）　13:00～14:30	講堂	講師／内藤栄氏（展覧会監修、大阪市立美術館館長）	128	
	「国宝・法隆寺展」日経読者解説会	10月1日（土）	講堂	講師／星野靖隆（当館学芸員）	117	
	国宝・法隆寺展　見どころ解説	①10月2日（日）　14:00～14:30 ②10月23日（日）　14:00～14:30	講堂	講師／星野靖隆（当館学芸員）	317	①121 ②196
	「国宝・法隆寺展」協賛社解説会	10月15日（土）　18:00～19:30	講堂	講師／星野靖隆（当館学芸員）	20	

展覧会ほか	タイトル・内容ほか	日時	会場	講師名ほか	人数	内訳ほか
砂澤ビッキ展 11月22日（火）～1月22日（日）	ギャラリー・ツアー	①11月26（土） 14:00～14:40 ②12月3日（土） 14:00～14:40 ③12月10日（土） 14:00～14:40 ④12月17日（土） 14:00～14:40	展示室A	講師／五十嵐聡美（当館学芸部長）	164	①26 ②42 ③48 ④48
	トークショー「ビッキとの日々」	1月14日（土） 14:00～16:00	講堂	講師／砂澤凉子氏（砂澤ビッキ夫人）、渥美顯二氏（写真家）	243	
	砂澤ビッキ展ラーニングプログラム 参加者公募型プログラム 文様の魅力・再発見～オリジナル文様のお皿を作ろう～	①12月24日（土） ②12月25日（日）	造形室、展示室A	講師／松井茂樹氏（造形作家）	28	①13 ②15
	砂澤ビッキ展ラーニングプログラム 特別支援学校連携プログラム 文様の魅力・再発見～ふれるかたちスペシャル～	①高等部2、3年生：11月22日、12月6日、13日、20日（火） 13：15～15：00 ②中学部1、3年生：12月9日、16日、1月20日、2月3日（金） 10：45～11：35	北海道札幌視覚支援学校美術室、当館展示室A、造形室	講師／当館学芸員、北海道札幌視覚支援学校教員	12	①8 ②4
	砂澤ビッキ展ラーニングプログラム 来館者向けプログラム 文様の魅力・再発見～文様ステンシル～	12月24日（土）～1月17日（火） 9:30～17:00	ホール	ステンシルデザイン／紅露はるか氏（日本画家）	513	
近美コレクションⅢ期 シャガール・イン・プリント、戦時下の北海道美術ー画家は戦地で何を見たのか、この1点を見てほしい。 2月11日（日）～3月31日（金）	伊藤隆介アーティスト・トーク	3月4日（土）	講堂	講師／伊藤隆介氏（美術家、北海道教育大学岩見沢校教授）	33	

②解説活動

事業名等	タイトル・内容等	日時	会場	講師名他	人数	内訳・他
学芸員によるミュージアム・トーク	中原悌二郎と荻原守衛	7月24日（日） 14:00～14:30	展示室A	講師／瀬戸厚志（当館学芸員）	184	12
	時間をめぐってークリスチャン・ボルタンスキー、宮島達男を中心に	7月31日（日） 14:00～14:30	展示室A	講師／敷田弘子(当館学芸員)		7
	友田多喜雄 詩と版画コレクション	8月14日（日） 14:00～14:30	展示室A	講師／大下智一（当館リサーチ推進課長）		5
	中原悌二郎と荻原守衛	8月21日(日) 14:00～14:30	展示室A	講師／瀬戸厚志（当館学芸員）		8
	塩谷直美一詩と作品	9月4日(日) 14:00～14:30	展示室A	講師／瀬戸厚志（当館学芸員）		16
	現代ガラスの魅力一家住利男を中心に	9月11日(日) 14:00～14:30	展示室A	講師／門間仁史（当館主任学芸員）		8
	《室内風景》にいたるまで	9月18日(日) 14:00～14:30	展示室A	講師／野田佳奈子(当館学芸員)		15
	高橋禎彦のガラスー花のような	9月25日(日) 14:00～14:30	展示室A	講師／大石智子(当館学芸員)		3
	現代ガラスの魅力一家住利男を中心に	10月9日(日) 14:00～14:30	展示室A	講師／門間仁史（当館主任学芸員）		22
	戦時下の北海道美術	2月19日（日） 14:00～14:30	展示室A	講師／田中駿一朗（当館学芸員）		14
	シャガール・イン・プリントー美しき挿絵本の世界	2月26日(日) 14:00～14:30	展示室A	講師／大石智子(当館学芸員)		21
	シャガールの『死せる魂』を読みましょう。	3月5日(日) 14:00～14:30	展示室A	講師／中村聖司(当館学芸副館長)		17
	第二次世界大戦前後の田辺三重松の制作をめぐって	3月12日(日) 14:00～14:30	展示室A	講師／星野靖隆(当館学芸員)		11
	伊藤隆介の「Realistic Virtuality」について	3月19日(日) 14:00～14:30	展示室A	講師／久米淳之（当館上席専門員）		11
	走る男一大月源二の世界	3月26日(日) 14:00～14:30	展示室A	講師／大下智一（当館リサーチ推進課長）		14

展覧会ほか	タイトル・内容ほか	日時	会場	講師名ほか	人数	内訳ほか
ギャラリー・ツアー	〈近美コレクション〉において、北海道美術館協力会ボランティア解説部によるギャラリー・ツアー（展示解説）を行う。火～土曜日3回の定時実施に加え、希望する団体には時間調整のうえ適宜実施した。	日曜・祝日を除く毎日（各回約30分） 火～土曜日（1日3回） 11:30～、13:00～、14:00～	展示室A	講師／北海道美術館協力会ボランティア解説部	1,440	個人利用 1427名、294回 団体利用 13名、2回
ARS（アート・レファレンス・サービス）	図書閲覧コーナー、映像ライブラリー、質問コーナーからなるARS（アート・レファレンス・サービス）を設置し、美術情報の閲覧来館者からの質問に対応した。	開館日・開館時間中 （質問コーナーは、日曜・祝日を除く毎日：10:30～15:00）	1階ホール奥	質問コーナー対応／北海道美術館協力会ボランティア解説部	7,986	質問件数 534件 映像利用 0件

③移動美術館

事業名ほか	タイトル・内容ほか	日時	会場	講師名ほか	人数	内訳ほか
移動美術館 北海道立近代美術館 ―近美コレクションによる美へのいざない	作品展示(道立近美所蔵作品35点)	9月23日（金）～10月2日（日）	標茶町（標茶町博物館ニタイ・ト）		580	
	作品解説・講座等	①9月23日（金） ②10月2日（日）	標茶町（標茶町博物館ニタイ・ト）	①久米淳之（当館上席専門員） ②竹中七帆（当館学芸員）	238	①123名、6回 ②115名、6回

④その他の教育普及事業

事業名ほか	タイトル・内容ほか	日時	会場	講師名ほか	人数	内訳ほか
近代美術館、知事公館、三岸好太郎美術館 ぐるっと三館鑑賞ツアー	地域の魅力発信を目的に、三館をめぐるツアーを実施。 ※各日定員10名（事前募集制）	①10月12日（水） ②10月13日（木）	近代美術館、知事公館、三岸好太郎美術館	近美コレクション解説／北海道美術館協力会 解説部 知事公館解説／中島浩昭氏（同館長） 三岸好太郎美術館ウェルカムトーク／斉藤和利氏（同館長）	17	①7 ②10
アートギャラリー北海道～みんなのアートプロジェクト 夏休みこどもワークショップ2022 ※(公財)日本教育公務員弘済会 共催事業	「紙粘土で彫刻を作ろう」 「中原悌二郎展」を鑑賞し塑像による立体表現を学んだうえで、紙粘土による塑像制作を行った。 ※各日定員10名（事前募集制）	①8月6日（土） 10:00～12:00 ②8月７日（日） 10:00～12:00	造形室、展示室A	講師／瀬戸厚志（当館学芸員）、竹中七帆（当館学芸員） 補助／博物館実習生	21	①10 ②11
カルチャーナイト2022	夜間開館を実施し、夜間開館中の展示室Aの観覧料を無料とした。	7月22日(金) 17:00～21:00	展示室A		451	

展覧会ほか	タイトル・内容ほか	日時	会場	講師名ほか	人数	内訳ほか
北海道リモート・ミュージアム	展覧会やコレクション等を学芸員が紹介・解説する動画をWEB配信	①5月22日（日）配信 ②7月28日（木）配信 ③10月7日（金）配信 ④10月27日（木）配信 ⑤1月20日（金）配信	WEB配信（Youtube）	〈コンテンツ／解説〉 ①「日本画家　羽生輝　悠久の岬を望む」／瀬戸厚志（当館学芸員） ②「近美コレクション　没後100年　中原悌二郎展」／瀬戸厚志（当館学芸員） ③「『北の美のこころ』を携えて」／田中駿一朗（当館学芸員） ④「『北の美のこころ』を携えて展　岩橋英遠《道産子追憶之巻》」／竹中七帆（当館学芸員） ⑤「砂澤ビッキ展」／久米淳之（当館上席専門員）		

⑤一般社団法人 北海道美術館協力会との連携・協力事業

事業名ほか	タイトル・内容ほか	日時	会場	講師名ほか	人数	内訳ほか
美術講座2022 「日本・西洋の美術家シリーズ」	美術に関する基礎知識を学ぶ連続講座（全10回）に協力し、講師を派遣した。	①5月19日（木）　10:00～11:30 ②5月26日（木）　10:00～11:30 ③6月2日（木）　10:00～11:30 ④6月9日（木）　10:00～11:30 ⑤6月16日（木）　10:00～11:30 ⑥6月23日（木）　10:00～11:30 ⑦7月14日（木）　10:00～11:30 ⑧7月21日（木）　10:00～11:30 ⑨7月28日（木）　10:00～11:30 ⑩8月4日（木）　10:00～11:30	講堂	実施／北海道美術館協力会ボランティア研修部 ①ガイダンス、家老にして画家、風雅の人　蠣崎波響／五十嵐聡美（当館学芸部長） ②長谷潾二郎　函館発　モダニズムから孤高へ／大下智一（当館リサーチ推進課長） ③風刺と諧謔の人間観察　ウィリアム・ホガース／地家光二（道立三岸好太郎美術館上席専門員） ④羽生輝展への招待／瀬戸厚志（当館学芸員） ⑤ロダンとガウディ　神々の黄昏ー彫刻と伝統／寺嶋弘道氏（有島記念館長、前札幌彫刻美術館長） ⑥片岡球子　尽きない創作への情熱／土岐美由紀（当館学芸統括官） ⑦歌川広重　「東海道五拾三次」をめぐって／門間仁史（当館主任学芸員） ⑧パリのカフェテラス　革命はカフェから始まる／柴勤氏（前小川原脩記念美術館長） ⑨安田侃　天と地をつなぐ／久米淳之（当館上席専門員） ⑩ムンクと19世紀北欧の画家たち／中村聖司（当館学芸副館長）	778	①91 ②87 ③79 ④82 ⑤75 ⑥76 ⑦73 ⑧76 ⑨68 ⑩71
美術講座プレミアム	美術に関する専門的・個別的知識を学ぶ連続講座（全5回）に協力した。	①9月29日(木)　10:00～11:30 ②10月6日(木)　10:00～11:30 ③10月13日(木)　10:00～11:30 ④10月20日(木)　10:00～11:30 ⑤10月27日(木)　10:00～11:30	講堂	実施／北海道美術館協力会ボランティア研修部 ①没後100年　中原悌二郎と中原悌二郎賞受賞の作家たち／山腋雄一氏（中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館長） ②イサム・ノグチとモエレ沼／宮井和美氏(モエレ沼公園学芸員） ③アイヌ工芸の魅力／山崎幸治氏(北海道大学アイヌ・先住民研究センター准教授） ④日常に注ぐまなざし～写真がもたらす出会い／渡邉真弓氏(写真家、北海道カメラ女子の会代表） ⑤見えないものを描く／舩岳紘行氏（画家、北海道教育大学岩見沢校准教授）	277	①63 ②56 ③55 ④52 ⑤51
美術への誘い	美術館ボランティアが、区民センター・図書館・福祉施設など外部の機関で行う解説活動において、展覧会資料(画像を含む）の提供及び解説内容の指導等の協力を行った。	①5月24日（火）　13:30～15:00 ②5月27日（金）　13:30～15:00 ③6月8日（水）　13:30～15:00 ④6月28日（火）　13:30～15:00 ⑤7月19日（火）　10:00～11:30 ⑥7月29日(木)　13:30～15:00 ⑦8月25日（木）　13:30～15:00 ⑧9月9日（金）　13:30～15:00 ⑨9月16日（金）　13:30～15:00 ⑩9月29日（木）　14:00～15:30 ⑪10月12日（水）　13:30～15:00 ⑫11月8日（火）　13:30～15:00 ⑬11月11日（金）　13:30～15:00 ⑭11月17日（木）　13:30～15:00 ⑮12月13日（火）　13:30～15:00	①北区民センター ②旭山公園通地区センター ③西区民センター ④札幌市中央図書館 ⑤中央区民センター ⑥東区民センター ⑦厚別区民センター ⑧北老人福祉センター ⑨中央区民センター ⑩厚別南地区センター ⑪白石区民センター ⑫札幌市中央図書館 ⑬介護予防センターまえだ ⑭藤野地区センター ⑮中央区民センター	実施／北海道美術館協力会ボランティア特別活動部	209	①11 ②8 ③14 ④12 ⑤20 ⑥11 ⑦18 ⑧17 ⑨20 ⑩8 ⑪14 ⑫12 ⑬18 ⑭7 ⑮19

展覧会ほか	タイトル・内容ほか	日時	会場	講師名ほか	人数	内訳ほか
ジュニア・アートクラブ	美術への関心を高めるため一般・小学生を対象に行う制作体験事業に協力した。	10月1日（土） 14:00～15:00、10月22日（土） 14:00～15:00、11月5日（土） 11:00～12:00 ※10月1日、10月22日は制作講座。11月5日は近代美術館でコレクション展のギャラリー・ツアー。	リモート開催、展示室A	実施／北海道美術館協力会ボランティア特別活動部	11	
特別オリエンテーション	北海道美術館協力会ボランティアに対して、展覧会（特別展、近美コレクション）の概要を担当学芸員が解説した。	①5月11日（水） 10:30～11:40 ②7月26日（火） 10:30～12:00 ③9月21日（水） 13:30～14:30 ④12月7日（水） 13:30～15:00 ⑤2月22日（水） 13:30～14:50	講堂	実施／北海道美術館協力会ボランティア研修部 講師／各展覧会担当	406	①104 ②94 ③82 ④67 ⑤59
ボランティア養成研修（共通研修）	北海道美術館協力会ボランティアの新人養成研修に講師を派遣した。	①8月18日(木） 10:00～11:30 ②9月15日(木） 10:00～11:30 ③11月24日(木） 10:00～11:30 ④12月8日（木） 10:00～11:30 ⑤1月19日（木） 10:00～11:30	映像室	実施／北海道美術館協力会ボランティア研修部 講師／①美術館ボランティアとその学び ／木村純氏(北海道大学名誉教授) ②近代美術館って何？／中村聖司(当館学芸副館長) ③近代美術館の活動（1）作品の収集・保管、（2）調査研究 ／大下智一(当館リサーチ推進課長) ④近代美術館の活動（3）展覧会の企画と運営 ／五十嵐聡美（当館学芸部長） ⑤近代美術館の活動（4）教育普及 ／土岐美由紀（当館学芸統括官）	91	①21 ②17 ③18 ④17 ⑤18
ボランティア専門研修	北海道美術館協力会ボランティアの専門研修に講師を派遣した。	10月5日 10:30～11:30	映像室	資料部研修 美術館における資料の収集と保存について／米田瑞穂（当館学芸員） 二次資料の現状と今後の収集について／門間仁史（当館主任学芸員）	17	

⑥学校教育との連携・協力事業

事業名ほか	タイトル・内容ほか	日時	会場	講師名ほか	人数	内訳ほか
オンライン・アート教室	本年度より実施。遠隔地の学校を対象に、オンラインで当館および三岸好太郎美術館の収蔵作品の鑑賞と解説を行った。	①11月4日（金） 13:15～14:05 月形町立月形中学校 ②11月9日（水） 10:40～11:30、14:10～15:00 10日（木） 10:40～11:30、13:15～14:05 北海道札幌西高等学校 ③11月15日（火） 13:20～14:05、14:10～14:55 長沼町立長沼小学校 ④11月17日（木） 13:10～14:00 北海道余市養護学校 ⑤12月7日（水） 9:50～10:40 北海道手稲養護学校三角山分校 ⑥12月20日（火） 14:25～15:10 札幌市立栄緑小学校	収蔵庫前および三岸好太郎美術館展示室	①野田佳奈子(当館学芸員) ②地家光二（道立三岸好太郎美術館上席専門員） ③門間仁史（当館主任学芸員） ④瀬戸厚志（当館学芸員） ⑤星野靖隆（当館学芸員） ⑥瀬戸厚志（当館学芸員）	258	①53 ②65 ③70 ④9 ⑤9 ⑥52
博物館実習（館園実習）	学芸員資格取得課程を開講している大学からの依頼により、7日間のカリキュラムで美術館における実務実習を受け入れた。	8月3日(火)～11日(水)の月曜日を除く7日間 各日 10:00～17:00 （延実習時間42時間）	映像室、展示室、収蔵庫ほか	講師／当館職員、北海道美術館協力会ボランティア	19	道内外大学9校
博物館実習（見学実習）	学芸員資格取得課程を開講している大学からの依頼により、美術館の見学実習を受け入れた。	①10月14日（金） 東海大学 ②11月25日（金） 北海道大学	展示室、収蔵庫ほか	対応／当館学芸員	21	①13 ②8
北海道立近代美術館学芸員インターンシップ（実務研修）の受け入れ	美術館学芸員を志す者を対象に、専門知識を深め今後の美術館活動を担う人材となってもらうために、学芸員業務に関わる実務研修生を受け入れた。	2月15日（水）～3月16日（木）のうち18日間 各日10:00～16:00	館内各室	対応／当館職員	①	
職場体験等の受け入れ	学校からの依頼により、職場体験学習として美術館での業務を希望する生徒を受け入れた。	10月26日（火）～27日(水） 星槎国際高等学校	館内各室		2	

展覧会ほか	タイトル・内容ほか	日時	会場	講師名ほか	人数	内訳ほか
自主研修等の受け入れ	修学旅行や研修旅行、総合的な学習の時間などの一環として当館を訪問する児童・生徒に対して、美術館活動の説明や質問への回答、施設見学などを行った。	①5月15日（日） 北海道札幌西高等学校 ②5月25日（水） 小樽市立朝里中学校 ③6月3日（金） 札幌市立新陵中学校 ④6月3日（金） 札幌市立明園中学校 ⑤6月3日（金） 札幌市立北陽中学校 ⑥6月9日（木） 別海町立中西別中学校 ⑦7月12日（火） 江別市立江別第一中学校 ⑧8月17日（水） 市立札幌大通高等学校 ⑨9月27日（火） 札幌市立藤野中学校 ⑩9月28日（水） 札幌光星中学校 ⑪10月13日（木） 札幌市立手稲西中学校 ⑫10月13日（木） 札幌龍谷学園高等学校 ⑬10月25日（火） 北嶺中学校 ⑭11月2日（水） 北海道武蔵女子短期大学 ⑮11月22日（火） 酪農学園大学附属とわの森三愛高等学校 ⑯12月21日（水） 市立札幌大通高等学校 ⑰12月21日（水） 立命館慶祥中学校・高等学校 ⑱3月24日（金） 北海道札幌西高等学校	映像室、展示室、ARSほか	対応／当館学芸員、北海道美術館協力会ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ解説部	555	①17 ②95 ③37 ④7 ⑤14 ⑥7 ⑦5 ⑧14 ⑨16 ⑩56 ⑪2 ⑫5 ⑬139 ⑭14 ⑮58 ⑯35 ⑰13 ⑱21
教員研修	道立近代美術館・道立三岸好太郎美術館を活用した学習の充実及び学校と道立近代美術館・道立三岸好太郎美術館との一層の連携を図るため、長期休業期間中に、教員を対象に研修を実施した。	①夏季：7月27日（水） 12:45～16:45 ②冬季：1月11日（水） 12:45～16:45	映像室ほか	対応／当館学芸員、三岸好太郎美術館学芸員	2	①1 ②1

⑦その他の連携・協力事業

事業名ほか	タイトル・内容ほか	日時	会場	講師名ほか	人数	内訳ほか
北海道立近代美術館・北海道立図書館連携展示	特別展の会期中に美術館内にて、北海道立図書館の蔵書から展覧会関係の図書を展示し、来館者への閲覧サービスを行った。	①日本画家　羽生輝展　悠久の岬を望む 4月16日（土）～6月26日（日） ②ドレスデン国立古典絵画館所蔵　フェルメールと17世紀オランダ絵画展 4月22日（金）～6月26日（日） ③北海道新聞創刊80周年　聖徳太子1400年御遠忌記念　国宝・法隆寺展 9月3日（土）～10月30日（日） ④砂澤ビッキ展　11月22日（火）～1月22日（日） ⑤サンリオ展　ニッポンのカワイイ文化60年史 2月11日（土）～3月31日（金）	当館展示室B出口、展示室A出口、ARSコーナー	①北海道立図書館蔵書40冊 ②北海道立図書館蔵書38冊 ③北海道立図書館蔵書35冊 ④北海道立図書館蔵書13冊 ⑤北海道立図書館蔵書28冊		
SIAFふむふむシリーズ　手話と日本語で楽しむ鑑賞会　シュワー・シュワー・アワーズ	札幌国際芸術祭実行委員会と連携して、ろう者が案内役となって手話を用いた作品鑑賞会を行った。	①10月15日（土） 10:00～12:00 ②10月16日（日） 10:00～12:00 ③10月16日（日） 14:00～16:00	当館展示室A	講師／手話マップ	20	①7 ②7 ③6

■

令和４年度　北海道立近代美術館年報

■

令和５年９月１日発行

編集・発行／北海道立近代美術館

〒060-0001　札幌市中央区北１条西 17 丁目

TEL. (011)644-6881（代）